

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

目次

準備する

撮影する

再生する

編集する

メニューで設定を変更する

困ったときは

その他



お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

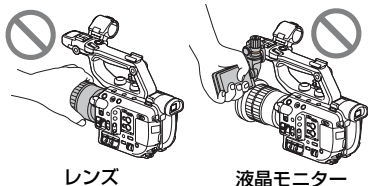
XDCM

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。

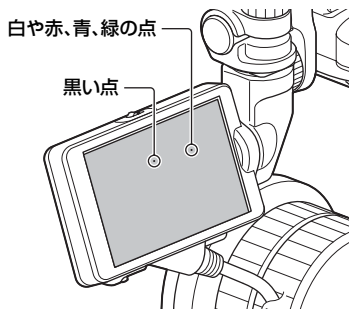


ⓘ ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」(164ページ)もご覧ください。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニターについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選ばせません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



太陽光についてのご注意

- 太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。
- 取り外したレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターにメッセージが表示されます(151ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードアクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声乱了れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます(49ページ)。
 - 連続したフラッシュ光を当てた状態の被写体を撮影すると、画面の上下が分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。また、ソフトウェアで修正可能な場合もありますので、お試しください。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。

本機で記録した画像をパソコンで扱うには

- ソフトウェア「Catalyst Browse」をダウンロードしてください。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、「メモリーカードを初期化する」(113ページ)を行ってください。

本機の実操作方法について

- 本機では、SEL/SETダイヤル(5、116ページ)、グリップのマルチセレクター(8ページ)で操作が行えます。

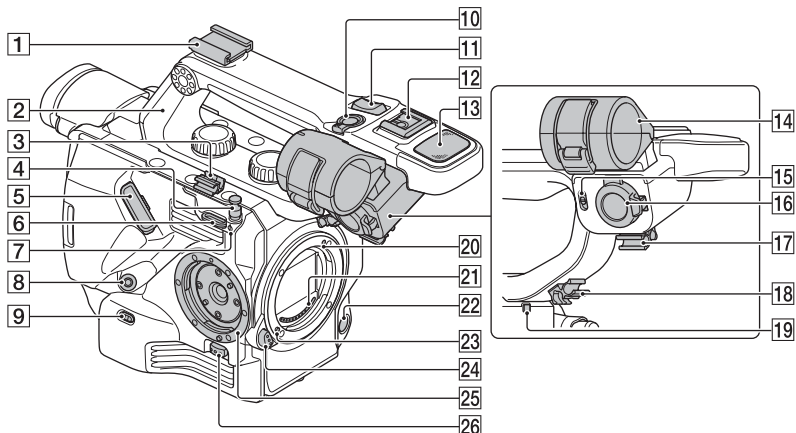
本書について

- 本書では、「SELP18105G」のレンズを使用して操作の説明をしています。レンズによって操作が違う場合は「ご注意」や「ちょっと一言」に記載してありますので、あわせてご覧ください。
- [60i/50i SEL]を変更すると、[REC FORMAT]などで設定できる数値が変わりません。本書では、[60i]選択時、[50i]選択時の数値を併記しています。
- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- メモリーカードやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

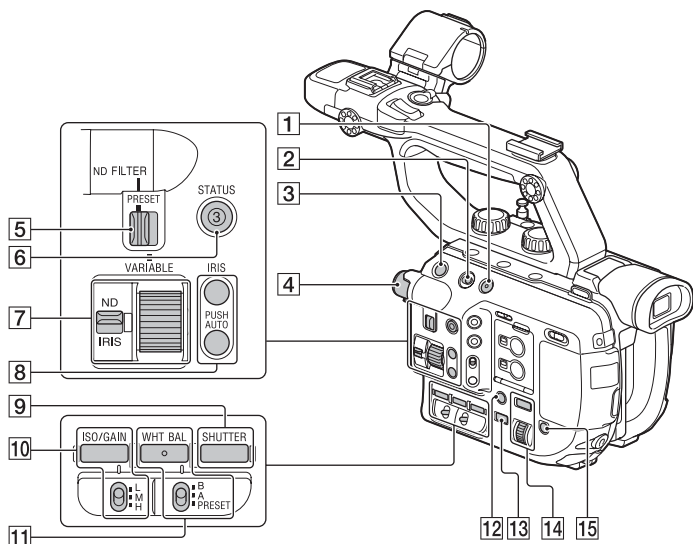
各部のなまえ

本体

()内は参照ページです。

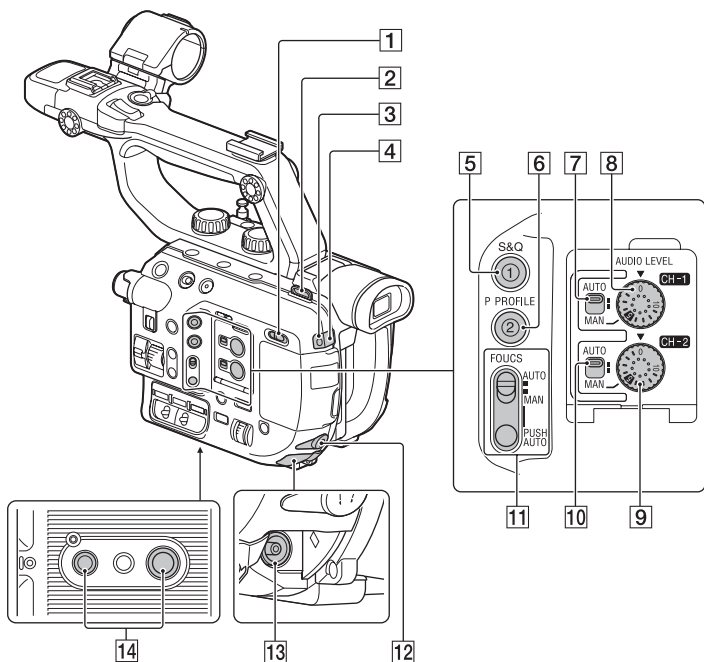


- | | |
|---|---|
| 1 アクセサリーシュー(コールドシュー
取り付け後)
取り付けかたについては、24ページを
ご覧ください。 | 13 内蔵マイク(62) |
| 2 XLR ハンドル(取り付け後)
取り付けかたについては、23ページを
ご覧ください。 | 14 マイクホルダー |
| 3 ケーブルクランパー | 15 INPUT 2(LINE/MIC/MIC+48V)ス
イッチ(63) |
| 4 メジャーフック(42) | 16 INPUT 2 端子(62) |
| 5 液晶モニター接続端子(26) | 17 ケーブルクランパー |
| 6 ショルダーストラップ取り付け部 | 18 ケーブルクランパー |
| 7 イメージセンサー位置マーク(42) | 19 録画ランプ(前)(37)
メモリーカードやバッテリーの残量が
少なくなると点滅します。 |
| 8 REMOTE 端子(28) | 20 マウント標点(20) |
| 9 INPUT 1(LINE/MIC/MIC+48V)ス
イッチ(63) | 21 レンズ信号接点
ⓘ ご注意
• 直接手で触れないでください。 |
| 10 ハンドル録画ボタン(37)
HOLD位置にするとハンドル録画ボタ
ンが効かなくなります。 | 22 WB SET ボタン(52) |
| 11 ハンドルズームレバー(40) | 23 レンズロックピン |
| 12 マルチインターフェースシュー(24) | 24 レンズ取り外しボタン(20) |
| | 25 グリップ取り付け部(28) |
| | 26 グリップ取り外しボタン(29) |



- 1 FULL AUTO ボタン(82)
- 2 HOLD スイッチ(92)
- 3 START/STOP ボタン(37)
- 4 ND FILTER ダイヤル(51)
- 5 PRESET/VARIABLE スイッチ(50)
- 6 ASSIGN3/STATUS ボタン(99)
- 7 ND/IRIS スイッチ(47, 51) —
ND/IRIS ダイヤル(51)
- 8 IRIS — PUSH AUTO ボタン(48)
- 9 SHUTTER ボタン(49)
- 10 ISO/GAINボタン — ISO/GAIN L/M/
H スイッチ(49)
- 11 WHT BAL ボタン — B/A/PRESET ス
イッチ(52)
- 12 DISPLAY ボタン(98)
- 13 THUMBNAIL ボタン(95)
- 14 MENU ボタン — SEL/SET ダイヤル
(116)
- 15 SLOT SEL ボタン(36)

各部のなまえ(つづき)



1 I(ON)/O(STANDBY)スイッチ(30)

2 ショルダーストラップ取り付け部

3 録画ランプ(後)(37)

メモリーカードやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

4 リモコン受光部

5 ASSIGN1/S&Q ボタン(56)

6 ASSIGN2/P PROFILE ボタン(83)

7 AUTO/MAN(CH-1)スイッチ(64)

8 AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル(64)

9 AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル(64)

10 AUTO/MAN(CH-2)スイッチ(64)

11 FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ — PUSH AUTO ボタン(42)

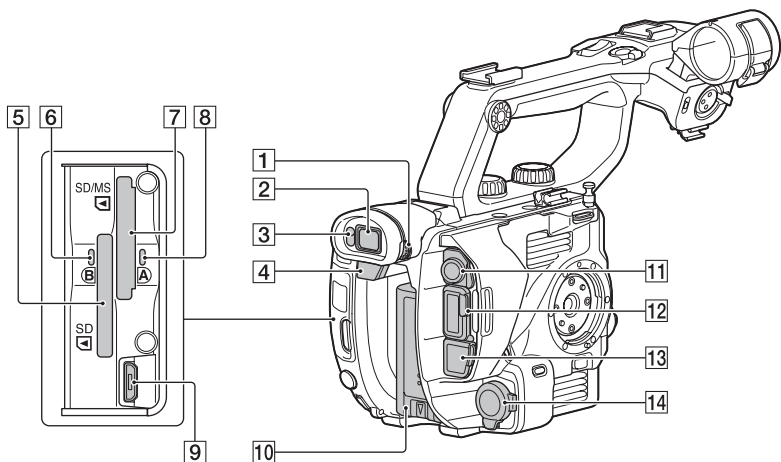
12 Ω (ヘッドホン)端子

13 DC IN 端子

14 三脚用ネジ穴(1/4 インチ、3/8 インチ) 1/4-20UNC、3/8-16UNCのネジに対応

三脚(別売、ネジの長さ5.5 mm以下)を取り付けられます。

三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。



- 1 視度調節ダイヤル(32)
- 2 ファインダー(32)
- 3 アイセンサー
- 4 BATT RELEASE ボタン(18)
- 5 メモリーカードスロット B(18)
- 6 メモリーカードアクセスランプ(3)
- 7 メモリーカードスロット A(18)
- 8 メモリーカードアクセスランプ(3)
- 9 マルチ / マイクロ USB 端子(100)
- 10 バッテリー(18)
- 11 SDI OUT 端子(100)
- 12 HDMI OUT 端子(100)
- 13 有線 LAN 端子(76)
- 14 INPUT 1 端子(62)

🗨️ ちょっと一言

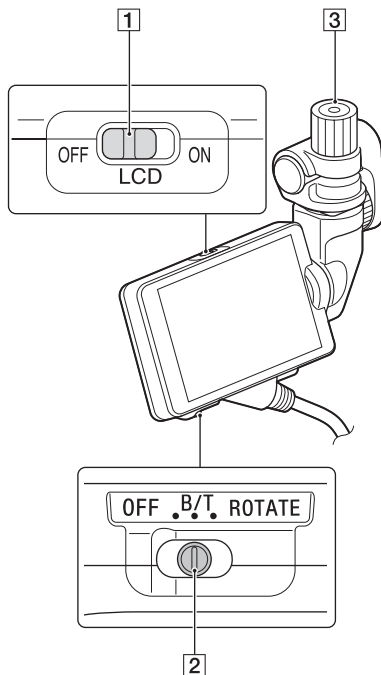
- ハンドルにGPSマークが表示されていますが、GPSは将来対応予定の機能です。

各部のなまえ(つづき)

液晶モニター

()内は参照ページです。

液晶モニターの取り付けかたについては、26ページをご覧ください。



- ① LCD ON/OFF スイッチ (31)
- ② MIRROR スイッチ (94)
- ③ 液晶モニター取り付けクランプ

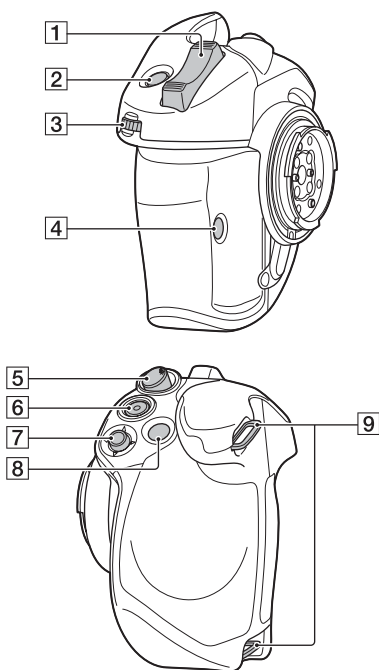
レンズ(PXW-FS5Kのみ)

詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

グリップ

()内は参照ページです。

グリップの取り付けかたについては、28ページをご覧ください。



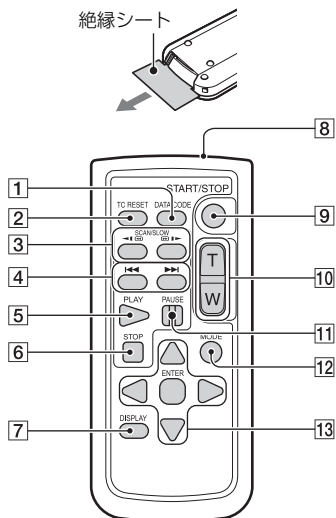
- ① グリップズームレバー(40)
- ② ASSIGN4/FOCUS MAG ボタン (43)
- ③ ASSIGN ダイアル(64)
- ④ ASSIGN6 ボタン(64)
- ⑤ グリップ回転レバー(33)
- ⑥ START/STOP ボタン(37)
- ⑦ マルチセクター(54)
- ⑧ ASSIGN5/Fn ボタン(54)

- ⑨ グリップベルト取り付け部
ご購入時には、グリップベルトが取り付けられています。

ワイヤレスリモコン

()内は参照ページです。

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- ① DATA CODE ボタン(98)
② TC RESET ボタン(92)
③ SCAN/SLOW ボタン(95)
④ ◀▶ (PREV/NEXT) ボタン(95)
⑤ PLAY ボタン(95)
⑥ STOP ボタン(95)
⑦ DISPLAY ボタン(98)
⑧ リモコン発光部
⑨ START/STOP ボタン(37)
⑩ ズームボタン(40)
⑪ PAUSE ボタン(95)

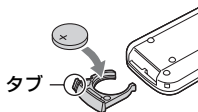
- ⑫ MODE ボタン(95)
⑬ ◀▶/▲▼/ENTER ボタン

⚠️ ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換するには

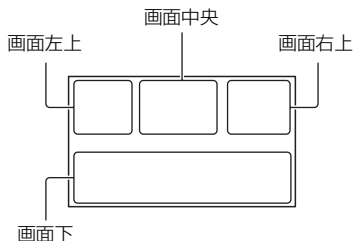
- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

()内は参照ページです。



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
AVCHD 1080/60i XAVC 1080/60i XAVC 2160/30p	録画フォーマット(45)
	同時記録(39) リレー記録(38)
Zxx	光学ズーム(BAR)(135) 光学ズーム(NUMBER)
× xx	全画素超解像ズーム (126)
	プロキシー記録 [ON] (46)

画面中央





表示	意味
	メモリーカード(35)
REC STBY	撮影状態(37)
	警告(151)
	再生表示(95)
	処理中
	リレー記録(38)
	リレー記録(38)
	SDI/HDMI REC CONTROL(130)

画面右上

表示	意味
Omin	記録残量時間の目安 (154)
	記録/再生メディア(35)
00:00:00:00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)(137)

画面下

表示	意味
	顔認識 [ON] (44)
PEAKING	ピーキング(PEAKING) (133)
	ゼブラ(ZEBRA)(133)
	NFC有効(67)
	飛行機モード [ON] (75)
[C.SCAN]	センタースキャン (CENTER SCAN) (125)
ASSIST S-LOG2 ASSIST S-LOG3	ガンマ表示アシスト(91)
	手ブレ補正(手) STEADYSHOT(126)
-2.0EV	AE SHIFT(124)
	手動フォーカス(41)
PP1 ~ PP9	ピクチャープロフィール (83)
	マルチインターフェース シュービデオライト (127)
1/4ND ~ 1/128ND	NDフィルター(50)
F5.6	アイリス(47)
ISO800	ISO感度(48)
9dB	ゲイン(48)
100 180°	シャッタースピード(49)
DolbyD	AVCHD 録音フォーマット (130)
	自動設定(48)


表示	意味
	ホワイトバランス(52)
	ヒストグラム (HISTOGRAM) (133)
	音声レベル表示(135)
	手動音量調節(64)

☺ちよっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

AVCHDの場合は、撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。

これらのデータは、撮影中には表示されませんが、 (DISPLAY SET)メニュー→[DATA CODE] (136ページ)で表示したいデータを選ぶか、再生時にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押すと確認できます。

目次

使用前に必ずお読みください	2
各部のなまえ	4
本体	4
液晶モニター	8
レンズ(PXW-FS5Kのみ)	8
グリップ	8
ワイヤレスリモコン	9
画面表示	10

準備する

準備 1: 付属品を確認する	16
準備 2: バッテリー/AC アダプターを使用する	18
準備 3: レンズを取り付ける	20
準備 4: ハンドル、アクセサリシュー、マイク、液晶モニター、グリップを取り付ける	23
準備 5: 電源を入れて日時を合わせる	30
準備 6: 液晶モニターとファインダーを調節する	31
準備 7: グリップの角度を調節する	33
準備 8: メモリーカードを入れる	35

撮影する

撮影する	37
撮影する	37
メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)	38
メモリーカード A とメモリーカード B の両方に記録する(同時記録)	39
START/STOP ボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える	39
ズームする	40
フォーカスを調節する	41
一時的にオートフォーカス/フォーカス固定で撮る (プッシュオートフォーカス/フォーカスホールド)	42
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)	43
検出した顔にピントを合わせる(顔認識)	44
録画設定 / 画像サイズを変更する	45
記録方式と録画フォーマットを選ぶ	45
プロキシ記録をする	46
明るさを調節する	47
アイリスを調節する	47
ISO 感度 / ゲインを調節する	48
シャッタースピードを調節する	49
光量を調節する(ND フィルター)	50

色合いを調節する	52
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	52
ブラックバランスを調整する	53
ダイレクトメニューを使う	54
スロー&クイック撮影 / スーパースローモーション撮影をする	56
スロー&クイックモーション撮影をする	56
スーパースローモーション撮影をする	59
音の設定をする	62
内蔵マイクで収録する	62
外部音声機器などを使う	63
マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)で収録する	63
好みの録音レベルに調節する	64
ASSIGN ボタン / ASSIGN ダイアルに機能を割り当てる	64
Wi-Fi機能を使う	66
本機の Wi-Fi 機能を使ってできること	66
「Content Browser Mobile」をダウンロードする	67
NFC 機能搭載の Android スマートフォンでワンタッチ接続する	67
スマートフォンを本機のリモコンとして使う	68
NFC を使わずに接続する (Android)	69
NFC を使わずに接続する (iPhone または iPad)	70
ネットワーク機能を使う	71
無線 LAN の設定をする	71
飛行機モードを使用する	75
有線 LAN の設定をする	76
ストリーミング(STREAMING)機能を使う	76
FTP 転送機能を使う	78
ルート証明書を読み込む	81
ネットワーク設定をリセットする	82
便利な機能を使う	82
状況に合わせて撮る(フルオートモード設定)	82
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)	83
ガンマ表示アシスト機能を使う	91
タイムデータを設定する	92
誤操作を防止する(HOLD スイッチ)	92
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	93
液晶モニターの画面表示を反転する	94

再生する

本機で再生する	95
再生する	95
本機の設定を変更 / 確認する	98
画面表示を切り換える	98
再生時に情報を表示する(データコード)	98
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	99
モニターやテレビにつなぐ	100
外部出力用の端子を選ぶ	101
出力信号のフォーマットについて	101

編集する

記録した動画を保護する(プロテクト)	111
動画を分割する	111
動画を削除する	112
メモリーカードを初期化する	113
メモリーカード上のデータを復元しにくくする	114
管理ファイルを修復する	115

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	116
メニュー一覧	117
 (CAMERA/PAINT)メニュー	122
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/  STEADYSHOT など)	
 (REC/OUT SET)メニュー	128
録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUT)	
 (AUDIO SET)メニュー	130
録音に関する設定(AVCHD AUDIO FORMAT/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	133
画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUT など)	
 (TC/UB SET)メニュー	137
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMAT など)	
 (NETWORK SET)メニュー	139
Wi-Fi 機能に関する設定(CTRL W/SMARTPHONE など)	
 (SYSTEM)メニュー	140
撮影時の設定や各種基本設定(AREA SET/BEEP など)	

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	144
警告表示とお知らせメッセージ.....	151

その他

記録時間について.....	154
記録時の機能制限について.....	156
録画フォーマットごとの制約.....	156
スロー&クイックモーションおよびスーパースローモーション設定時の制約.....	157
プロキシー記録対応フォーマット.....	158
ストリーミング対応フォーマット.....	159
海外で使う.....	160
メモリーカードのファイル/フォルダー構成.....	161
使用上のご注意とお手入れ.....	162
XAVC 規格について.....	162
AVCHD 規格について.....	162
メモリーカードについて.....	162
バッテリーについて.....	163
本機の取り扱いについて.....	164
主な仕様.....	166
保証書とアフターサービス.....	169
索引.....	170

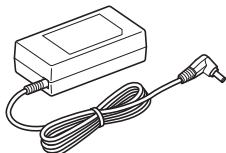
準備する

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品が揃っているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

[]内は個数。

ACアダプター(AC-UES1230)(19ページ)



電源コード(19ページ)



ワイヤレスリモコン(RMT-845)(9ページ)

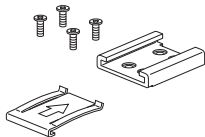


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

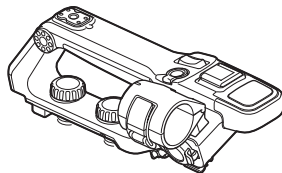
大型アイカップ(33ページ)



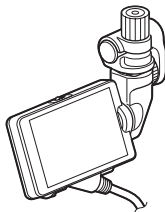
アクセサリシューキット(アクセサリシュー、シューパネ、ネジ[4]) (24ページ)



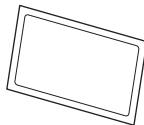
XLRハンドル(23ページ)



液晶モニター(26ページ)



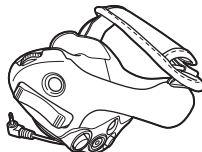
液晶保護シート(26ページ)



USBケーブル



グリップ(28ページ)



ボディキャップ(本体に装着済み)
(20ページ)



ハンドル端子保護キャップ(本体に装着済み)

グリップ取り付け部カバー(本体に装着済み)

CD-ROM「Manuals for Solid-State
Memory Camcorder」

取扱説明書 [2]

保証書

PXW-FS5Kには、レンズ、レンズフードが同梱されています。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をパソコンと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ:

アメリカ合衆国:

<http://pro.sony.com>

カナダ: <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ:

<http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

準備 2: バッテリー/AC アダプターを使用する

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U30
BP-U60
BP-U60T
BP-U90

バッテリーチャージャー

BC-U1
BC-U2

AC アダプター(付属)

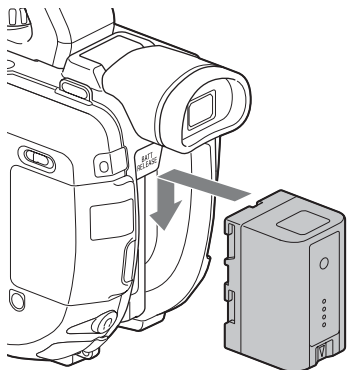
AC-UES1230

⚠️ご注意

- 直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。
- バッテリーチャージャーBC-U1/BC-U2を本機の外部電源として使用することはできません。
- コンセントにつないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。

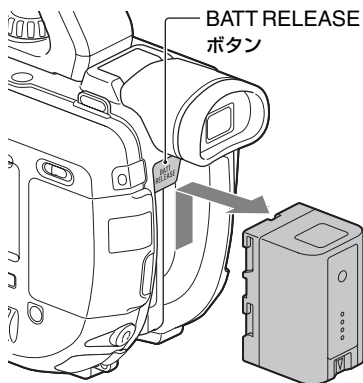
バッテリーパックを使う

- 1 バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



バッテリーを取り外すにはON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にする。

BATT RELEASEボタンを押しながら、上にずらしてバッテリーを取り外す。

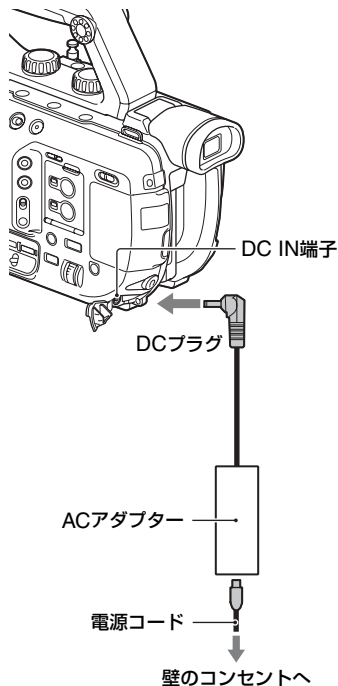


バッテリーについて

- バッテリーの交換は、ON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にしてから行ってください。
- 次のときは、バッテリーインフォが正しく表示されることがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使う

ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時は、バッテリーが取り付けられていても、バッテリー残量は減りません。



1 電源コードをACアダプターにつなぐ。

2 ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

⚠️ ご注意

- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。

バッテリーを充電する

バッテリーチャージャーBC-U1(別売)を使用してバッテリーを充電することができます。充電方法は、バッテリーチャージャーの取扱説明書をご覧ください。

⚠️ ご注意

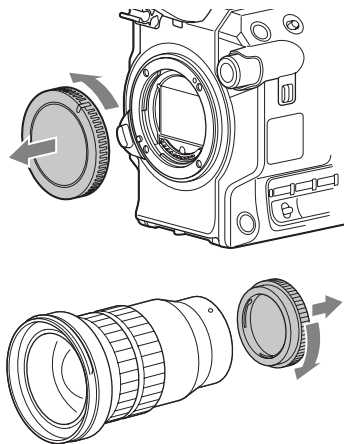
- 充電が完了してCHG(充電)ランプが消えても電源からは遮断されません。

準備 3: レンズを取り付ける

SELP18105Gを例に、レンズの装着方法を説明します。

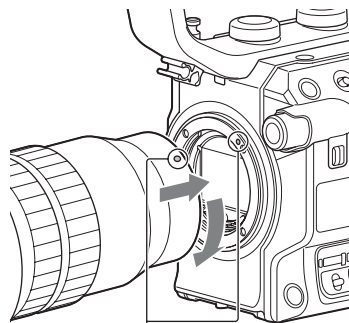
他のレンズをお使いになる場合は、レンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。本体内部にゴミやほこりが入らないように、マウント部を下に向けて、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。

1 本体とレンズから、キャップやカバーを外す。



2 本体とレンズのマウント標点(白色)を合わせ、レンズを軽く本体に押し付けながら、時計方向にゆっくり回す。

「カチッ」と音がしてロックし、取り付けが完了します。



マウント標点(白色)

⚠ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないで、まっすぐに合わせてください。マウント部に強い力がかかると、レンズマウントやNDフィルターの故障、破損の原因となります。
- お使いのレンズによっては、レンズを取り付けたとき、わずかなガタつきがある場合がありますが、故障ではありません。
- 重いレンズや三脚座が付いているレンズを装着する場合は、レンズ側・カメラ側それぞれの三脚座を固定してご使用ください。

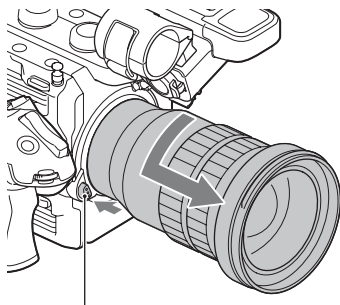
🗨ちょっと一言

- レンズを交換したときは、レンズフロントキャップを付けた状態で、撮影前にブラックバランスを調整することをおすすめします(53ページ)。

取り外し

1 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回して外す。

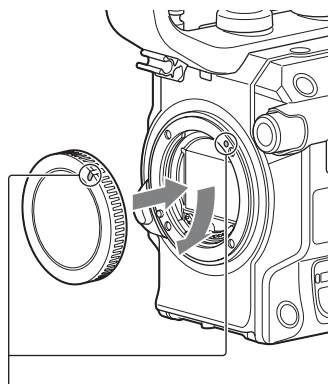
レンズと本体の両方を持って取り外してください。



レンズ取り外しボタン

2 本体とレンズにキャップを取り付ける。

マウント標点にキャップの目印を合わせて、時計方向に回して取り付けてください。



合わせる。

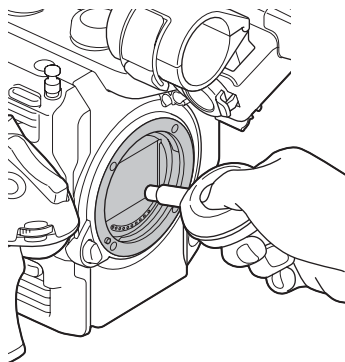
キャップはほこりを落としてから取り付けてください。

④ご注意

- レンズ交換の際に、カメラマウント部のガラス面へゴミやほこりが付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。カメラマウント部のガラス面はアンチダストコーティングによってゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取り外しを行う際は、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- レンズやボディキャップを外した状態のまま、本機を放置しないでください。

カメラマウント部のガラス面にゴミやほこりが付着したら

本機の電源を切り、レンズを外して、別売のプロアーでカメラマウント部のガラス面とその周辺のほこりを吹き飛ばし、レンズを取り付けてください。



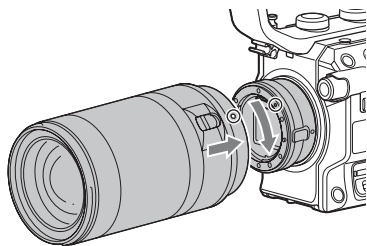
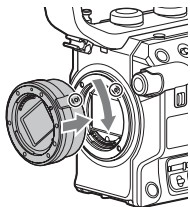
④ご注意

- スプレー式のプロアーは、水滴が本体内部に飛び散るので使用しないでください。
- ほこりが落ちやすいよう、本体をやや下向きにしてください。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

準備3: レンズを取り付ける(つづき)

マウントアダプターについて

マウントアダプター(別売)を使うと、Aマウントレンズ(別売)も本機に取り付けられます。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。



マウントアダプターの種類によって使用できる機能が異なります。

LA-EA1/LA-EA3

- オートフォーカス機能は使えません。
- 本機のND/IRISダイヤルでアイリスを調整することができます。

LA-EA2/LA-EA4

機能

オートフォーカス	コンティニユアス
AF方式	位相差AF
フォーカス切り換え	SAM: レンズ側の操作スイッチ SSM: レンズ側の操作スイッチと本体側のFOCUSスイッチの両方 それ以外のレンズ: 本体側のFOCUSスイッチ

LA-EA2/LA-EA4装着時の動作について

- 動画撮影時の絞りは、オートフォーカスではF3.5に固定されます。また、開放絞りがF3.5以上のレンズの場合は開放値に固定されます。手動フォーカスにすると絞りを設定できます。撮影中に絞りを変更すると作動音が出たり、作動中に画面が明るくなる場合があります。
- 動画モードでアイリスを自動調整することはできません。

📌ご注意

- 一部、お使いいただけないレンズや機能に制限があるレンズがあります。レンズの互換性は、専用サポート、またはソニーの相談窓口でご確認ください。
- 動画記録中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。マイクを外して撮影、またはAUTO/MAN(CH-1)スイッチまたはAUTO/MAN(CH-2)スイッチを「MAN」にして、AUDIO LEVEL(CH-1、CH-2)ダイヤルを0にして撮影することで、音声を記録しないように設定できます(62ページ)。
- お使いのレンズや被写体によっては、ピント合わせに時間がかかったりピントが合いにくい場合があります。

準備 4: ハンドル、アクセサリシュー、マイク、液晶モニター、グリップを取り付ける

ハンドルを取り付ける

AFエリア枠表示

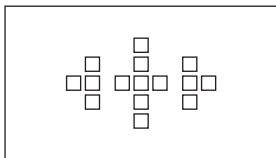
マウントアダプターを使用してAマウントレンズを装着したとき、フォーカス合焦枠が表示されます。

オートフォーカス時: ピントが合うと緑色になります。

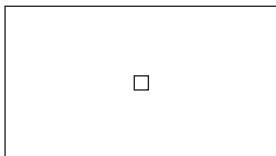
手動フォーカス時: ピントを合わせると緑色になります。フォーカスアシスト機能として使えます。

LA-EA2/LA-EA4装着時

オートフォーカス時



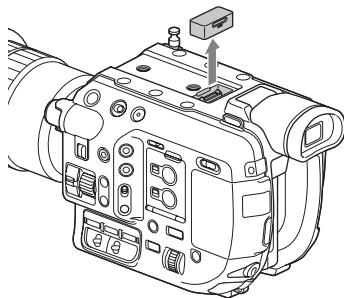
手動フォーカス時



ⓘ ご注意

- スーパースローモーション中は、AFエリア枠表示は行いません。

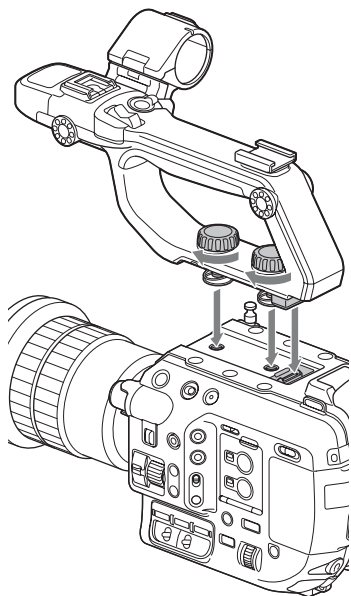
1 ハンドル接続端子の保護キャップを取り外す。



2 ハンドルを本体の端子、ネジに合わせてセットする。

3 ネジを押しながら、時計方向に回して締める。

準備4:ハンドル、アクセサリースュー、マイク、液晶モニター、グリップを取り付ける(つづき)



⚠️ ご注意

- ハンドルはハンドル取り付けネジ2本を確実に締めて使用してください。ネジを確実に締めずに使用すると、ハンドルが外れて本体が落下するおそれがあります。

ハンドルを取り外すには

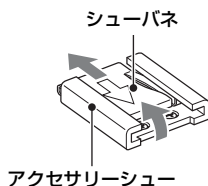
取り付けの逆の手順で取り外してください。

⚠️ ご注意

- ハンドルを外して本機を使用するときは、保護キャップを取り付けて端子部を保護してください。

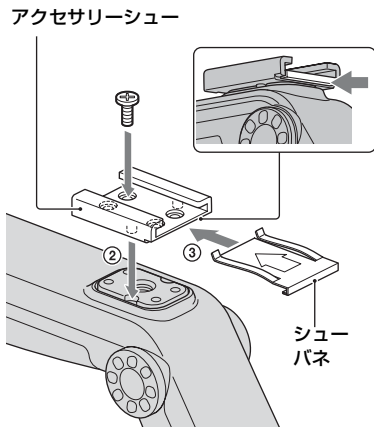
アクセサリースューを取り付ける

- 1 シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。



- 2 アクセサリースューの凸部とアクセサリースュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。

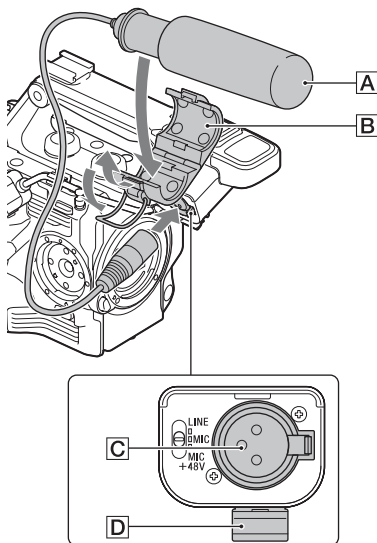
- 3** シューパネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリシューの端部にはまるように取り付ける。



アクセサリシューを取り外すには「アクセサリシューを取り付ける」の手順**1**と同様にシューパネを外し、ネジを緩めてアクセサリシューを外します。

マイク(別売)を取り付ける

ハンドルにマイクホルダーを取り付けます。

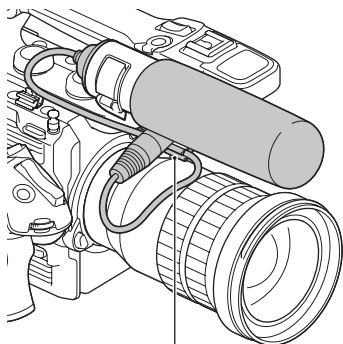


- 1** マイク **A** をマイクホルダー **B** に取り付ける。
- 2** マイクケーブルをINPUT 1端子またはINPUT 2端子 **C** につなぐ。
- 3** 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー **D** に取り付ける。

🗣️ちよっと一言

- マイクがしっかりと固定できない時は、マイクに付属のスペーサーを使ってください。
- 取り付けるレンズの種類によってはマイク先端が写り込んでしまう場合があります。マイクの位置を調整してください。

準備4:ハンドル、アクセサリースュー、マイク、液晶モニター、グリップを取り付ける(つづき)



外側のホルダーに取り付ける。

液晶モニターを取り付ける

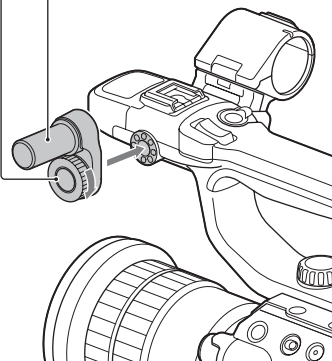
1 ハンドルの液晶モニター取り付け部に、液晶モニター取り付けクランプを差し込む。

2 ネジ(付属)を時計方向に回して締める。

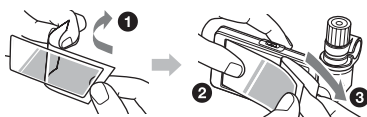
取り付けクランプは45°きざみで自由に取付けが可能です。取り付け部が固定ネジの真上に来る位置を推奨します。

ネジ

液晶モニター取り付けクランプ



3 液晶モニターの画面に付属の液晶保護シートを図のように貼り付ける。



④ ご注意

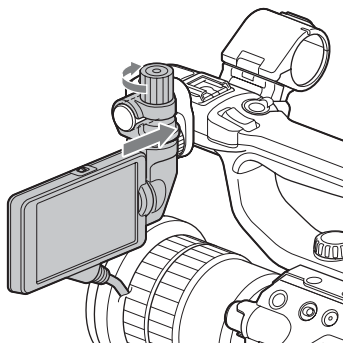
- 貼り付ける前に、液晶モニター画面の汚れ、ほこりを拭き取ってください。

⑤ ちよっと一言

- 液晶保護シートをはがすときは、セロハンテープを使ってはがすことをおすすめします。
- 小さな気泡は、一晩ほど放置すると自然に消える場合があります。

4 液晶モニターを液晶モニター取り付けクランプに差し込む。

5 固定つまみを時計方向に回して締める。

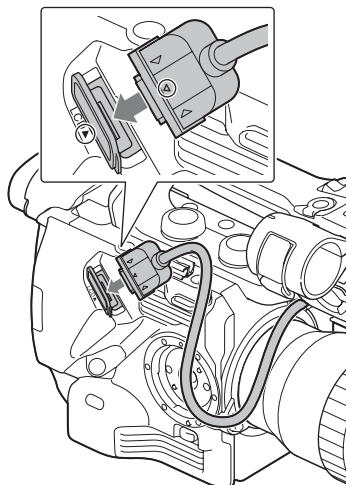


ⓘ ご注意

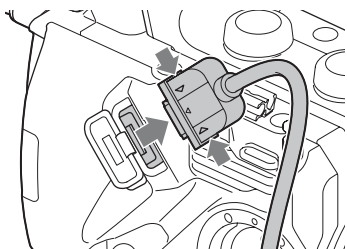
- 液晶モニターは固定つまみを確実に締めて使用してください。固定つまみを確実に締めずに使用すると、液晶モニターが外れて本体が落下するおそれがあります。

6 本体の「LCD▲」マークと液晶モニター接続端子の▼マークを合わせて、ケーブルを差し込む。

必ず▼マークが外側になるように、向きを確認してから差し込んでください。



ケーブルを取り外すには



液晶モニター接続端子の両端(▶と◀の部分)を押しながら取り外します。

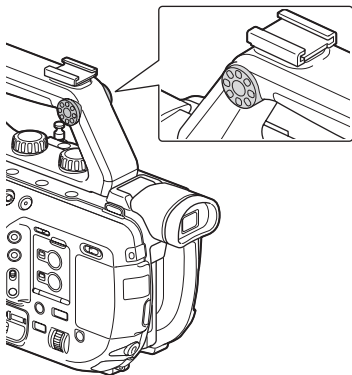
液晶モニターの角度を変えるには

「準備6:液晶モニターとファインダーを調節する」(31ページ)をご覧ください。

準備4:ハンドル、アクセサリースュー、マイク、液晶モニター、グリップを取り付ける(つづき)

ハンドルの他の位置に液晶モニターを取り付けるには

ハンドルの後部にも液晶モニター取り付け部があります(2箇所)。取り付け方法は「液晶モニターを取り付ける」と同じです。

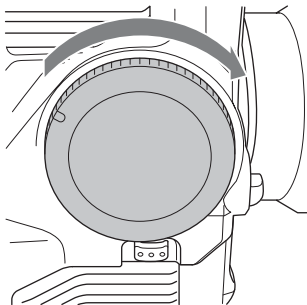


液晶モニターを取り外すには

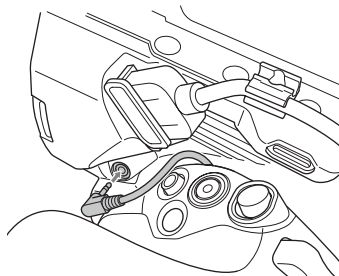
液晶モニターの取り付けと逆の操作を行います。

グリップを取り付ける

1 グリップ取り付け部カバーを取り外す。

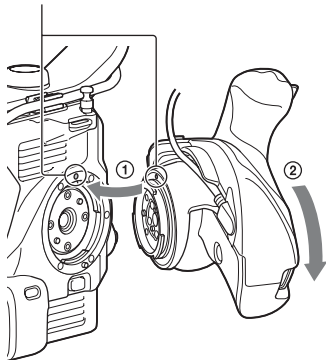


2 REMOTE端子にケーブルをつなぐ。



3 本体のグリップ取り付け部とグリップのマウント標点を合わせ、グリップを本体にセットして、反時計方向にゆっくり回す。

標点

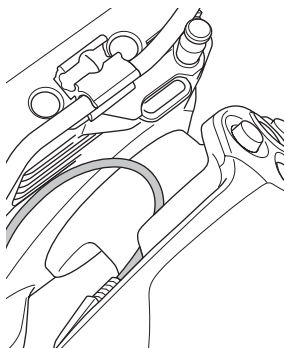


「カチッ」と音がして、ロックし、取り付けが完了します。

⚠ご注意

- 正しく装着できない場合は、グリップや本体に無理な力を加えないで、取り付けをやり直してください。

4 手順2で接続したケーブルを図のように、グリップのスリットの下に入れる。



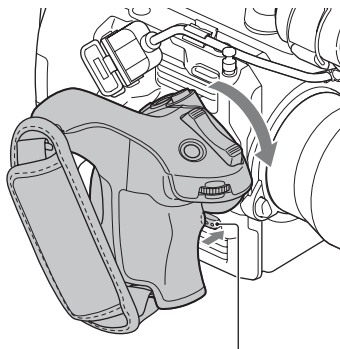
④ご注意

- ケーブルがスリットの下に収まっていないと、グリップの取り付け角度を変更したときに、ケーブルに無理な力が加わったり、ケーブルが回転部に巻き込まれたりすることがあります。

グリップを取り外す

1 REMOTE端子からケーブルを抜く。

2 本体のグリップ取り外しボタンを押しながら、グリップが外れるまで時計方向にゆっくり回す。



グリップ取り外しボタン

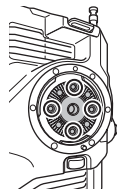
④ご注意

- グリップを取り外すときは、必ず本機を机など平らな場所に置いて行ってください。

④ちょっと一言

- 本体のグリップ取り付け部、グリップ側の取り付け部にはロゼットを取り付けることができます。
ロゼットの購入についてはソニー業務用商品相談窓口までお問い合わせください。
- カメラ本体側: 4-546-932-(別売)
- グリップ側: 4-547-089-(別売)
- 取り付け用ネジ: 7-627-556-(別売)*
* ロゼット1つにつきネジは4本必要です。
(下図の○で囲んだ部分がネジ穴です。)

本体側



グリップ側

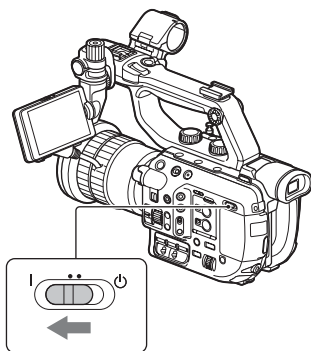


準備 5:電源を入れて日時を合わせる

電源を入れる

ON/STANDBYスイッチをI(ON)にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



電源を切るには

ON/STANDBYスイッチをO(STANDBY)にする。

⚠️注意

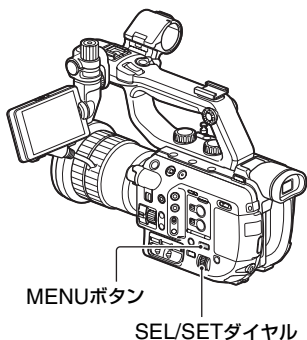
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。


日時を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。

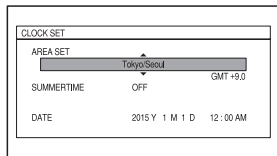
💡ちょっと一言

- 2か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(165ページ)。

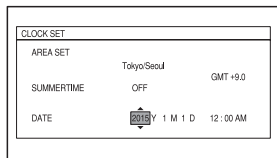


日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 (SYSTEM)メニュー → [CLOCK SET]を選んでください。

1 SEL/SETダイヤルでエリアを選び、押して決定する。



2 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/SETダイヤルを押して決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

💡ちよつと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(136ページ)。

準備 6:液晶モニターとファインダーを調節する

液晶モニター/ファインダーの切り換え

液晶モニターとファインダーのどちらを使用するかを以下の設定により選択することができます。

液晶モニターのみを使用するとき

液晶モニター	液晶モニター [LCD ON/ OFFスイッチ]	メニュー*の [VF/LCD PANEL]設定
接続	ON	LCD PANEL

* 137ページ参照

液晶モニターとファインダーを自動で切り換えて使用するとき

液晶モニター	液晶モニター [LCD ON/ OFFスイッチ]	メニューの [VF/LCD PANEL]設定
接続	ON	AUTO

この設定では、ファインダーに目を近づけると、ファインダー横のアイセンサー(7ページ)が反応し、ファインダー表示になります。

ファインダーから目を離すと、液晶モニター表示に切り換わります。

📌ご注意

- [VF/LCD PANEL]の出荷時の初期設定は[LCD PANEL]です。
- 液晶モニターとファインダーを同時に使用することはできません。

💡ちよつと一言

- ファインダーを覗かなくても、アイセンサーを遮ると、アイセンサーが反応します。

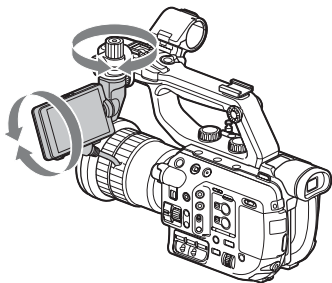
準備6:液晶モニターとファインダーを調節する(つづき)

ファインダーのみを使用するとき

液晶モニター	液晶モニター [LCD ON/ OFFスイッチ]	メニューの [VF/LCD PANEL]設定
接続	OFF	—
非接続	—	—

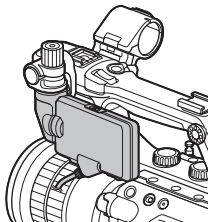
液晶モニターを調整する

液晶モニターは上下前後に回して、見やすい角度に調節することができます。
MIRRORスイッチを使用して、対面撮影などに活用できます(94ページ)。



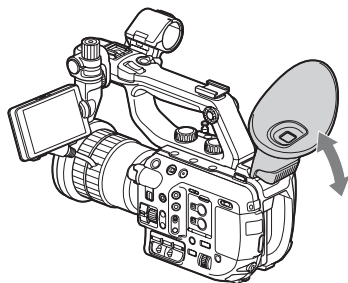
💡ちよっと一言

- 本機を使用しない場合や移動する場合などは、図のように液晶モニターを閉じて、液晶モニターを保護することをおすすめします。

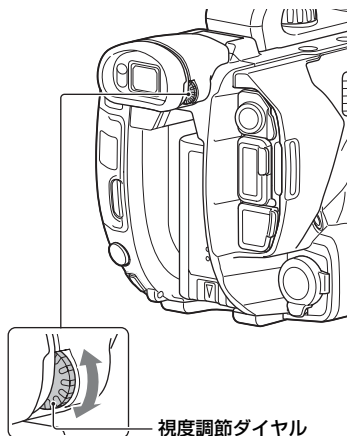


ファインダーを調整する

ファインダーの角度を調節するには、ファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。



ファインダーを見やすく調節するには



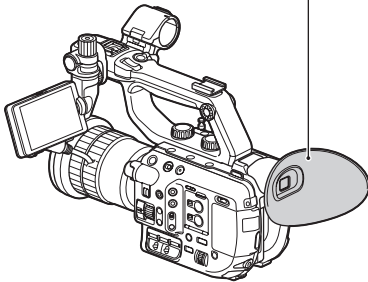
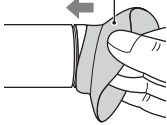
視度調節ダイヤル
画像がはっきり
見えるように動かす

準備 7: グリップの角度を調節する

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。

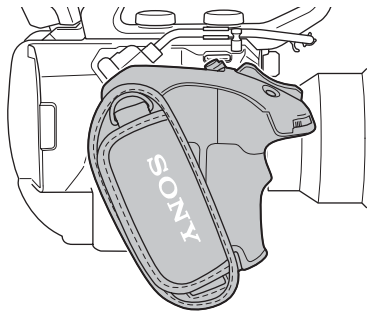
大型アイカップ
(付属)



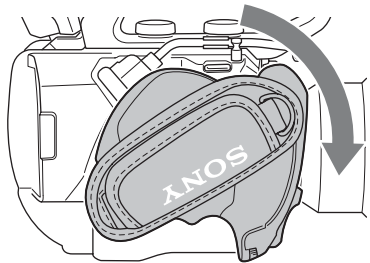
ⓘ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

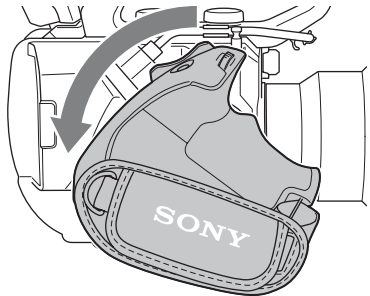
グリップは撮影スタイルに合わせて、下図の範囲で角度を変えることができます。



標準位置



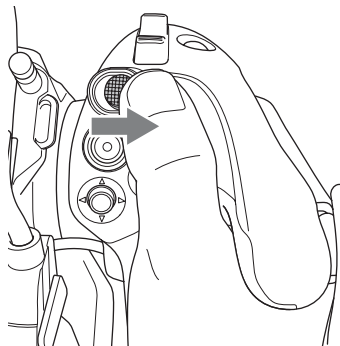
レンズ側に回転(最大回転状態)



本体背面側に回転(最大回転状態)

準備7:グリップの角度を調節する(つづき)

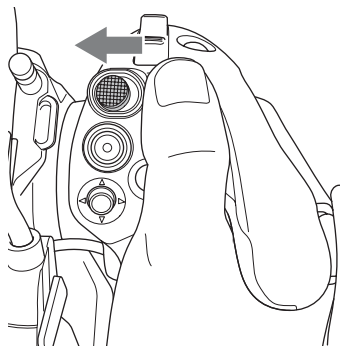
- 1 グリップ回転レバーを図の位置にずらし、レバーを押したままグリップを回す。



- 2 希望の位置付近でグリップ回転レバーから指を外す。

- 3 「カチッ」と音がしてグリップが固定されるように、グリップ位置を微調整する。

グリップが固定されると、グリップ回転レバーは元の位置に戻ります。



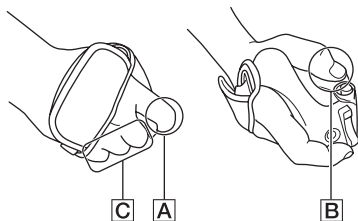
④ご注意

- 変更後、グリップが固定されたことを必ず確認してください。
- 変更可能範囲を超えた角度調整はできません。無理にグリップを回転させないでください。

グリップの握りかた(推奨例)

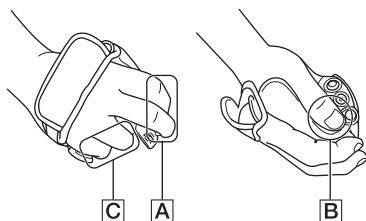
グリップの握りかたに決まりはありませんが、操作しやすい握りかたの例を以下に示します。

ASSIGN5ボタン/Fnボタンやマルチセクターを使うとき



- 【A】人差し指で ASSIGN ダイヤルを操作する。
- 【B】親指でマルチセクターと ASSIGN5 ボタンを操作する。
- 【C】中指、薬指、小指でグリップをしっかりと握る。

ズーム操作を行うとき



- 【A】人差し指、中指でズームレバーを操作する。
- 【B】親指でグリップをしっかりと握る。
- 【C】薬指、小指でグリップをしっかりと握る。

準備 8: メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

記録方式	対応メモリーカード
AVCHD	SD、SDHC、SDXCメモリーカード(Class4以上またはU1以上) メモリースティックPROデュオ(Mark2)、メモリースティックPRO-HGデュオ
AVCHD (スロー&クイックモード、スーパーモード)	SDHC、SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上) メモリースティックPRO-HGデュオ
XAVC HD	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)
XAVC HD (スロー&クイックモード、スーパーモード)	SDXCメモリーカード(U3)
XAVC QFHD	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上) ^{*1}
XAVC QFHD (スロー&クイックモード)	SDXCメモリーカード(U3)
XAVC HD/ プロキシー同 時記録	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上) ^{*2}
XAVC QFHD/ プロキシー同 時記録	SDXCメモリーカード(U3)

^{*1} 100Mbpsで記録する場合は、SDXCメモリーカード(U3)が必要です。

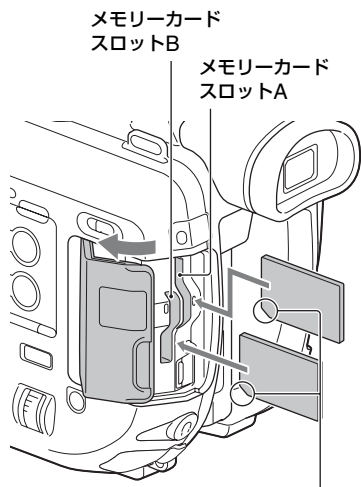
^{*2} XAVC HD(50Mbps)/プロキシー(9Mbps)同時記録の場合は、SDXCメモリーカード(U3)が必要です。

❷ ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

- 標準の“メモリースティック”の半分の大さきの“メモリースティックPROデュオ”、“メモリースティックPRO-HGデュオ”または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカードの記録時間は154ページをご覧ください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」と音がするまで押し込む。



切り欠き部の向きに注意する。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破壊することがあります。

準備8:メモリーカードを入れる(つづき)

- メモリーカードスロットAは、“メモリースティックPROデュオ”、“メモリースティックPRO-HGデュオ”、SDカードに対応しています。
メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

💡ちよつと言

- メモリーカードが1枚だけ挿入されているときは、メモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選択されます。

メモリーカードを取り出すには

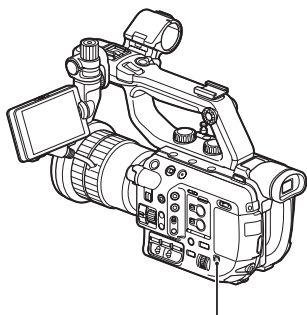
メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

🔔ご注意

- [The image database file is corrupted.
The media must be restored to use again.]
と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(113ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

SLOT SELボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選択したスロットは画面上で確認できます。

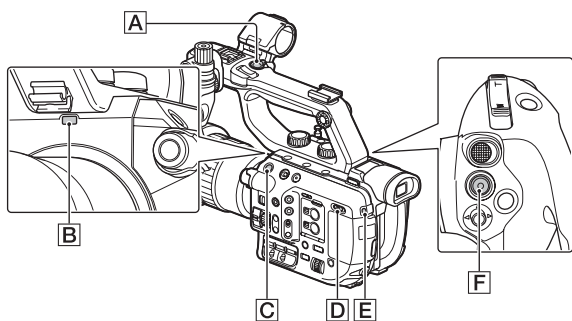


SLOT SELボタン

🔔ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの動画の記録中にSLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

撮影する



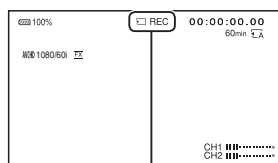
撮影する

本機は動画をメモリーカードに記録します。以下の手順で撮影します。

1 ON/STANDBYスイッチ[D]をI(ON)にする。

2 録画ボタン([A][C][F]のいずれか)を押して撮影を始める。

(以下の操作説明で「録画ボタン」とは、ハンドル録画ボタン、本体のSTART/STOPボタン、グリップのSTART/STOPボタンを一括して指します。)



[STBY] → [REC]

撮影中は録画ランプ[B][E]が点灯します。

撮影を止めるには、録画ボタンをもう一度押します。

⚠️ご注意

- 記録時間については154ページをご覧ください。
- AVCHDの場合は、撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定やピクチャープロファイルの設定、FULL AUTOスイッチを使った設定は、ON/STANDBYスイッチを⌵(STANDBY)にすると保存されます。保存処理中はメモリーカードアクセス

撮影する(つづき)

ランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプターを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る場合があります。

🗨️ちょっと一言

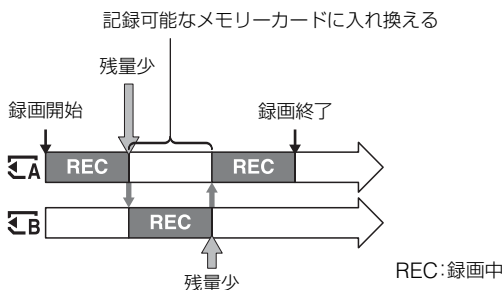
- 撮影中の画面表示の切り換えについては98ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については10ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定することもできます([REC LAMP[F]]、[REC LAMP[R]]、142ページ)。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります。

撮影前に以下の設定をしてください。

➡ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [RELAY REC]にする。



📌ご注意

- 以下の機能が使用中のとき、リレー記録はできません。
 - スロー&クイックモーション
 - スーパースローモーション
 - ストリーミング
- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、メモリーカードアクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[◀A → ▶B]または[▶B → ▶A]が表示されます。メモリーカードスロットが切り換わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。

- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。
- リレー記録の記録可能時間は、XAVC、AVCHDとも約13時間です。記録可能時間を超えると記録は停止します。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

撮影前に以下の設定をしてください。

⇄ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [SIMULTANEOUS REC]にする。

ⓘご注意

- 以下の機能が使用中のとき、同時記録はできません。
 - スロー&クイックモーション
 - スーパースローモーション
 - ストリーミング

START/STOPボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える

SIMULTANEOUS RECを使用しているときには、START/STOPボタン(本体とグリップ)とハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

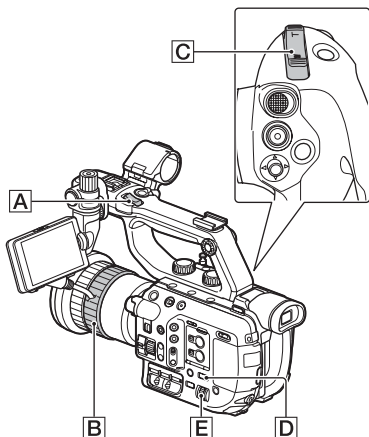
- REC BUTTON(本体とグリップのSTART/STOPボタン): $\overline{\text{A}}$ 、 $\overline{\text{B}}$
- HANDLE REC BUTTON(ハンドル録画ボタン): $\overline{\text{A}}$ 、 $\overline{\text{B}}$

設定を変えるには

⇄ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [REC BUTTON SETTING]を選択する。


REC BUTTON SETTINGの設定	ボタンとメモリーカード
REC BUTTON: $\overline{\text{A}}$ 、 $\overline{\text{B}}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\text{A}}$ 、 $\overline{\text{B}}$	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
REC BUTTON: $\overline{\text{A}}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\text{B}}$	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON: $\overline{\text{B}}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\text{A}}$	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ズームする



ズームの種類を選ぶ

1 MENUボタン[D]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[E]で、
 (CAMERA/PAINT)メニュー
 → [ZOOM SET] → [ZOOM TYPE]でズームの種類を選ぶ。

装着するレンズの種類によって以下のように異なります。

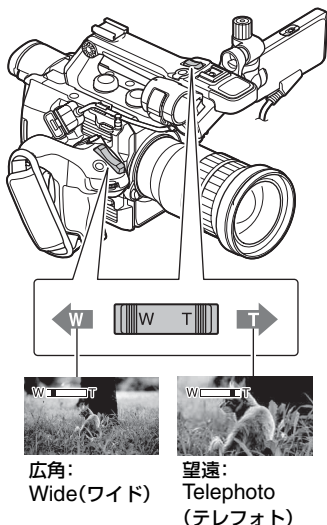
装着する レンズ	[ZOOM TYPE]の設定	
	OPTICAL ZOOM ONLY	ON[CLEAR IMAGE ZOOM]
単焦点レンズ/ズームレンズ	レバーによるズーム操作はできない。	全画素超解像ズームができる。
電動ズームレンズ	光学ズームのみ	光学ズームと全画素超解像ズームができる。

👁ちよっと一言

- 全画素超解像ズーム(CLEAR IMAGE ZOOM)とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。

ズームレバーでズームする

ハンドルズームレバー[A]またはグリップズームレバー[C]を軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームします。



👁ちよっと一言

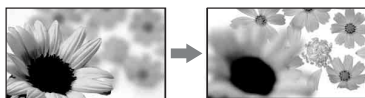
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- ハンドルズームレバーの機能を変更することができます。([HANDLE ZOOM]、126ページ)。
- ズームの表示はバー表示と数値表示で切り換えられます。([ZOOM DISPLAY]、135ページ)。

フォーカスを調節する

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

ズームリングでズームする

ズームリング **B** を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

⚠️ ご注意

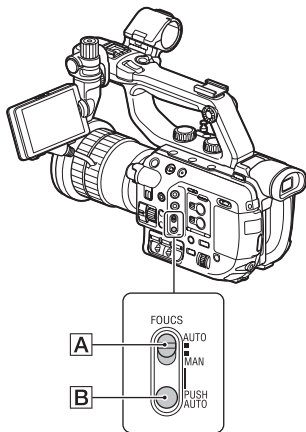
- ズームリング **B** は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

お使いになるレンズのズームリングを左右に回して、被写体の大きさを決めてください。ズームはフォーカス調節前に行いません。

電動ズームレンズ装着時はレンズのズームレバーでも調整することができます。

⚠️ ご注意

- 装着しているレンズによってできることや操作方法が異なります。お使いになるレンズの取扱説明書も併せてご覧ください。
- ズームにより繰り出されたレンズ部分をつかんだり、強い力を加えないでください。レンズが破損することがあります。
- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。



1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ **A** を「MAN」にする。

☑️ が表示されます。

2 フォーカスリングを回してピントが合うように調節する。

☞は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

自動調整にするには

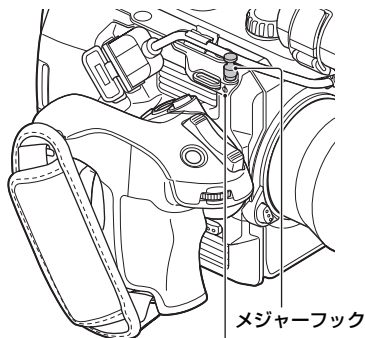
FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[A]を「AUTO」にする。

☞が消えて自動調整に戻ります。

👁ちよっと一言

- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。
- ASSIGNダイヤルに割り当てることが出来ます。(64ページ)。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときの目安)を約3秒間表示します。
 - FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[A]を「MAN」にして☞を表示させたとき
 - ☞表示中にフォーカスリングを回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます([FOCUS DISPLAY]、135ページ)。

撮影距離を正確に測るには



イメージセンサー位置マーク

イメージセンサー位置マーク、メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークまたはメジャーフックの位置を参考にしてください。メジャーフックにメジャーの先端をかけた、被写体からの距離を実測できます。

📌ご注意

- お使いのレンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎているか、確認してください。

一時的にオートフォーカス/
フォーカス固定で撮る(プッシュ
オートフォーカス/フォーカス
ホールド)

プッシュオートフォーカスを使うには FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[A]を「MAN」にして、PUSH AUTOボタン[B]を押して撮影する。押している間は、オートフォーカスで撮影できます。指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

フォーカスホールドを使うには
FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[A]を
「AUTO」にして、PUSH AUTOボタン[B]
を押して撮影する。

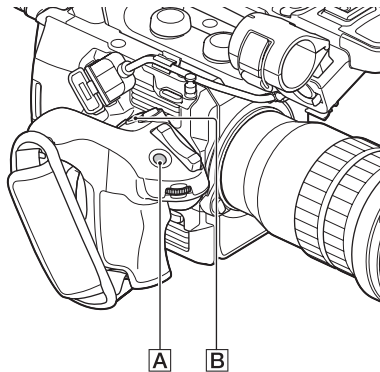
押している間は、ボタンを押したときの
フォーカスを固定して撮影できます。指を
離すと自動ピント合わせに戻ります。

⚠️ ご注意

- レンズ側に同機能のボタンがある場合は、本体と同じ動作をします。例えば、本体側でフォーカスホールドが働く状態のときは、レンズ側のボタンもフォーカスホールドが働きます。

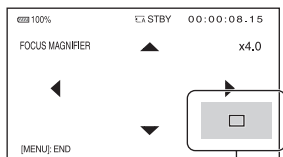
拡大表示をしてピントを合わせる (拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示し
ます。ピントを確認するときに便利です。



グリップのFOCUS MAGボタン[A] を押す。

押すたびに設定が切り換わります。



拡大表示位置

グリップのマルチセレクター[B]または本
体のSEL/SETダイヤルで拡大表示の位置
を変更できます。マルチセレクター[B]ま
たはSEL/SETダイヤルを押すと、拡大表
示位置が中央に戻ります。

⚠️ ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

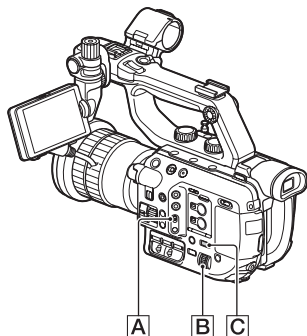
💡 ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- [FOCUS MAG RATIO]で拡大する倍率を切り換えられます(135ページ)。

フォーカスを調節する(つづき)

検出した顔にピントを合わせる (顔認識)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は[OFF])。FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[A]が「AUTO」のときに使用できます。



1 MENUボタン[C]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[B]で、
CAMERA/PANTRYメニュー
→ [FACE DETECTION] →
[ON]を選ぶ。

顔を検出します。

検出すると、枠が表示されます。

3 SEL/SETダイヤル[B]を回して選
択カーソル(オレンジ色の枠)を移
動して、優先する顔を選び、押して
決定する。

選択カーソル(オレンジ)



優先顔枠(二重)

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

顔認識を止めるには

SEL/SETダイヤル[B]で優先設定している顔枠(二重枠)に選択カーソル(オレンジ色の枠)を合わせて、押して決定する。

◆ご注意

- 撮影環境や被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。
- [FACE DETECTION]が[ON]のときは、シャッタースピードなどの操作が行えません。ただし、FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ[C]を「MAN」にすると、[FACE DETECTION]が一時的に[OFF]になり、シャッタースピードなどを操作できます。
- 全画素超解像ズーム中は、顔検出が無効になります。
- その他の制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

☺ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
 - 顔をカメラ正面に向ける

録画設定 / 画像サイズを変更する

記録方式と録画フォーマットを選ぶ

本機では、[FILE FORMAT]で記録方式、[REC FORMAT]で録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。

[FILE FORMAT]ではXAVC QFHD、XAVC HD、AVCHDの3種類から画質を選べます。

撮影する場面や再生機器に合わせて、お好みの画質を選んでください。

1 MENUボタンを押す。

2 SET/SELダイヤルで、**⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [FILE FORMAT] → 希望の記録方式を選択する。

3 SET/SELダイヤルで、**⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [REC FORMAT] → 希望の録画フォーマットを選択する。

XAVC QFHD(4Kモード)の場合

60i	50i
2160/30p 100Mbps	2160/25p 100Mbps
2160/30p 60Mbps	2160/25p 60Mbps
2160/24p 100Mbps	—
2160/24p 60Mbps	—

- 画サイズ: 2160(3840×2160)
- フレームレート: 30/25/24
- スキャン方式: p(プログレッシブ)
- ビットレート: 100Mbps/60Mbps

XAVC HDの場合

60i	50i
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps
1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps
1080/60i 35Mbps	1080/50i 35Mbps
1080/60i 25Mbps	1080/50i 25Mbps
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps
1080/24p 50Mbps	—
1080/24p 35Mbps	—
720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps

- 画サイズ: 1080(1920×1080)/720(1280×720)
- フレームレート: 60/50/30/25/24
- スキャン方式: p(プログレッシブ)/i(インターレース)
- ビットレート: 50Mbps/35Mbps/25Mbps

AVCHDの場合

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/60i FX	1080/50i FX
1080/60i FH	1080/50i FH
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	—
1080/24p FH	—
720/60p FX	720/50p FX
720/60p FH	720/50p FH
720/60p HQ	720/50p HQ

- 画サイズ: 1080(1920×1080)/720(1280×720)
- フレームレート: 60/50/30/25/24
- スキャン方式: i(インターレース)/p(プログレッシブ)

録画設定/画像サイズを変更する(つづき)

- ビットレート
PS:最大28Mbps
FX:最大24Mbps
FH:約17Mbps(平均)
HQ:約9Mbps(平均)

[60i] 選択時のフレームレート表示について

本機の画面に表示されるフレームレートは以下の表の値に対応します。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

ⓘご注意

- 録画フォーマットごとの制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

プロキシ記録をする

本機は高ビットレートのオリジナルファイルの動画を記録しながら、低ビットレートのプロキシファイルを同時に記録できます。

プロキシ記録時の機能制限

プロキシ記録をする場合、本機には制限される機能があります。詳しくは、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご確認ください。

プロキシ記録対応フォーマット

プロキシ記録ができるのはFILE FORMATがXAVC QFHDまたはXAVC HDのときのみです。AVCHDでは記録できません。

記録されるオリジナルファイルの動画とプロキシファイルの映像のサイズには制約があります。


詳しくは、「プロキシ記録対応フォーマット」(158ページ)をご確認ください。

プロキシ記録する

プロキシ記録に使用できるメディアについては、「本機で使えるメモリーカード」(35ページ)をご確認ください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [PROXY REC MODE] → [ON/OFF] → [ON] を選ぶ。

撮影画面に  が表示されます。

3 SEL/SETダイヤルで、 (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [PROXY REC MODE] → [SIZE] → 希望の画サイズを選ぶ。

4 録画ボタンを押して記録を開始する。

ⓘご注意

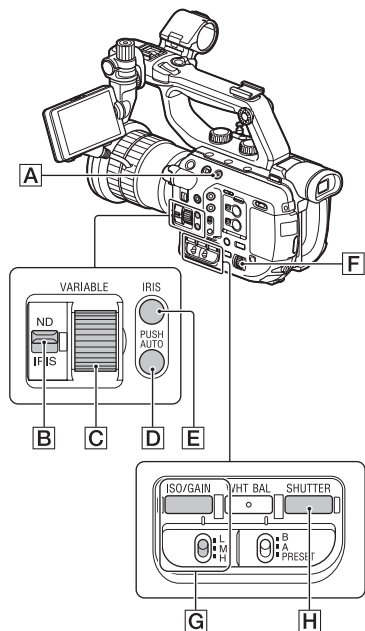
- XAVCのファイル数が上限(600)に達した場合、本機では記録できません。

明るさを調節する

プロキシー記録ファイルについて

- プロキシー記録したファイルの保存場所については、「メモリーカードのファイル/フォルダー構成」(161ページ)をご確認ください。
- プロキシーファイルは本機で再生できません。オリジナルファイルのサムネイルに「Px」が表示されます。
- オリジナルファイルを削除/プロテクトすると、プロキシーファイルも削除/プロテクトされます。

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、NDフィルターを使って光量などを調節して、明るさを調節できます。



📌 ご注意

- FULL AUTOボタンをON(点灯)にすると、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

アイリスを調節する

- 1 FULL AUTOボタン **A** を押して、フルオートモードをオフにする。

2 IRISボタン[E]を押す。

アイリス値の横から **A** が消えた状態にします。



アイリス値

3 ND/IRISスイッチ[B]を「IRIS」の位置にする。

4 ND/IRISダイヤル[C]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調整にするには

IRIS PUSH AUTOボタン[D]を押し続ける。押している間だけ、自動で調整されます。

自動調整にするには

IRISボタン[E]を押す。
アイリス値の横に **A** が表示されます。

ちょっと一言

- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。
- ASSIGNダイヤルに割り当てることができます(64ページ)。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭

く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

- IRIS PUSH AUTOをASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

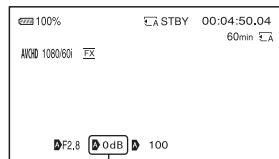
ISO感度/ゲインを調節する

ISO感度やゲインを手動で調整することができます。

1 FULL AUTOボタン[A]を押して、フルオートモードをオフにする。


2 ISO/GAINボタン[G]を押す。

ISO値またはゲイン値の横から **A** が消えた状態にします。



ISO値/ゲイン値

3 ISO/GAIN L/M/Hスイッチ[G]を希望の位置に設定する。

設定されたISO値またはゲイン値が表示されます。L/M/Hの値は、 (CAMERA/PAINT)メニューの[ISO SET]または[GAIN SET]でそれぞれ設定します(123ページ)。

自動調整するには

ISO/GAINボタン[G]を押す。
ISO値またはゲイン値が消えます。または、ISO値またはゲイン値の横に[A]が表示されます。

🗨️ちよっと一言

- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。
- ASSIGNダイヤルに割り当てることができず(64ページ)。
- メニューの[ISO/GAIN SEL]で、表示される値をISO感度とゲインの間で切り換えられます。また、ISO感度とゲインは別々の値で個別に保存されます(122ページ)。

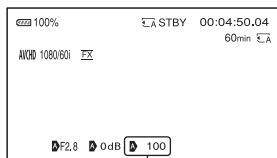
シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 FULL AUTOボタン[A]を押して、フルオートモードをオフにする。

2 SHUTTERボタン[H]を押して、シャッタースピード値を反転表示させる。

シャッタースピード値の横から[A]が消えた状態にします。



シャッタースピード値

3 SEL/SETダイヤル[F]を回して、シャッタースピードを調節する。

シャッタースピードの値を以下の範囲から調節できます。

[60i]選択時:

1/8~1/10000(ただし、24p撮影時は1/6~1/10000)

[50i]選択時:

1/6~1/10000

シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

4 SEL/SETダイヤル[F]を押して、シャッタースピードを固定する。

再度変更したい場合は、手順2から行います。

🗨️ちよっと一言

- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/50、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- シャッタースピードの表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、136ページ)。

明るさを調節する(つづき)

自動調整するには

SHUTTERボタン[H]を2回押す。シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に[A]が表示されます。

[60i/50i SEL]を切り換えた際の設定値について

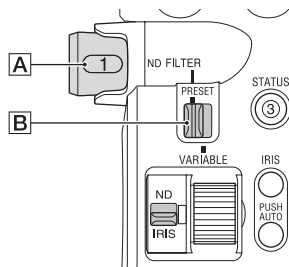
設定変更後のシャッタースピードは、設定前のレベルが継承されます。各レベルのシャッタースピードは以下をご覧ください。

レベル	60i/60p/30p	24p	50i/50p/25p
0	-	6	-
1	8	12	6
2	15	24	12
3	30	25	25
4	50	40	30
5	60	48	50
6	90	50	60
7	100	60	100
8	125	96	120
9	180	100	150
10	250	120	215
11	350	144	300
12	500	192	425
13	725	200	600
14	1000	288	1000
15	1500	400	1250
16	2000	576	1750
17	3000	1200	2500
18	4000	2400	3500
19	6000	4800	6000
20	10000	10000	10000

光量を調節する(NDフィルター)

本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはPRESET/VARIABLEスイッチ[B]で切り換えます。

プリセットモードで調整する



PRESET/VARIABLEスイッチ[B]をPRESETにして、ND FILTERダイヤル[A]を以下のように切り換える。

CLEAR: NDなし

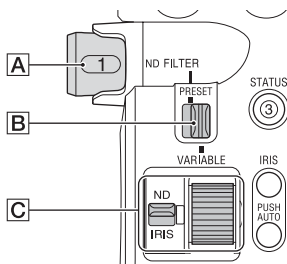
1: CAMERA/PAINTメニュー → ND FILTER → PRESET1で設定した濃度。お買い上げ時は1/4。

2: CAMERA/PAINTメニュー → ND FILTER → PRESET2で設定した濃度。お買い上げ時は1/16。

3: CAMERA/PAINTメニュー → ND FILTER → PRESET3で設定した濃度。お買い上げ時は1/64。

バリエブルモードで調整する

とでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。



1 ND/IRISスイッチ **C** をNDの位置にする。

2 PRESET/VARIABLEスイッチ **B** をVARIABLEにして、ND FILTERダイヤル **A** を1、2、3のいずれかにする。

3 ND/IRISダイヤル **C** でフィルター濃度を1/4～1/128の範囲で連続的に調整する。

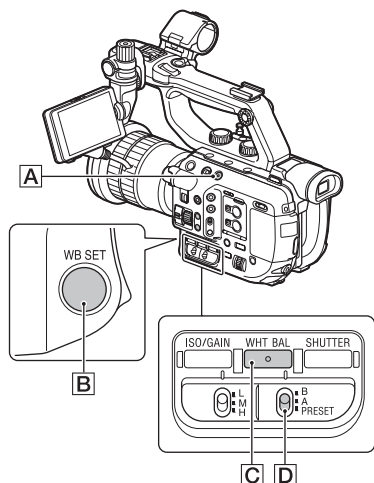
フィルターの濃度調整にND FILTERダイヤル **A** 1/2/3の位置は影響しません。

👁️ ちょっと一言

- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。
- ASSIGNダイヤルに割り当てることができます(64ページ)。
- 撮影中にND FILTERダイヤル **A** を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。ND FILTERダイヤル **A** を使うこ

色合いを調節する

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

💡ちよっと一言

- [WB PRESET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- ダイレクトメニューで操作できます(54ページ)。

1 FULL AUTOボタン[A]を押して、フルオートモードをオフにする。

2 WHT BALボタン[C]を押して、WHT BAL表示を表示させる。

3 B/A/PRESETスイッチ[D]を希望の位置にセットする。

■ A/Bの設定値

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値(53ページ)で撮影するときに設定します。

- 市販のNDフィルターをお使いの場合は、この調整を行うことをおすすめします。

■ PRESETの設定値

📷 (CAMERA/PAINT)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。

設定値	撮影状況例
☀️ 屋外 ([OUTDOOR R])	<ul style="list-style-type: none">• 夜景やネオン、花火などを撮るとき• 日の出、日没などを撮るとき• 昼光色蛍光灯の下
🏠 屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none">• パーティー会場など照明条件が変化する場所• スタジオなどビデオライトの下• ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none">• 📷 (CAMERA/PAINT)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K~15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。

💡ちよっと一言

- ☀️ (OUTDOOR)に設定しているときにWB SETボタン[B]を押してSEL/SETダイヤルを回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)~0(標準、お買い上げ時の設定)~+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDOOR LEVEL]、124ページ)。

- [MANU WB TEMP]に設定しているときにWB SETボタン[B]を押してSEL/SETダイヤルを回すと、色温度の値を変更できます。メニューで設定することもできます。(WB TEMP SET)、124ページ)

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① FULL AUTO ボタン [A] を押して、フルオートモードをオフにする。
- ② WHT BALボタン[C]を押して、WHT BAL表示を表示させる。
- ③ A (📷 A) または B (📷 B) を選ぶ。
- ④ 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
- ⑤ WB SET ボタン [B] を押す。
📷 A または 📷 B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

📌 ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、📷 A または 📷 B が遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60(1/50)付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、B/A/PRESETスイッチ[D]を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調整に戻すには

WHT BALボタン[C]を押す。

ブラックバランスを調整する

撮影条件などにより黒の色ずれが気になる場合、ブラックバランスを調整してください。また、レンズを交換したあとも調整することをおすすめします。調整値は保持されます。

1 スタンバイ中にMENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、
📷 (CAMERA/PAINT)メニュー
→ [BLACK BALANCE]を選ぶ。

3 画面に従って、レンズのフロントキャップを取り付け、[YES]を押して決定する。
調整が実行されます。

4 [Completed.]と表示されたらMENUボタンを押して終了する。

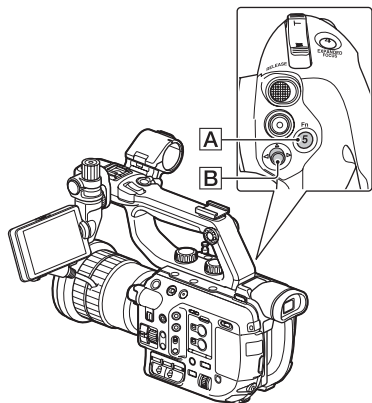
[Could not adjust.]と表示されたときは

- ① MENU ボタンを押してメニュー表示を終了する。
- ② 手順 1 から、再度実行する。

ダイレクトメニューを使う

グリップの片手操作だけでメニューの設定変更を行うことができます。ダイレクトメニューで設定できる項目は以下のとおりです。

- フォーカス値(41ページ)
- AEシフトのレベル値(124ページ)
- NDフィルター値(50ページ)
- アイリス値(47ページ)
- ISO感度/ゲイン(48ページ)
- シャッタースピード値(49ページ)
- ホワイトバランス値(52ページ)



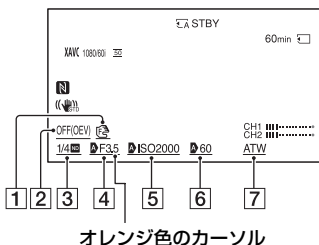
1 グリップのASSIGN5ボタン[A]を押す。

お買い上げ時はダイレクトメニュー表示がASSIGN5ボタン[A]に割り当てられています。他のボタンに割り当てることもできます。

ダイレクトメニューモードに入り、液晶モニター下部の項目にカーソル(下線)が表示されます。

- オレンジ色のカーソルは選択されている項目
- 白いカーソルは選択できる項目

例として、下図では[4]のアイリス値が選択されています。



オレンジ色のカーソル

- 1 フォーカス値
- 2 AEシフトのレベル値
- 3 NDフィルター値
- 4 アイリス値
- 5 ISO感度/ゲイン
- 6 シャッタースピード値
- 7 ホワイトバランス値

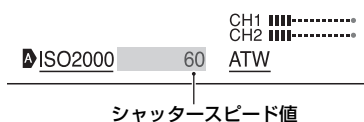
2 マルチセレクター[B]を左右に動かしてオレンジ色のカーソルを設定対象の項目に移動する。

3 設定対象の項目に[A] (自動)が設定されているときは、マルチセレクターを上下に動かして[A]を消す。

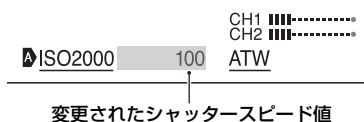
4 マルチセレクター[B]を押して決定する。

設定値が白黒の反転表示になり、数値の変更ができる状態になります。

以下の例では、シャッタースピードの値を変更します。



5 マルチセレクター[B]を上下に動かして、希望の数値を表示させる。



6 続けて他の項目を設定するには、左右キーでオレンジカーソルを移動させて手順3～5を繰り返す。

7 希望の数値をすべて表示させたら、マルチセレクター[B]を押す。

設定値が変更され、ダイレクトメニューモードを抜けます。

⑥ご注意

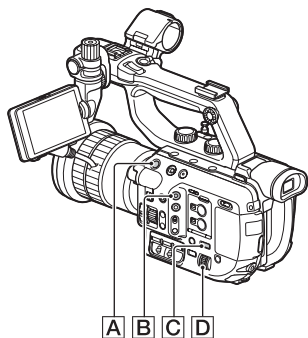
- 以下の機能（操作ボタン/ASSIGNボタンによる操作を含む）を使用中、ダイレクトメニューは使用できません。
 - メニュー表示中
 - サムネイル表示中
 - スロー&クイックモーション
 - スーパースローモーション

- 拡大フォーカス (FOCUS MAGNIFIER)
- 顔認識 (FACE DETECTION)
- ラストシーンレビュー (LAST SCENE REVIEW)
- 音量調節 (VOLUME)
- スマートフォン操作 (CTRL W/ SMARTPHONE)
- ストリーミング (STREAMING)
- ダイレクトメニューの表示中に設定項目（アイリス値やフォーカス値など）がボタンやスイッチで変更された場合、ダイレクトメニューが終了することがあります。

🗨️ちよつと言

- ASSIGNボタンに割り当てることができません（64ページ）。
- 上記の操作で、マルチセレクターの代わりにSEL/SETダイヤルを使うことができます。

スロー&クイック撮影 / スーパースローモーション撮影をする



スロー&クイックモーション撮影をする

再生するフレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

📌 ご注意

- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります (35ページ)。
- クイックモーション撮影の場合、録画ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります (最大30秒程度)。液晶モニターの表示が [REC] で点滅している間は本体を操作せず、[STBY] に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

1 MENUボタン[C]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[D]で

📁 (CAMERA/PAINT)メニュー
→ [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] で [REC FORMAT] / [FRAME RATE] を選ぶ。

[REC FORMAT]: 録画されるフォーマットを以下から選べます。

[60i] 選択時

XAVC QFHD

2160/30p 100Mbps

2160/30p 60Mbps

XAVC HD

1080/60p 50Mbps

1080/60p 35Mbps

1080/30p 50Mbps

1080/30p 35Mbps

1080/24p 50Mbps

1080/24p 35Mbps

AVCHD

1080/60p PS、1080/30p FX、

1080/30p FH、1080/24p FX、

1080/24p FH

[50i] 選択時

XAVC QFHD

2160/25p 100Mbps

2160/25p 60Mbps

XAVC HD

1080/50p 50Mbps

1080/50p 35Mbps

1080/25p 50Mbps

1080/25p 35Mbps

AVCHD

1080/50p PS、1080/25p FX、

1080/25p FH

[FRAME RATE]:撮影時のフレームレートを以下から選べます。

[60i] 選択時

1fps、2fps、4fps、8fps、15fps、
30fps、60fps*

[50i] 選択時

1fps、2fps、3fps、6fps、12fps、
25fps、50fps*

* QFHDでは60fps/50fpsは選択できません。

- [FRAME RATE]と[REC FORMAT]の関係については、57ページをご覧ください。

3 [EXECUTE]を選ぶ。

スロー&クイックモーション撮影画面になります。

4 START/STOPボタン[A]を押して、撮影を開始する。

記録を停止するには

START/STOPボタンを押す。

フレームレートの設定を変更するにはスタンバイ中に、S&Qボタン[B]を長押しして、SEL/SETダイヤル[D]で設定を変更する。

S&Qボタンをもう一度長押しすると、元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタン[B]またはMENUボタン[C]を押す。

スロー&クイックモーション時の [FRAME RATE]と[REC FORMAT]の設定による再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下のようになります。

XAVC HD/AVCHD

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー	100% (標準)	200% クイック
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

スロー&クイック撮影/スーパースローモーション撮影をする(つづき)

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
50	50% スロー	100% (標準)
25	100% (標準)	200% クイック
12	208% クイック	417% クイック
6	417% クイック	833% クイック
3	833% クイック	1667% クイック
2	1250% クイック	2500% クイック
1	2500% クイック	5000% クイック

XAVC QFHD

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	2160/24p	2160/30p
30	80% スロー	100% (標準)
15	160% クイック	200% クイック
8	300% クイック	375% クイック
4	600% クイック	750% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT
	2160/25p
25	100% (標準)
12	208% クイック
6	417% クイック
3	833% クイック
2	1250% クイック
1	2500% クイック

📌 ご注意

- 連続撮影可能時間は、XAVCで約6時間、AVCHDで約13時間です。
- 撮影中は、[FRAME RATE]の設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます(138ページ)。
- 本機のON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にした場合も、スロー&クイックモーションは自動的に解除されます。ただし[FRAME RATE]の設定値は保持されます。
- 音声は記録できません。
- その他の制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

🗨️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

スーパースローモーション撮影 をする

再生フレームレートよりはるかに高いフレームレートで撮影することによって、通常の速度で撮影した映像を低速再生するよりも、滑らかなスーパースローモーション映像が得られます。

📌 ご注意

- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります(35ページ)。
- スーパースローモーション撮影の場合、録画ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります(最大6分程度)。液晶モニターが表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも撮影時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を続けます。
- XAVC QFHDはスーパースローモーション撮影できません。

1 MENUボタン[C]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[D]で

📷 (CAMERA/PAINT)メニュー
→ [SLOW & QUICK] →
[SUPER SLOW MOTION]で
[FRAME RATE]/[REC
FORMAT]/[REC TIMING]を選
ぶ。

[FRAME RATE]:撮影時のフレーム
レートを以下から選べます。

[60i] 選択時

120fps、240fps、480fps、960fps

[50i] 選択時

100fps、200fps、400fps、800fps

[REC FORMAT]:録画されるフォー
マットを以下から選べます。

[60i] 選択時

XAVC HD

1080/60p 50Mbps

1080/60p 35Mbps

1080/30p 50Mbps

1080/30p 35Mbps

1080/24p 50Mbps

1080/24p 35Mbps

AVCHD

1080/60p PS、1080/30p FX、

1080/30p FH、1080/24p FX、

1080/24p FH

[50i] 選択時

XAVC HD

1080/50p 50Mbps

1080/50p 35Mbps

1080/25p 50Mbps

1080/25p 35Mbps

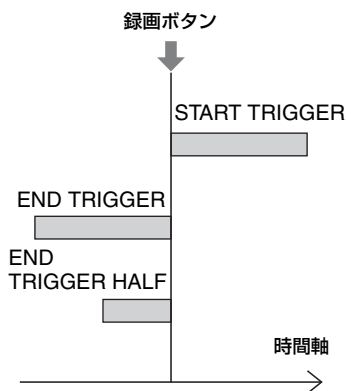
AVCHD

1080/50p PS、1080/25p FX、

1080/25p FH

[REC TIMING]:録画ボタンを押した
ときに録画するタイミングを選べ
ます。

スロー&クイック撮影/スーパースローモーション撮影をする(つづき)



- [FRAME RATE]と[REC FORMAT]の関係については、60ページをご覧ください。
- [REC TIMING]による録画時間の違いについては、61ページをご覧ください。

3 [EXECUTE]を選ぶ。

スーパースローモーション撮影画面になります。

4 START/STOPボタン[A]を押して、撮影を開始する。

録画時間を手動で決めたいときは

[REC TIMING]を[START TRIGGER]にしているとき、START/STOPボタンを押して、お好みのタイミングで撮影を止める。

フレームレートの変更するには撮影スタンバイ画面で、S&Qボタン[B]を長押しして、SEL/SETダイヤル[D]でフレームレートの値を変更する。S&Qボタンをもう一度長押しすると、元に戻ります。

撮影に失敗したときは

記録中の画面で[Cancel]を選んで記録を中止する。

録画は中止され、撮影内容は保存されません。撮影をすぐにやり直したいときに便利です。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタン[B]またはMENUボタン[C]を押す。

スーパースローモーション時の[FRAME RATE]と[REC FORMAT]の設定による再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

[60i]選択時

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
960	2.5% スロー	3.125% スロー	6.25% スロー
480	5% スロー	6.25% スロー	12.5% スロー
240	10% スロー	12.5% スロー	25% スロー
120	20% スロー	25% スロー	50% スロー

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
800	3.125% スロー	6.25% スロー
400	6.25% スロー	12.5% スロー
200	12.5% スロー	25% スロー
100	25% スロー	50% スロー

[REC TIMING]と[FRAME RATE]の設定による記録時間

録画タイミングとフレームレートの設定によって、記録できる時間の目安は以下のようになります。

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
960	19秒	19秒	9秒
480	10秒	10秒	5秒
240	8秒	8秒	4秒
120	16秒	16秒	8秒

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
800	23秒	23秒	11秒
400	12秒	12秒	6秒
200	9秒	9秒	5秒
100	19秒	19秒	10秒

④ご注意

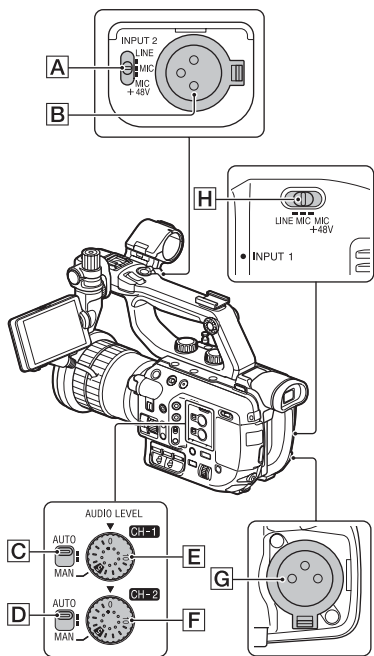
- フルオートモードがオフのときのみ行えます。また、アイリス、ゲイン、シャッタースピードが手動に固定されます。
- [FRAME RATE]で[960]([800])を選択した場合、表示、記録される映像が約2倍テレシフトします。
- [FRAME RATE]で[480]、[960]([400]、[800])を選択した場合、通常撮影時より画質は劣化します。
- ゲインやシャッタースピードの操作をしたり、ホワイトバランスを変更すると、液晶モニター上の映像は変化しますが、記録した映像には撮影終了時点のカメラ設定が反映されます。
- フレームレートの設定を変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます(138ページ)。
- 本機のON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にした場合も、スーパースローモーションは自動的に解除されます。ただし[FRAME RATE]の設定値は保持されます。
- フリッカー補正が効きません。
- 音声は記録できません。
- シャッタースピードはフレームレートより低速の値は選べません。
- WB SETボタンは使用できません。
- AVCHDのスーパースローモーション撮影では、データコード(日時やカメラデータ)が記録されません。
- その他の制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

音の設定をする

下の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については、25ページをご覧ください。



外部音声の入力端子と切り換えスイッチ

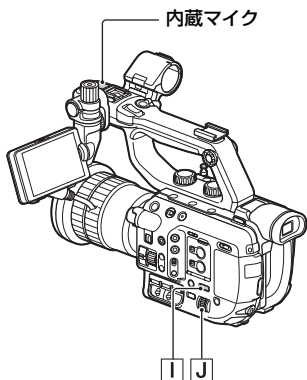
- A INPUT 2スイッチ
- B INPUT 2端子
- G INPUT 1端子
- H INPUT 1スイッチ

音源レベルの設定用スイッチ

- C AUTO/MAN(CH-1)スイッチ
- D AUTO/MAN(CH-2)スイッチ
- E AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル
- F AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル

内蔵マイクで収録する

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。



1 MENUボタン **I** を押す。

2 SEL/SETダイヤル **J** で、
♪ (AUDIO SET)メニュー →
[CH1 INPUT SELECT] →
[INT MIC]を選ぶ。

3 SEL/SETダイヤル **J** で、
♪ (AUDIO SET)メニュー →
[CH2 INPUT SELECT] →
[INT MIC]を選ぶ。

外部音声機器などを使う

内蔵マイク以外のマイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1端子[G]/INPUT 2端子[B]に接続する機器に合わせて、INPUT 1スイッチ[H]/INPUT 2スイッチ[A]を設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2スイッチを「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

- メニューの[INPUT1 TRIM]/[INPUT2 TRIM](132ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。
- 入力レベルは、-60dBu(+12dB)～-30dBu(-18dB)の範囲で、6dBごとに設定できます。お買い上げ時の設定は、-48dBu(0dB)です。

3 チャンネルごとに入力する音源を選ぶ。

- ① MENU ボタン [I] を押す。
- ② SEL/SETダイヤル[J]で、♪ (AUDIO SET)メニュー → [CH1 INPUT SELECT] → [INPUT1]を選ぶ。
- ③ SEL/SETダイヤル[J]で、♪ (AUDIO SET)メニュー → [CH2 INPUT SELECT] → [INPUT2]を選ぶ。

🗣️ちよつと一言

- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT 1端子にL(左)チャンネル、INPUT 2端子にR(右)チャンネルを接続し、CH1をINPUT 1、CH2をINPUT 2に設定してください。

マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)で収録する

マルチインターフェースシュー対応マイクで音声を収録できます。

1 マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)をマルチインターフェースシュー端子につなぐ。

2 メニューでマイクを選択する。

- ① MENU ボタンを押す。
- ② CH1 に設定する場合
SEL/SETダイヤルで、♪ (AUDIO SET)メニュー → [CH1 INPUT SELECT] → [MI SHOE MIC]を選ぶ。
CH2 に設定する場合
SEL/SETダイヤルで、♪ (AUDIO SET)メニュー → [CH2 INPUT SELECT] → [MI SHOE MIC]を選ぶ。

音の設定をする(つづき)

CH1とCH2の両方に設定する場合
上記の両方の操作を行う。

好みの録音レベルに調節する

CH1とCH2を両方とも「INT MIC」に設定した場合、CH1側のスイッチ[C]、ダイヤル[E]に左右のチャンネルが連動します。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 ♪ (AUDIO SET)メニュー → [CH1 INPUT SELECT]または [CH2 INPUT SELECT]を選ぶ。

3 調節するチャンネルのAUTO/ MANスイッチ([C]と[D])を 「MAN」にする。

画面に♪M₂が表示されます。

4 撮影中またはスタンバイ中に、調 節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル([E]と[F])を回し て、マイク音量を調節する。

自動調整に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MAN
スイッチ([C]と[D])を「AUTO」にする。

ASSIGN ボタン/ ASSIGN ダイヤルに 機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンおよび
ASSIGNダイヤルに割り当てて操作する
ことができます。

ASSIGN1~6ボタンとASSIGNダイヤ
ルに1つずつ割り当てられます。
各機能については、()内のページをご覧
ください。

お買い上げ時にASSIGNボタンに割り 当てられている機能

- ASSIGN1: S&Q MOTION(56ページ)
- ASSIGN2: PICTURE PROFILE(83
ページ)
- ASSIGN3: STATUS CHECK(99ペー
ジ)
- ASSIGN4: FOCUS MAGNIFIER(43
ページ)
- ASSIGN5: DIRECT(54ページ)
- ASSIGN6: -

ASSIGNボタンに割り当てられる機能

- (機能なし)
- FOCUS MAGNIFIER(43ページ)
- LAST SCENE REVIEW(93ページ)
- WB PRESET(52ページ)
- AE SHIFT(124ページ)
- CENTER SCAN(125ページ)
- STEADYSHOT(126ページ)
- S&Q MOTION(56ページ)
- IRIS PUSH AUTO(48ページ)
- FACE DETECTION(44ページ)
- COLOR BAR(128ページ)
- DIRECT(54ページ)
- MENU(116ページ)
- PICTURE PROFILE(83ページ)
- VOLUME(130ページ)
- HISTOGRAM(133ページ)
- ZEBRA(133ページ)
- PEAKING(133ページ)
- MARKER(134ページ)

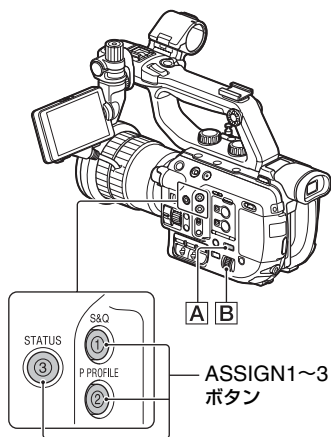
- CAMERA DATA DISPLAY(135ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY(135ページ)
- DATA CODE(98ページ)(136ページ)
- GAMMA DISP ASSIST(91ページ)
- TC/UB DISPLAY(137ページ)
- DISPLAY(98、111、112ページ)
- SMARTPHONE CONNECT(68ページ)
- STREAMING(77ページ)
- STREAM OPERATION(77ページ)
- FTP TRANSFER(79ページ)
- STATUS CHECK(99ページ)
- REC LAMP[F](142ページ)
- REC LAMP[R](142ページ)
- THUMBNAIL(95ページ)

お買い上げ時にASSIGNダイヤルに割り当てられている機能

- IRIS(47ページ)

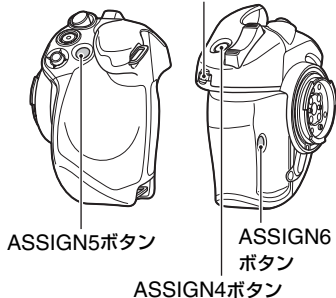
ASSIGNダイヤルに割り当てられる機能

- (機能なし)
- IRIS(47ページ)
- ND FILTER(50ページ)
- ISO/GAIN(48ページ)
- AE SHIFT(124ページ)
- FOCUS(41ページ)



ASSIGN1~3
ボタン

ASSIGNダイヤル



ASSIGN5ボタン

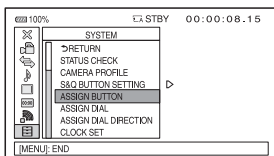
ASSIGN6
ボタン

ASSIGN4ボタン

1 MENUボタン[A]を押す。

2 SEL/SETダイヤル \square で

\square (SYSTEM)メニュー → [ASSIGN BUTTON]を選ぶ。



3 SEL/SETダイヤル \square を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押し決定する。

機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。

4 SEL/SETダイヤル \square を回して割り当てる機能を選び、押し決定する。

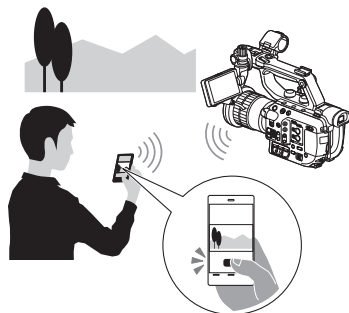
5 SEL/SETダイヤル \square を回して [OK]を選び、押し決定する。

ASSIGNダイヤルに機能を割り当てる

- ① MENU ボタン \square を押す。
- ② SEL/SET ダイヤル \square で \square (SYSTEM) メニュー → [ASSIGN DIAL]を選ぶ。
- ③ SEL/SETダイヤル \square を回して割り当てる機能を選び、押し決定する。

本機のWi-Fi機能を使ってできること

本機のWi-Fi機能を使って、スマートフォンから本機を遠隔操作できます。スマートフォンをカメラのリモコンとして使う (NFCワンタッチリモート対応)



必要な機器・環境

スマートフォンまたはタブレット

「Content Browser Mobile」をダウンロードする

スマートフォンを本機のリモコンとして使うには、「Content Browser Mobile」をお使いのスマートフォンにインストールしてください。インストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Android OSの場合

Google playから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチをご使用の場合は、Android 4.1以上が必要です。
- Google playは、国や地域によって対応していないことがあります。その場合、「Content Browser Mobile」で検索してインストールしてください。

iOSの場合

App Storeから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



iOS 7.0以上が必要です。

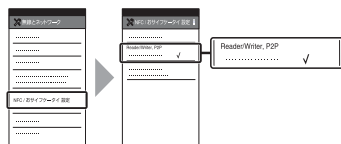
- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

⚠️ ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する

- 1 スマートフォンの「設定」を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer, P2P]にチェックを入れる。



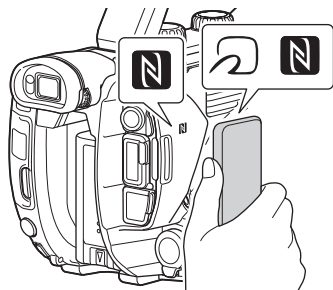
- 2 本機を撮影画面にする。

画面にNが表示されているときのみNFC機能を使用できます。

- 3 本機とスマートフォンをタッチする。

スマートフォンが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。

本機は[CTRL W/SMARTPHONE]が起動します。



Wi-Fi機能を使う(つづき)

👁️ちょっと一言

- 一部の📱が付いているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- スマートフォンで「Content Browser Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。
- [CTRL W/SMARTPHONE]を起動している間は、本機のSTART/STOPボタンまたはハンドル録画ボタン以外のボタン操作は無効です。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは接続できません。[AIRPLANE MODE]を[OFF]にしてください(139ページ)。

スマートフォンを本機のリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して、撮影ができます。NFC機能を使って起動する場合は67ページをご覧ください。

1 MENUボタンを押す。

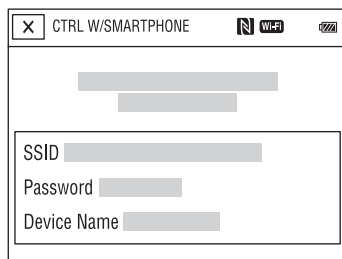
2 SEL/SETダイヤルで、📶(NETWORK SET)メニュー → [CTRL W/SMARTPHONE]を選ぶ。

3 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。

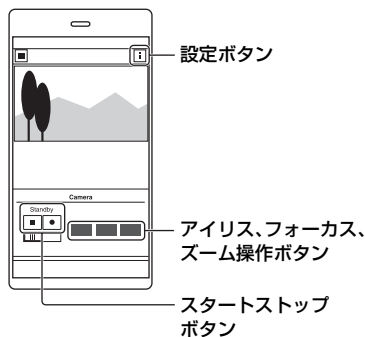
接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。

Androidの場合: 69ページ

iPhoneまたはiPadの場合: 70ページ



4 スマートフォンで本機を操作する。



📌ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

- 撮影した動画はスマートフォンには保存できません。
- 使用上の制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

💡ちよつと一言

- ASSIGNボタンに[SMARTPHONE CONNECT]を割り当てることができます。撮影画面で割り当てたASSIGNボタンを押すと、[CTRL W/SMARTPHONE]を起動することができます(64ページ)。

[CTRL W/SMARTPHONE]でできる機能

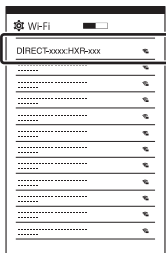
- 録画スタート/ストップ
- タッチフォーカス
 - フォーカスが手動のときに可能です。
- ズーム
- アイリスの調整

📌ご注意

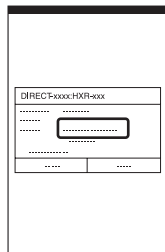
- タッチフォーカスを行っているときは、他の操作はできません。

NFCを使わずに接続する (Android)

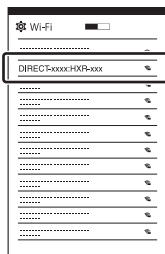
1 スマートフォンの[設定]を起動し、[Wi-Fi]を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。



2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



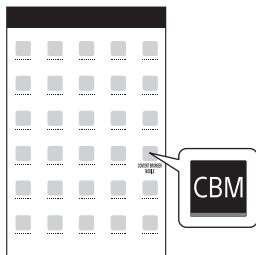
3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



💡ちよつと一言

- 2回目以降は、接続メニューのデバイス一覧から接続機器を選んで、[接続]で接続できます。

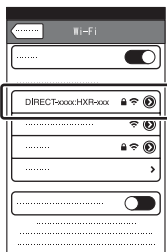
- 4 ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。



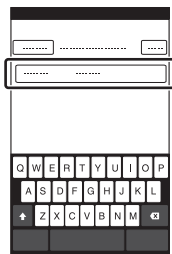
「Content Browser Mobile」起動後の操作については、「Content Browser Mobile」のHelpをご覧ください。

**NFCを使わずに接続する
(iPhoneまたはiPad)**

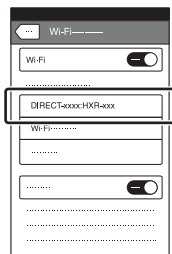
- 1 iPhoneまたはiPadの【設定】を起動し、【Wi-Fi】を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。



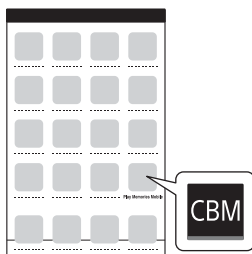
- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



- 3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



- 4 ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。



ネットワーク機能を使う

「Content Browser Mobile」起動後の操作については、「Content Browser Mobile」のHelpをご覧ください。

本機をネットワークに接続し、撮影中の画像をライブストリーミングしたり、記録したファイルをFTPサーバーに転送したりします。

無線LANの設定をする

無線LANで本機をネットワークに接続します。

アクセスポイントを選んで登録する

本機とアクセスポイントを無線LANで接続します。

1 MENUボタンを押す。


2 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 登録したいアクセスポイントを選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合は、[Manual setting]を選んで手で設定します(73ページ)。

4 パスワードを入力し、[Next]を選ぶ。

 が付いていないアクセスポイントは、パスワードの入力は不要です。

5 アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

👁️ちょっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

6 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。

7 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

WPS機能を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で登録することができます。

1 アクセスポイントの電源を入れる。

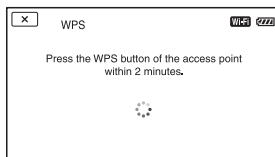
2 本機の電源を入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 SEL/SETダイヤルで、

📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [Wi-Fi SET] → [WPS]を選ぶ。

- しばらくすると以下の画面が表示されます。



5 アクセスポイントのWPSボタンを2分以内に押す。

- WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。
- アクセスポイントに接続できない場合は、画面にメッセージが表示されます。[OK]を選んで、手順4の[WPS]を選択する操作からやり直してください。

6 **[OK]** → **[X]**を選んでから、MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。


④ ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。また、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかつたり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

WPS PIN方式を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントのPINコードを入力してアクセスポイントを登録します。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、
 (NETWORK SET)メニュー
→ [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [WPS PIN]を選ぶ。

👁 ちょっ一言

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合、アクセスポイントを登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 2分以内に、本機の画面に表示されるPINコードを接続するアクセスポイントに入力する。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
 - [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。
-


5 **[OK]** → **[X]**を選んでから、MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

④ ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。また、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかつたり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、
 (NETWORK SET)メニュー
→ [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [Manual regist.]を選ぶ。

👁️注意

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合は、アクセスポイントが登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 表示される画面でSSIDを入力し、[Next]を選ぶ。

5 セキュリティ方式を選ぶ。

[WEP]か[WPA]を選んだ場合は、表示される画面でパスワードを入力し、[Next]を選びます。

6 アクセスポイントの詳細設定をする。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

👁️ちょっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

7 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。

8 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

機器名称を変更する

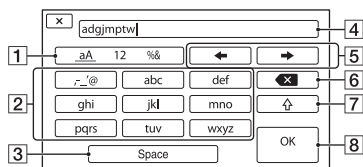
1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [EDIT DEVICE NAME]を選択する。

[Wi-Fi Direct]などの機器名称が表示されます。

変更する場合は、以下の方法でキーボードから入力します。

キーボードの使いかた



各部名称	機能
①文字種切り換え	アルファベット/数字/記号を切り換える
②キーボード	選択するたびに表示されている文字が順番に表示される
③スペース	空白を空ける
④入力ボックス	入力した文字が表示される
⑤カーソル移動	入力ボックス内のカーソルを左右に移動する
⑥削除	カーソルの直前の文字を削除する
⑦↑	アルファベットの大文字/小文字を切り換える
⑧OK	入力内容を確定する

途中で入力をやめる場合は、**X**を押してください。

接続情報をリセットする

[CTRL W/SMARTPHONE]を使用するために登録した接続情報をリセットします。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [SSID/PW RESET]を選択する。

メッセージが表示されます。

3 [OK]を選択する。

④ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

本機のMACアドレスを表示する

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [DISP MAC ADDRESS]を選択する。

本機のMACアドレスが表示されます。

飛行機モードを使用する

飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にできます。

1 MENUボタンを押す。

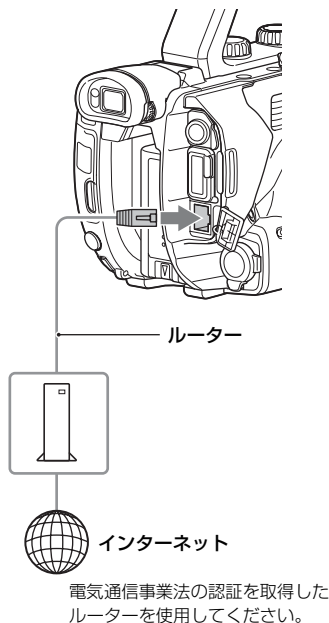
2 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [AIRPLANE MODE]を選択する。

3 [ON]を選択する。

ネットワーク機能を使う(つづき)


有線LANの設定をする

有線LANで本機をネットワークに接続します。



1 本機の有線LAN端子をLANケーブル(別売)でルーターに接続する。

2 MENUボタンを押す。

3 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [WIRED LAN SET] → [IP ADDRESS SET]を選択する。

4 アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

👉ちよっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

ストリーミング (STREAMING)機能を使う

本機をネットワークに接続し、撮影中のライブ映像を外部機器にストリーミング配信します。

ストリーミング対応フォーマット

記録されるオリジナルファイルの動画とストリーミング配信される映像のサイズには制約があります。

詳しくは、「ストリーミング対応フォーマット」(159ページ)をご確認ください。

ストリーミングの設定をする(プリセット登録)

ストリーミングの設定をあらかじめPRESETに登録して、おこのみの設定でストリーミング配信します。

設定できる項目は以下のとおりです。

SIZE

ストリーミングの画像サイズを選ぶ。

- 1280×720
- 640×360

👁️ ちょっと一言

- より安定したストリーミング配信をするためには、「640×360」のサイズを選択してください。

DESTINATION SET

ストリーミングの配信先を設定する。

- **Host Name**: 受信機のIPアドレス、またはホスト名
- **Port**: 受信機のストリーミングに使用するポート番号

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、
📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [STREAMING] → お好みの
PRESET番号 → 設定項目を選
ぶ。

3 設定値を選ぶ/設定する。

4 MENUボタンを押して撮影画面
に戻る。

ストリーミング配信する

接続しているネットワークを使用して、撮影中の動画をストリーミング配信します。

1 ネットワークとの接続設定が完了していることを確認する(71ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [STREAMING] →
[EXECUTE] → ネットワーク接
続方法を選ぶ。

- ネットワークとの接続を開始します。



- ストリーミングをキャンセルする場合は、MENUボタンまたは[STREAMING]を割り当てたASSIGNボタンを押すか、[X]を選びます。
- 接続が完了すると、画面に📶が表示され、配信開始スタンバイ状態になります。

4 THUMBNAILボタンを押し、スト
リーミング配信を開始する。

- 画面のアイコンが📶に切り換わります。

👁️ ちょっと一言

- [STREAMING]をASSIGNボタンに割り当てることもできます(64ページ)。割り当てたASSIGNボタンを押すと、ネットワーク接続方法選択画面が表示されます。
- [STREAM OPERATION]をASSIGNボタンに割り当てることができます。割り当てたASSIGNボタンを押すとストリーミング配信が開始します(64ページ)。
- メモリーカードへのXAVCまたはAVCHDの動画記録とストリーミング配信を同時に行う場合は、ストリーミング配信のスタンバイ完了後、録画を行ってください。

ネットワーク機能を使う(つづき)

- ストリーミング配信スタンバイ中、またはストリーミング配信中にエラーが発生した場合は、状況に応じてメッセージが表示されます。[RECONNECT]が表示された場合、選ぶと本機は再接続を試みます。[END]を選ぶと、本機は接続を終了します。手順1からやり直してください。

④ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、ストリーミング機能は使えません。
 - 再生中
 - サムネイル表示中
 - 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマットのとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
 - 記録方式がXAVC QFHDで、以下のフォーマットのとき
2160/30p 100Mbps、2160/24p 100Mbps、2160/25p 100Mbps
- ストリーミング機能をオンにしている場合、以下の機能は使えません。
 - スロー&クイックモーション
 - スーパースローモーション
 - プロキシ記録
 - 顔認識(FACE DETECTION)
 - カラーバー(COLOR BAR)
 - センタースキャン(CENTER SCAN)
 - 日付記録(DATE REC)
 - 同時/リレー記録(SIMULTANEOUS REC/RELAY REC)
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。
- ストリーミング配信では、インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。
- 送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。
- アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、一部のフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンでは、画質が悪くなります。

ストリーミング中の本機の操作について

ストリーミングでは、以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどのハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ
- 配信音量のレベルを調整する場合はAUDIO LEVELダイヤルで入力音量の調整をしてください。
- 露出調整(アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード)
- ホワイトバランス

ストリーミング配信を停止する

THUMBNAILボタンを押す。

🗨️ちょっと一言

- [STREAM OPERATION]が割り当てられたASSIGNボタンを押してストリーミング配信を停止することもできます(64ページ)。

FTP転送機能を使う

本機をネットワークに接続し、記録した動画ファイルを直接FTPサーバーに転送します。プロキシファイルも転送できません。

FTPサーバーを登録する

FTP転送に使用するFTPサーバーを登録します。サーバーは3つまで登録できます。ここではFTP SERVER1に登録する方法を説明します。

1 MENUボタンを押す。

-
- 2 SEL/SETダイヤルで、**
📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [FTP TRANSFER] → [FTP
SERVER1]を選ぶ。

FTP SERVER1の設定画面が表示されます。

-
- 3 各設定項目名を選んで、FTP
SERVER1の設定内容を入力す
る。**

キーボードで入力して[OK]を選びま
す。

🗨️ちょっと一言

- キーボードの入力方法については、74ページを
ご覧ください。

DISPLAY NAME

登録するFTPサーバーの表示名を入力す
る。

DESTINATION SET

- **Host Name:**サーバーのホスト名
またはIPアドレス
- **Secure Protocol:**安全なFTP転送
をするかどうかの設定
- **Port:**FTPサーバーのポート番号
- **Directory:**転送先のディレクト
リー

USER INFO SET

ユーザー名とパスワード

🚫ご注意

- Secure Protocolは [ON] に設定することを推
奨します。[OFF]の場合は、FTPサーバーとの
通信内容が傍受されたり、意図しないFTPサー
バーに接続したりすることで、ユーザー名、パ
スワード、動画ファイルのデータが漏洩したり
する可能性があります。

FTPサーバーを選択する
登録したFTPサーバーの中からFTP転送
に使用するサーバーを選択します。

-
- 1 MENUボタンを押す。**

-
- 2 SEL/SETダイヤルで、**
📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [FTP TRANSFER] → [FTP
SERVER SELECT]を選ぶ。

-
- 3 お好みのサーバーを選ぶ。**

FTP転送する

接続しているネットワークを使用して、
ファイルをFTP転送します。

-
- 1 ネットワーク設定が完了している
ことを確認する(71ページ)。**

-
- 2 THUMBNAILボタンを押す。**

-
- 3 サムネイル画面で、転送したい
ファイルが保存されているメデ
ィアとファイルフォーマットを選
ぶ。**

-
- 4 MENUボタンを押す。**

5 SEL/SETダイヤルで、

📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [FTP TRANSFER] →
[EXECUTE] → ネットワーク接続方法を選ぶ。

- ネットワークへの接続を開始します。
- FTPサーバーへの接続に成功すると、サムネイル画面が表示されます。
- 手順3でファイルフォーマットを[XAVC]にしたときは、転送するファイルをMainとPROXYから選択してください。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

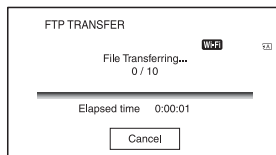
6 FTP転送したいファイルのサムネイルを選択し、[OK]を選ぶ。



- ファイルは最大100個まで選べます。
- DISPLAYボタンを押すとプレビューできます。
- プロキシファイルがあるファイルのサムネイルには[Px]が表示されます。

7 FTP転送が終了したときに自動で本機の電源を切るか(YES)切らないか(NO)を選ぶ。

- ファイル転送を開始します。



- 転送をやめるには[Cancel]を選びます。
- 転送が終わると、手順7で[YES]を選んだ場合は自動的に本機の電源が切れます。
[NO]を選んだ場合は[OK]を選びます。続けてファイル転送することもできます。

📌ご注意

- FTP転送は、本機で記録されたファイルのみ可能です。
- ファイル転送を開始したあとは、メモリーカードを入れ換えないでください。
- 撮影モードではFTP転送できません。THUMBNAILボタンを押して再生モードにしてから操作してください。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。

FTP転送結果を確認する

ファイルがすべて転送できたかどうか確認できます。転送完了後に本機の電源が自動で切れる設定をした場合には、転送結果を確認することをおすすめします。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [FTP RESULT]を選ぶ。

- 転送結果が表示されます。
- 表示される転送結果は以下の内容です。

Date

転送開始日時

Number of Contents

転送済みコンテンツ数/総転送コンテンツ数

Result

転送結果

ルート証明書を読み込む

Secure Protocolを[ON]にしてFTP転送する場合は、FTPサーバーを検証するためのルート証明書が必要です。ルート証明書は本機に内蔵されていて、更新もできます。ルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 ルート証明書をメモリーカードに書き込む。

証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 ルート証明書が書き込まれたメモリーカードを本機のメモリーカードスロットAに入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 SEL/SETダイヤルで、 (NETWORK SET)メニュー → [ROOT CERTIFICATE] → [OK]を選ぶ。

- ルート証明書の読み込みを開始します。
- 「Completed.」と表示されたら、読み込みは完了です。**[OK]**を選んで画面を消してください。

④ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると(82ページ)、メモリーカードから読み込んだルート証明書は削除され、本機のルート証明書は初期化されます。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ネットワーク設定をリセットする

ネットワーク設定に関する、以下の設定をリセットします。

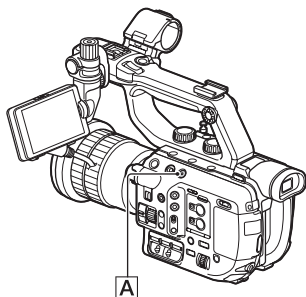
- スマートフォン操作のSSID/パスワード
- ストリーミング設定(76ページ)
- FTP転送設定(78ページ)
- FTP転送結果(80ページ)
- 有線LAN設定(76ページ)
- アクセスポイント設定(71~74ページ)
- 機器名称(74ページ)

1 MENUボタンを押す。

- #### 2 SEL/SETダイヤルで、
-  (NETWORK SET)メニュー
 → [NETWORK RESET] →
 [OK]を選ぶ。

状況に合わせて撮る(フルオートモード設定)

撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影できます。



FULL AUTOボタン[A]を押して、フルオートモードをオンにする。

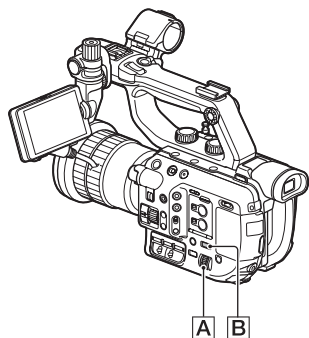
FULL AUTOボタンのランプが点灯します。アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

フルオートモードをオフにするにはFULL AUTOボタン[A]を押して消灯させる。

⚠️ご注意

- FULL AUTOボタンをON(点灯)にすると、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。
- フルオートモードがオンのとき、以下の機能は使用できません。
 - スロー&クイックモーション
 - スーパースローモーション

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP9]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ピクチャー プロファイル番号	設定例
OFF	ピクチャープロファイルを使用しない。
PP1	[STANDARD]ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL]ガンマを用いた一眼動画カメラのような色合いの設定例
PP3	[ITU709]ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU709]規格に忠実な色合いの設定例
PP5	[CINE1]ガンマを用いた設定例

ピクチャー プロファイル番号	設定例
PP6	[CINE2]ガンマを用いた設定例
PP7	[S-LOG2]ガンマで撮影するときの推奨設定
PP8	[S-LOG3]ガンマと「S-GAMUT3.CINE」カラーモードで撮影するときの推奨設定
PP9	[S-LOG3]ガンマと「S-GAMUT3」カラーモードで撮影するときの推奨設定

1 MENUボタン[B]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[A]で、 CAMERA/PAINTメニュー → [PICTURE PROFILE] → 希 望の番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

3 SEL/SETダイヤル[A]を回して [OK]を選び、押して決定する。

🗨️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

ピクチャープロファイル撮影をやめる には

手順2で[OFF]を選び、SEL/SETダイヤル[A]を押して決定します。

便利な機能を使う(つづき)

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP9]の設定内容を変更できません。

- ① MENU ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/SET ダイヤル **[A]** で、
📷 (CAMERA/PAINT)メニュー →
[PICTURE PROFILE] → 変更対象のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/SET ダイヤル **[A]** で、[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/SETダイヤル**[A]**を回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/SETダイヤル**[A]**を回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/SET ダイヤル **[A]** を回して
[↩️ RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/SETダイヤル**[A]**を回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15~+15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	動画用の標準ガンマカーブ
[STILL]	一眼動画カメラのようなガンマカーブ
[CINE1]	暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の諧調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする(HG4609G33相当)。
[CINE2]	[CINE1]とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する(HG4600G30相当)。
[CINE3]	[CINE1]、[CINE2]より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の諧調変化をはっきりさせる。
[CINE4]	[CINE3]よりさらに暗部のコントラストを強める。[STANDARD]より暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5
[ITU709(800%)]	[S-LOG2]、[S-LOG3]撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ
[S-LOG2]	[S-LOG2]のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした設定。
[S-LOG3]	[S-LOG3]のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした、よりフィルムに似た特性のガンマカーブ。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大)~+7(ブラックストレッチ最大)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[GAMMA]で[CINE1]、[CINE2]、[CINE3]、[CINE4]、[STILL]、[ITU709(800%)]、[S-LOG2]、[S-LOG3]を選択しているときは、[MODE]を[AUTO]にしていると[KNEE]はOFFになります。[MODE]を[MANUAL]にすると[KNEE]の機能を使用できます。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動/手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90%~100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75%~105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい)~+5(傾きが大きい) +5に設定すると、[KNEE]はOFFになります。

COLOR MODE

発色のタイプを設定する。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	[GAMMA]が[STANDARD]のときに適した色合い。
[STILL]	[GAMMA]が[STILL]のときに適した色合い。
[CINEMA]	[GAMMA]が[CINE1]のときに適した色合い。
[PRO]	[GAMMA]が[ITU709]のときに自然な色合い。
[ITU709 MATRIX]	ITU-709相当。
[B/W]	白黒
[S-GAMUT/3200K]	■以下の3つの設定と3つの色温度の組み合わせが適用される。 S-GAMUT: [GAMMA]が[S-LOG2]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。 S-GAMUT3.CINE: [GAMMA]が[S-LOG3]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。 S-GAMUT3: [GAMMA]が[S-LOG3]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。広い色域での撮影が可能
[S-GAMUT/4300K]	
[S-GAMUT/5500K]	
[S-GAMUT3.CINE/3200K]	S-GAMUT3.CINE: [GAMMA]が[S-LOG3]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。
[S-GAMUT3.CINE/4300K]	
[S-GAMUT3.CINE/5500K]	
[S-GAMUT3/3200K]	3200K: 色温度3200K
[S-GAMUT3/4300K]	4300K: 色温度4300K
[S-GAMUT3/5500K]	5500K: 色温度5500K

ⓘ ご注意

- COLOR MODEでS-GAMUT、S-GAMUT3、S-GAMUT3.CINEを選択したときは、WBが選択した内容により3200/4300/5500のいずれかに固定されます。

SATURATION

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-32(薄くなる)~+32(濃くなる)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかかる)~+7(赤みがかかる)

便利な機能を使う(つづき)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)~+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)~+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)~+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)~+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)~+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)~+7(黄が深くなる)

COLOR CORRECTION

色補正を設定する。

設定項目	調節する内容
TYPE	カラーコレクションタイプを選ぶ。 [OFF]: カラーコレクションを行わない。 [COLOR REVISION]: メモリーに設定されている色を補正する。 メモリー以外の色([COLOR EXTRACT])の設定で白黒で表示される部分は補正されません。 [COLOR EXTRACT]: メモリー設定されている色のみカラーで表示する。 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
MEMORY SELECTION	有効にするメモリーを選ぶ。 [1]: メモリー1の設定のみ有効にする。 [2]: メモリー2の設定のみ有効にする。 [1&2]: メモリー1、2ともに有効にする。
MEMORY1 COLOR	メモリー1の色を設定する。 [PHASE]: 色相を選ぶ。 0(紫)~8(赤)~16(黄)~24(緑)~31(青) [PHASE RANGE]: 色相の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い: 単色のみ選ぶ)~31(広い: 色相の近い他の色も選ぶ) [SATURATION]: 彩度を選ぶ。 0(薄い色から濃い色まで選ぶ)~31(濃い色のみ選ぶ) [ONE PUSH SET]: センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて [PHASE] を自動選択する。[SATURATION] は0にリセットされる。

設定項目	調節する内容
MEMORY1 REVISION	メモリー1の色を補正する。 [PHASE]:メモリー1で選択した色の色相を補正する。 -15~+15(0の場合、補正されません。) [SATURATION]:メモリー1で選択した色の彩度を補正する。 -15~+15(0の場合、補正されません。)
MEMORY2 COLOR	メモリー2の色を設定する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 COLOR]を参照してください。
MEMORY2 REVISION	メモリー2の色を補正する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 REVISION]を参照してください。

👁️ちょっと一言

- 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [COLOR CORRECTION]の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの[WB SHIFT]、[SATURATION]、[COLOR PHASE]の設定を変更すると、色設定や補正される色合いが変化します。[COLOR CORRECTION]の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECTION]の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをフルオートに設定していると、被写体に合わせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC] : フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB [COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかかる)~+9(赤みがかかる)
[CC [MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかかる)~+9(マゼンタがかかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)~+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)~+9(Bのレベルが上がる)

便利な機能を使う(つづき)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7~+7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON]にすると、[DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われない)。 [V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い)~+2(水平(H)が強い) [B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い)~TYPE5(上側(W)が強い) [LIMIT] : DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい))~7(リミットレベルが高い(リミットされにくい)) [CRISPENING] : クリスプニングレベルを設定する。 0(クリस्पニングレベルが浅い)~7(クリस्पニングレベルが深い) [HI-LIGHT DETAIL] : 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0~4


COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET


ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- ① MENU ボタン **[M]** を押す。
- ② SEL/SET ダイヤル **[A]** で、
 (CAMERA/PAINT)メニュー → [PICTURE PROFILE] → コピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/SET ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/SET ダイヤル **[A]** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/SET ダイヤル **[A]** を回して [YES] → [↩ RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

- ① MENU ボタン **[M]** を押す。
- ② SEL/SET ダイヤル **[A]** で、
 (CAMERA/PAINT)メニュー → [PICTURE PROFILE] → 対象のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/SET ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↩ RETURN] → [OK] を選ぶ。

ガンマ表示アシスト機能を使う

S-Log2/S-Log3を適用した動画は撮影後の編集を前提としています。そのため撮影時の画像は低コントラストとなり、モニタリングしにくくなります。これに対し、[ガンマ表示アシスト]を適用すると、通常の動画に変換してファインダーや液晶モニターに表示することができます。本機能が適用されるのは、ファインダーや液晶モニターに表示されるモニタリング画像または再生画像のみで、記録画像や出力画像には適用されません。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、

 (DISPLAY SET)メニュー → [GAMMA DISP ASSIST] → [ON] を選ぶ。

3 SEL/SETダイヤルで、

 (DISPLAY SET)メニュー → [GAMMA DISP ASSIST] → [TYPE] を選ぶ。

4 SEL/SETダイヤルで、希望の設定値を選ぶ。

AUTO: [PICTURE PROFILE] で設定されたガンマが[S-LOG2]の場合は [S-LOG2 → 709(800%)]に、[S-LOG3]の場合は [S-LOG3 → 709(800%)]に変換して表示する
 S-LOG2 → 709(800%):S-LOG2をITU-709(800%)相当に変換して表示する

便利な機能を使う(つづき)

S-LOG3 → 709(800%):S-LOG3をITU-709(800%)相当に変換して表示する

📌ご注意

- 再生時に[AUTO]を選択している場合も、再生する画像のガンマ値(S-LOG2/S-LOG3)ではなく、[PICTURE PROFILE]のガンマ設定に応じて変換された画像が表示されます。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- MENU ボタンを押し、SEL/SET ダイヤルを回して **00:00** (TC/UB SET)メニュー → [TC PRESET] を選び、押して決定する。
- SEL/SETダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- SEL/SETダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。タイムコードは以下の範囲で設定します。
[60i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
 - 24p設定時は、末尾2桁を00、04、08、12、16、20のいずれかに設定できます。
[50i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:24
- 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- SEL/SETダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で[RESET]を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)する。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押してタイムコードをリセット(00:00:00:00)する。

ユーザービットを設定する

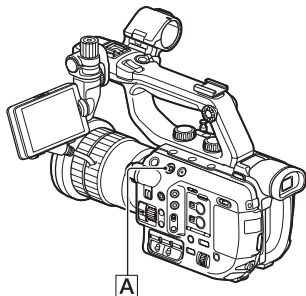
- MENU ボタンを押し、SEL/SET ダイヤルを回して **00:00** (TC/UB SET)メニュー → [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- SEL/SETダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- SEL/SETダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- SEL/SETダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

ユーザービットをリセットするには

「ユーザービットを設定する」の手順②で[RESET]を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)する。

誤操作を防止する(HOLDスイッチ)

誤操作による撮影ミスを防止するために、ボタンやスイッチをロックします。



HOLDスイッチ **A** を矢印の方向にずらす。

解除するには

HOLDスイッチ **A** のオレンジ色部分が見えなくなるまで、矢印の反対方向にずらす。

📌 ご注意

- 以下のボタンやスイッチはロックできません。
 - ON/STANDBYスイッチ(本体)
 - AUDIO LEVEL(CH1/CH2)ダイヤル(本体)
 - ND FILTERダイヤル(本体)
 - FOCUS(AUTO/MAN)スイッチ(本体)
 - ISO/GAIN L/M/Hスイッチ(本体)
 - WHT BAL B/A/PRESETスイッチ(本体)
 - PRESET/VARIABLEスイッチ(本体)
 - INPUT 1スイッチ(本体)
 - INPUT 2スイッチ(ハンドル)
 - グリップ回転レバー(グリップ)
 - LCD ON/OFFスイッチ(LCD)
 - MIRROR スイッチ(LCD)
 - レンズ側のスイッチ(レンズ)

💡 ちよつと言

- [HOLD SW SET] でロックされる機能を変更できます(142ページ)。

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。この機能はASSIGNボタンに割り当てることによって使用できるようになります。

1 あらかじめ、ASSIGNボタンのいずれかに、[LAST SCENE REVIEW] を割り当てておく(64ページ)。

2 録画を停止したら、割り当てたASSIGNボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中にASSIGNボタンを押す。レビューが中断し、スタンバイに戻ります。

📌 ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。
- スーパースローモーション時は、ラストシーンレビューが実行できません。

💡 ちよつと言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

液晶モニターの画面表示を反転する

自分撮り(対面撮影)などで、液晶モニターをレンズ側に180度回転させて操作するときなどに、液晶モニターのMIRRORスイッチで、画面表示を上下反転、または上下左右反転させることができます。

MIRROR スイッチ位置	表示状態	表示例*
OFF	撮影画面は反転しません(正位置表示)。	次図を参照
B/T	撮影画面が上下に反転します。 情報表示は上下左右に反転します。	
ROTATE	撮影画面、情報表示ともに上下左右に反転します。	

* 表示例の情報表示は反転状態を明確にするため、実際の表示より大きくなっています。

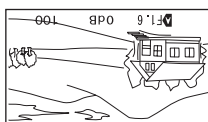
OFF

撮影画面は反転しません。



B/T

撮影画面は上下に反転します。
情報表示は上下左右に反転します。

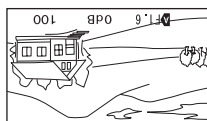


💡ちょっと一言

- [B/T]設定時は、液晶モニターのタイムデータは表示されません。

ROTATE

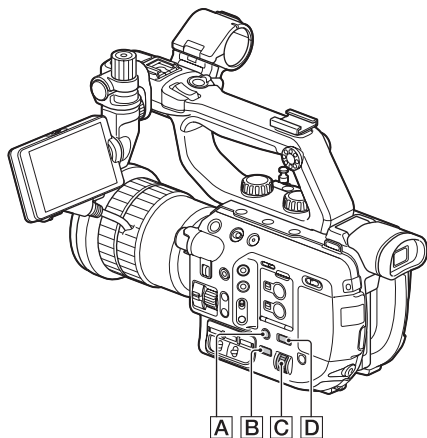
撮影画面は上下左右に反転します。
情報表示は上下左右に反転します。



💡ちょっと一言

- B/TまたはROTATE表示は、液晶モニター表示のみに影響し、外部出力や記録画には影響しません。

本機で再生する



再生する

1 THUMBNAILボタンを押す。

サムネイル画面が表示されます。

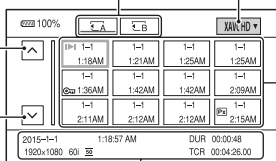
メモリーカード


再生モード

前へ

次へ

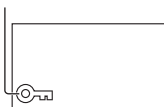
サムネイル

選ばれている動画の
情報(96ページ)

- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示にできます。
- サムネイルにアイコンが表示されている場合もあります。

プロキシ記録(46ページ)のアイコン

プロテクト(111ページ)のアイコン



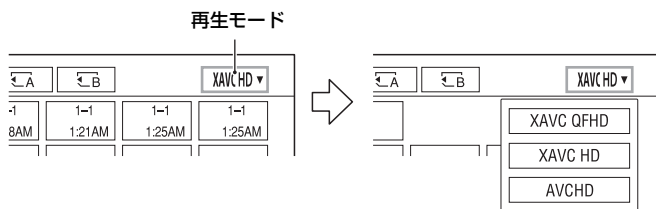
2 再生する。

- ① SEL/SET ダイヤル **C** で再生したいメモリーカードを選ぶ。

◀A :メモリーカード A

◀B :メモリーカード B

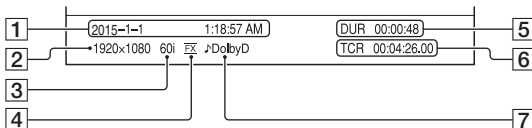
- ② SEL/SET ダイヤル **C** で再生モードを選ぶ。



- XAVC QFHD
- XAVC HD
- AVCHD

- ③ SEL/SET ダイヤル **C** を回して再生したい動画のサムネイルを選ぶ。

画面の下部分に選択した動画の情報が表示されます。



1 撮影開始日時

2 解像度

3 フレームレート

4 ビットレート

5 記録時間

6 記録開始タイムコード

タイムコードが記録されていないメモリーカードや本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

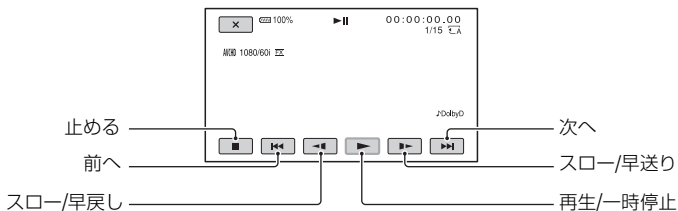
7 DOLBY DIGITAL 記録

AVCHD で音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合に表示されます。

- 最後に再生・撮影した動画のサムネイルに▶が表示されます。選択すると前回の続きから再生されます。

- ④ SEL/SET ダイヤル **C** を押し込んで決定する。

再生が始まります。



💡ちょっと一言

- THUMBNAILボタンの機能をASSIGNボタンに割り当てることができます。
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、サムネイル画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀|/▶ を選択すると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏮/⏭ を選択する回数によって、約5倍速 → 約10倍速 → 約30倍速 → 約60倍速で再生されます。

音量を調節するには

MENUボタン[⏸]を押して、🎵 (AUDIO SET) → [VOLUME]で調節する。

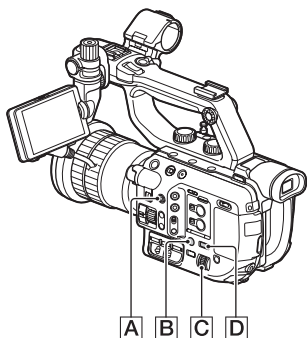
撮影モードに戻すには

THUMBNAILボタン[🖼]を押す。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[B]を押す。

押すたびに、非表示 ↔ 表示と切り換わります。撮影モードのときは、詳細表示 → 簡易表示 → 非表示の順に切り換わります。

👁️ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(137ページ)。
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

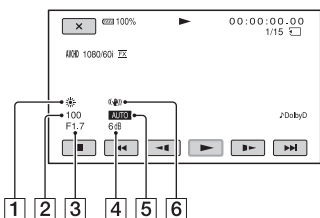
撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

1 MENUボタン[D]を押す。

2 SEL/SETダイヤル[C]で、

■ (DISPLAY SET)メニュー → [DATA CODE]を選ぶか、再生または一時停止中にDATA CODEが割り当てられたASSIGNボタンを押す。

押すたびに、日付時刻表示 → カメラデータ → 表示なしの順に切り換わります。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ISO 感度 / ゲイン
- 5 明るさ調節
アイリス、ISO 感度 / ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 6 手ブレ補正

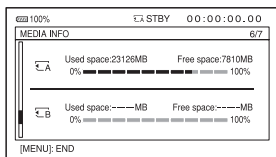
📌ご注意

- XAVC QFHD、XAVC HDはデータコードを表示できません。
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

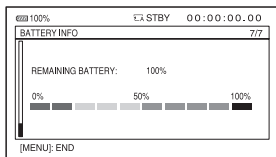
以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- 音声に関する設定(130ページ)
- 出力に関する設定(128ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(64ページ)
- カメラに関する設定(122ページ)
- 録画ボタンの設定(39ページ)
- メモリーカードの情報
使用領域と空き領域の目安を確認できます。

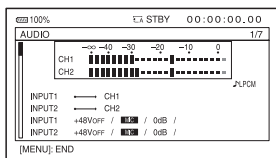


● バッテリーインフォ

装着しているバッテリーの残量を確認できます。



1 STATUSボタン[A]を押す。



2 SEL/SETダイヤル[C]を回して、項目を表示する。

AUDIO → OUTPUT → ASSIGN → CAMERA → REC BUTTON SET → MEDIA INFO → BATTERY INFOの順に切り換わります。

起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには

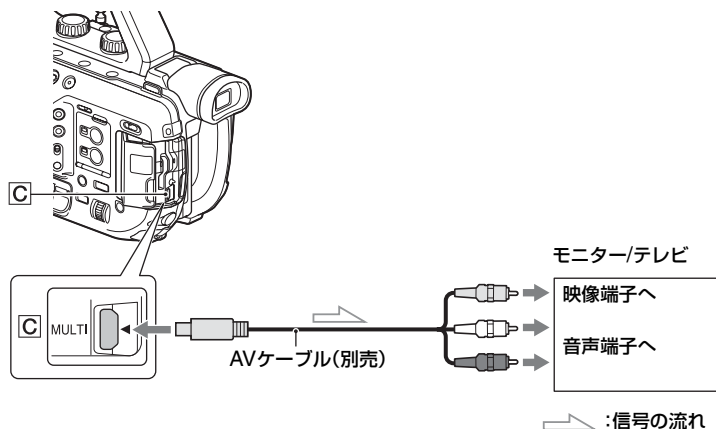
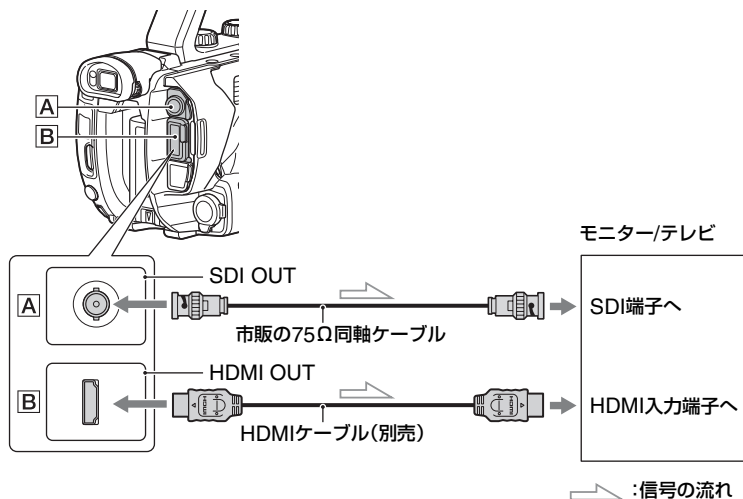
STATUSボタン[A]を押す。

💡 ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができません(64ページ)。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。



ⓘ ご注意

- ビデオ信号は、上図の各端子から同時に出力できません。
- 4Kモード(XAVC QFHD)で記録中は、上図の各端子から信号が出力できません。

💡 ちょっと一言

- マルチ/マイクロUSB端子には、VIDEO OUTとAUDIO OUTが一体化されています。モニター/テレビの映像端子や音声端子への接続にはAVケーブル(別売)が必要です。VMC-15MR2を推奨します。

外部出力用の端子を選ぶ

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルで、 REC/OUT SETメニュー → [OUTPUT SELECT] → 希望の出力先を選択する。

出力信号のフォーマットについて

SDI OUT、HDMI OUT、マルチ/マイクロUSBの各端子から出力される信号のフォーマットは、下表のようになります。

SDI OUT端子の出力フォーマット([60i]選択時)

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p	
XAVC QFHD	2160/24p	2160p/1080p/ 480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p(pulldown)	1080/24p 1080/24psf 1080/60p
		2160p/720p/ 480i	—	720/60p
		2160p/1080i/ 480i		1080/60i
		1080p/480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p(pulldown)	1080/24p 1080/24psf 1080/60p
		720p/480i	—	720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		出力なし
		480i		480/60i

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p	
	2160/30p	2160p/1080p/ 480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60P (pulldown)	1080/30p 1080/30psf 1080/60p
		2160p/720p/ 480i	—	720/60p
		2160p/1080i/ 480i		1080/60i
		1080p/480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p (pulldown)	1080/30p 1080/30psf 1080/60p
		720p/480i	—	720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		出力なし
		480i		480/60i
XAVC HD AVCHD	1080/24p	2160p/1080p/ 480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p (pulldown)	1080/24p 1080/24psf 1080/60p
		2160p/720p/ 480i	—	720/60p
		2160p/1080i/ 480i		1080/60i
		1080p/480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p (pulldown)	1080/24p 1080/24psf 1080/60p
		720p/480i	—	720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		出力なし
		480i		480/60i

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p	
	1080/30p	2160p/1080p/ 480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p(pulldown)	1080/30p 1080/30psf 1080/60p
		2160p/720p/ 480i	—	720/60p
		2160p/1080i/ 480i		1080/60i
		1080p/480i	24p/30p 24PsF/30PsF 60p(pulldown)	1080/30p 1080/30psf 1080/60p
		720p/480i	—	720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		出力なし
		480i		480/60i
	1080/60p 720/60p 1080/60i	2160p/1080p/ 480i	—	1080/60p
		2160p/720p/ 480i		720/60p
		2160p/1080i/ 480i		1080/60i
		1080p/480i		1080/60p
		720p/480i		720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		出力なし
		480i		480/60i

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

HDMI OUT端子の出力フォーマット(【60i】選択時)

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p	
XAVC QFHD	2160/24p	2160p/1080p/ 480i	—	2160/24p
		2160p/720p/ 480i		
		2160p/1080i/ 480i		
		1080p/480i	24p/30p 24PsF/30PsF	記録時: 1080/ 24p 再生時: 1080/ 60p
			60p(pulldown)	1080/60p
		720p/480i	—	720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		480/60p
		480i		480/60i
	2160/30p	2160p/1080p/ 480i	—	2160/30p
		2160p/720p/ 480i		
		2160p/1080i/ 480i		
		1080p/480i	—	1080/60p
		720p/480i		720/60p
		1080i/480i		1080/60i
		480p		480/60p
		480i		480/60i

メニューの設定項目						
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット		
REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	出力される信号のフォーマット		
REC SET>	REC SET>	VIDEO OUT>	VIDEO OUT>			
FILE FORMAT	REC FORMAT	SDI/HDMI	24p/30p			
XAVC HD	1080/24p	2160p/1080p/480i	24p/30p	記録時: 1080/24p		
AVCHD			24PsF/30PsF	再生時: 1080/60p		
			60p(pulldown)	1080/60p		
			2160p/720p/480i	–	720/60p	
			2160p/1080i/480i		1080/60i	
			1080p/480i	24p/30p	記録時: 1080/24p	
				24PsF/30PsF	再生時: 1080/60p	
				60p(pulldown)	1080/60p	
			720p/480i	–	720/60p	
			1080i/480i		1080/60i	
			480p		480/60p	
			480i		480/60i	
			1080/30p	2160p/1080p/480i	–	1080/60p
				2160p/720p/480i		720/60p
		2160p/1080i/480i		1080/60i		
		1080p/480i		1080/60p		
		720p/480i		720/60p		
		1080i/480i		1080/60i		
		480p		480/60p		
		480i		480/60i		

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	出力される信号のフォーマット
REC SET>	REC SET>	VIDEO OUT>	VIDEO OUT>	
FILE FORMAT	REC FORMAT	SDI/HDMI	24p/30p	
	1080/60p	2160p/1080p/480i	—	
	720/60p	2160p/720p/480i		
	1080/60i	2160p/1080i/480i		
		1080p/480i		
		720p/480i		
		1080i/480i		
		480p		
		480i		
				1080/60p
				720/60p
				1080/60i
				480/60p
				480/60i

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット(【60i】選択時)

常に480/60iで出力されます。

SDI OUT端子の出力フォーマット（[50i]選択時）

—：設定値に依存しない

メニューの設定項目							
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット			
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p				
XAVC QFHD	2160/25p	2160p/1080p/ 576i	25p	1080/25p			
			25PsF	1080/25psf			
			50p	1080/50p			
			—	720/50p			
			—	1080/50i			
			25p	1080/25p			
			25PsF	1080/25psf			
			50p	1080/50p			
			—	720/50p			
			—	1080/50i			
			—	出力なし			
			—	576/50i			
			XAVC HD AVCHD	1080/25p	2160p/1080p/ 576i	25p	1080/25p
						25PsF	1080/25psf
50p	1080/50p						
—	720/50p						
—	1080/50i						
25p	1080/25p						
25PsF	1080/25psf						
50p	1080/50p						
—	720/50p						
—	1080/50i						
—	出力なし						
—	576/50i						

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p	
	1080/50p	2160p/1080p/ 576i	—	1080/50p
	720/50p	2160p/720p/ 576i		720/50p
	1080/50i	2160p/1080i/ 576i		1080/50i
		1080p/576i		1080/50p
		720p/576i		720/50p
		1080i/576i		1080/50i
		576p		出力なし
		576i		576/50i

HDMI OUT端子の出力フォーマット(【50i】選択時)

—: 設定値に依存しない

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p	
XAVC QFHD	2160/25p	2160p/1080p/ 576i	—	2160/25p
		2160p/720p/ 576i		
		2160p/1080i/ 576i		
		1080p/576i		1080/50p
		720p/576i		720/50p
		1080i/480i		1080/50i
		576p		576/50p
		576i		576/50i

メニューの設定項目				
記録モード	録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> FILE FORMAT	REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p	
XAVC HD AVCHD	1080/25p	2160p/1080p/ 576i	—	1080/50p
		2160p/720p/ 576i		720/50p
		2160p/1080i/ 576i		1080/50i
		1080p/576i		1080/50p
		720p/576i		720/50p
		1080i/576i		1080/50i
		576p		576/50p
	576i		576/50i	
	1080/50p 720/50p 1080/50i	2160p/1080p/ 576i	—	1080/50p
		2160p/720p/ 576i		720/50p
		2160p/1080i/ 576i		1080/50i
		1080p/576i		1080/50p
		720p/576i		720/50p
		1080i/576i		1080/50i
576p			576/50p	
576i		576/50i		

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット（[50i] 選択時）

常に576/50iで出力されます。

スロー&クイックモーション/スーパースローモーション時の出力について

- XAVC QFHD、2160/24pの場合、スロー&クイックモーション時の出力は、録画フォーマットが2160/30pの場合と同じになります。
- XAVC HD/AVCHDの場合、スロー&クイックモーション/スーパースローモーション時は、録画フォーマットのフレームレートが30pまたは24pであっても、60pまたは60iで出力されます。
また、録画フォーマットのフレームレートが25pであっても、50pまたは50iで出力されます。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)


📌 ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

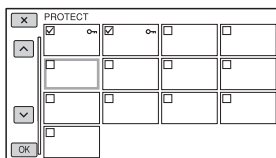
記録した動画を保護する(プロテクト)

動画を誤って削除してしまうことを防げます。




1 サムネイル画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルを回して
 (EDIT)メニュー →
 [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画を選ぶ。
 画像に✓マークが表示されます。



- DISPLAYボタンを押すと、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4  →  →  を選ぶ。

プロテクトを解除するには


手順**3**で✓マークの付いた動画を再度選ぶ。

✓マークが消えます。

動画を分割する

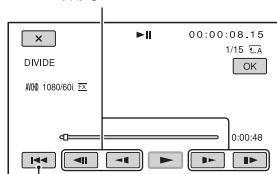
指定した場所で動画を分割できます。
 (AVCHDのみ)

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。



2 SEL/SETダイヤルを回して
 (EDIT)メニュー →
 [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場所でIIを選ぶ。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4  →  を選ぶ。

④ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、IIで決定した分割点と実際の分割点とは若干のずれが生じることがあります。
- プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください(111ページ)。
- XAVCの動画は分割できません。

🗨️ ちよっと一言

- 本機では簡単な編集ができます。さらに編集する場合は、市販のソフトウェアをお使いください。

動画を削除する

不要な動画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

📌 ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(111ページ)。
- 大切な動画は、あらかじめ保存してください。

🗨️ ちよっと一言

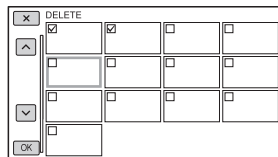
- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(113ページ)。

1 サムネイル画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルを回して 🖱️ (EDIT)メニュー → [DELETE]を選ぶ。

3 削除する動画を選ぶ。

画像に✓マークが表示されます。



- DISPLAYボタンを押すと、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に🔒が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

メモリーカードを初期化する

4 **[OK]** → **[OK]** → **[OK]**を選ぶ。

初期化とはメモリーカード内のデータをすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

📌ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データは保存してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルを回して
[] (SYSTEM)メニュー →
[MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化するメモリーカードを選ぶ。

4 **[OK]** → **[OK]**を選ぶ。

📌ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください(初期化中はメモリーカードアクセスランプが点灯・点滅します)。

メモリーカード上のデータを復元しにくくする

メモリーカードに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化ではすべてのデータを削除できないので、メモリーカードを廃棄したり譲渡したりする前に、情報漏洩を防ぐため、以下の方法でメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

ⓘ ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

ⓘ ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

1 ACアダプターと電源コードを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 SEL/SETダイヤルを回して
☰ (SYSTEM)メニュー →
[MEDIA FORMAT]を選ぶ。

4 初期化するメモリーカードを選ぶ。
初期化の画面が表示されます。

5 [Empty] → [OK]を選ぶ。

管理ファイルを修復する

管理情報とメモリーカードの動画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

ⓘ ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/SETダイヤルを回して ☰ (SYSTEM)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE]を 選ぶ。

3 管理ファイルを確認するメモリー カードを選ぶ。

4 OK を選ぶ。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、 OK を選んで終了してください。

5 OK → OK を選ぶ。

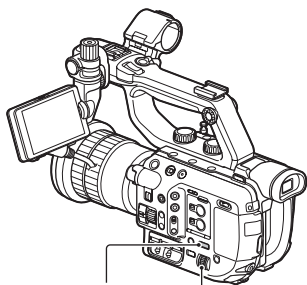
ⓘ ご注意

- [Repairing the Image Database File]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

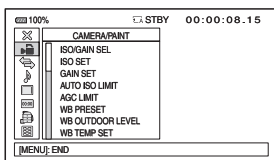


MENUボタン









SEL/SETダイヤル

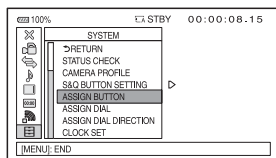
1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

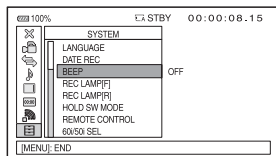


2 SEL/SETダイヤルを回してメニューアイコンを選び、押して決定する。

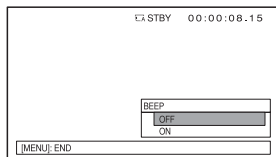
-  CAMERA/PAINT(122ページ)
-  REC/OUT SET(128ページ)
-  AUDIO SET(130ページ)
-  DISPLAY SET(133ページ)
-  TC/UB SET(137ページ)
-  NETWORK SET(139ページ)
-  SYSTEM(140ページ)
-  EDIT(122ページ)



3 SEL/SETダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



4 SEL/SETダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。



(CAMERA/PAINT)

(122ページ)

ISO/GAIN SEL	▶ISO、GAIN
ISO SET	H ISO1000 ~ ISO32000*1 (▶ISO3200) M ISO1000 ~ ISO32000*1 (▶ISO1600) L ISO1000 ~ ISO32000*1 (▶ISO1000)
GAIN SET	H 0dB ~ 30dB (▶18dB) M 0dB ~ 30dB (▶9dB) L 0dB ~ 30dB (▶0dB)
AUTO ISO LIMIT	▶OFF、ISO1000 ~ ISO25600*1
AGC LIMIT	▶OFF、0dB ~ 27dB
WB PRESET	▶OUTDOOR、 INDOOR、MANU WB TEMP
WB OUTDOOR LEVEL	-7 ~ +7 (▶0)
WB TEMP SET	2300K ~ 15000K (▶6500K)
BLACK BALANCE	
AE SHIFT	ON/OFF ▶OFF、ON LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (▶0EV)
LENS COMPENSATION	▶AUTO、OFF
ND FILTER	PRESET1 ▶1/4、1/8、1/16、 1/32、1/64、1/128 PRESET2 1/4、1/8、▶1/16、 1/32、1/64、1/128 PRESET3 1/4、1/8、1/16、 1/32、▶1/64、1/128

ND/IRIS DIAL DIRECTION	▶NORMAL、 OPPOSITE
CENTER SCAN	▶OFF、ON
ZOOM SET	ZOOM TYPE ▶OPTICAL ZOOM ONLY、ON [CLEAR IMAGE ZOOM] HANDLE ZOOM ZOOM SPEED TYPE ▶VARIABLE、 FIXED、OFF ZOOM SPEED 1 ~ 8 (▶3) ZOOM RING ROTATE ▶LEFT(W)/ RIGHT(T)、 RIGHT(W)/LEFT(T)
STEADYSHOT	▶STANDARD、 ACTIVE、OFF

SLOW & QUICK

S&Q MOTION
REC FORMAT

[60i] 選択時
XAVC QFHD
2160/30p
100Mbps²
▶2160/30p 60Mbps²
2160/24p 100Mbps³
▶2160/24p 60Mbps³

XAVC HD
1080/60p 50Mbps
1080/60p 35Mbps
1080/30p 50Mbps
1080/30p 35Mbps
▶1080/24p
50Mbps
1080/24p 35Mbps

AVCHD
1080/60p PS
1080/30p FX
1080/30p FH
▶1080/24p FX
1080/24p FH

[50i] 選択時
XAVC QFHD
2160/25p 100Mbps
▶2160/25p
60Mbps

XAVC HD
1080/50p 50Mbps
1080/50p 35Mbps
▶1080/25p
50Mbps
1080/25p 35Mbps

AVCHD
1080/50p PS
▶1080/25p FX
1080/25p FH

FRAME RATE

[60i] 選択時
XAVC QFHD
1fps ~ 30fps
(▶30fps)

**XAVC HD/
AVCHD**
1fps ~ 60fps
(▶60fps)

[50i] 選択時
XAVC QFHD
1fps ~ 25fps
(▶25fps)

**XAVC HD/
AVCHD**
1fps ~ 50fps
(▶50fps)

SUPER SLOW
MOTION

REC FORMAT

[60i] 選択時
XAVC HD
1080/60p 50Mbps
1080/60p 35Mbps
1080/30p 50Mbps
1080/30p 35Mbps
▶1080/24p
50Mbps
1080/24p 35Mbps

AVCHD
1080/60p PS
1080/30p FX
1080/30p FH
▶1080/24p FX
1080/24p FH

[50i] 選択時
XAVC HD
1080/50p 50Mbps
1080/50p 35Mbps
▶1080/25p
50Mbps
1080/25p 35Mbps

AVCHD
1080/50p PS
▶1080/25p FX
1080/25p FH

FRAME RATE

[60i] 選択時
120fps ~ 960fps
(▶120fps)

[50i] 選択時
100fps ~ 800fps
(▶100fps)

REC TIMING

START TRIGGER,
▶END TRIGGER,
END TRIGGER
HALF

AUTO BACK LIGHT ▶OFF, ON

FACE DETECTION ▶OFF, ON

VIDEO LIGHT ▶POWER LINK,
REC LINK, REC
LINK+STBY, AUTO

AF MICRO ADJUSTMENT	ON/OFF ▶OFF、ON AMOUNT -20 ~ +20 (▶0) CLEAR ALL
COLOR BAR	ON/OFF ▶OFF、ON TONE ▶OFF、ON
PICTURE PROFILE	83 ページをご覧ください。

↔ (REC/OUT SET) (128ページ)

REC SET	FILE FORMAT XAVC QFHD ▶XAVC HD AVCHD REC FORMAT XAVC QFHD [60i] 選択時 2160/30p 100Mbps ▶2160/30p 60Mbps 2160/24p 100Mbps 2160/24p 60Mbps [50i] 選択時 2160/25p 100Mbps ▶2160/25p 60Mbps XAVC HD [60i] 選択時 1080/60p 50Mbps 1080/60p 35Mbps ▶1080/60i 50Mbps 1080/60i 35Mbps 1080/60i 25Mbps 1080/30p 50Mbps 1080/30p 35Mbps 1080/24p 50Mbps 1080/24p 35Mbps 720/60p 50Mbps [50i] 選択時 1080/50p 50Mbps 1080/50p 35Mbps ▶1080/50i 50Mbps 1080/50i 35Mbps 1080/50i 25Mbps 1080/25p 50Mbps 1080/25p 35Mbps 720/50p 50Mbps
---------	--

AVCHD

[60i] 選択時
1080/60p PS
▶1080/60i FX
1080/60i FH
1080/30p FX
1080/30p FH
1080/24p FX
1080/24p FH
720/60p FX
720/60p FH
720/60p HQ

[50i] 選択時
1080/50p PS
▶1080/50i FX
1080/50i FH
1080/25p FX
1080/25p FH
720/50p FX
720/50p FH
720/50p HQ

SIMUL/RELAY REC
▶OFF、
SIMULTANEOUS
REC、RELAY REC
REC BUTTON
SETTING
39 ページをご覧ください。
PROXY REC MODE
ON/OFF
▶OFF、ON
SIZE
▶1280 × 720、
640 × 360

VIDEO OUT	OUTPUT SELECT SDI、▶HDMI、 VIDEO SDI/HDMI [60i] 選択時 2160p/1080p/480i、 2160p/720p/480i、 2160p/1080i/480i 1080p/480i、 720p/480i、 ▶1080i/480i、 480p、480i [50i] 選択時 2160p/1080p/576i、 2160p/720p/576i、 2160p/1080i/576i 1080p/576i、 720p/576i、 ▶1080i/576i、 576p、576i 24p/30p OUTPUT*4 ▶24p/30p、 24PsF/30PsF、 60p(Pull Down) 25p OUTPUT*5 ▶25p、25PsF、 50p(Pull Down) DOWN CONVERT TYPE ▶SQUEEZE、 LETTER BOX(16:9)、 EDGE CROP HDMI TC OUTPUT ▶OFF、ON SDI/HDMI REC CONTROL ▶OFF、ON
-----------	--

(AUDIO SET) (130ページ)

VOLUME	
AVCHD AUDIO FORMAT	▶LINEAR PCM、 DOLBY DIGITAL
CH1 INPUT SELECT	▶INT MIC、INPUT1、 MI SHOE MIC
CH2 INPUT SELECT	▶INT MIC、INPUT1、 INPUT2、MI SHOE MIC
AUDIO LIMIT	▶OFF、ON
INT MIC SET	INT MIC SENS ▶NORMAL、HIGH INT MIC WIND ▶OFF、ON

XLR SET	XLR AGC LINK ▶SEPARATE、 LINKED INPUT1 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB) INPUT1 WIND ▶OFF、ON INPUT2 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB) INPUT2 WIND ▶OFF、ON
---------	--

(DISPLAY SET)

(133ページ)

HISTOGRAM	▶OFF、ON、ON [ZEBRA POINT]
ZEBRA	ON/OFF ▶OFF、ON LEVEL 70 ~ 100、100+ (▶70)
PEAKING	ON/OFF ▶OFF、ON COLOR ▶WHITE、RED、 YELLOW LEVEL HIGH、▶MIDDLE、 LOW
MARKER	ON/OFF ▶OFF、ON CENTER ▶ON、OFF ASPECT ▶OFF、4:3、13:9、 14:9、15:9、1.66:1、 1.85:1、2.35:1 SAFETY ZONE ▶OFF、80%、90% GUIDEFAME ▶OFF、ON
FOCUS MAG RATIO	×4.0、×8.0 ▶×4.0/×8.0
CAMERA DATA DISPLAY	OFF、▶ON
AUDIO LEVEL DISPLAY	▶ON、OFF
ZOOM DISPLAY	▶BAR、NUMBER
FOCUS DISPLAY	▶METER、FEET

SHUTTER DISPLAY	▶SECOND、DEGREE
DATA CODE	▶OFF、DATE/TIME、CAMERA DATA
GAMMA DISP ASSIST	ON/OFF ▶ON、OFF TYPE ▶AUTO、 S-LOG2→709(800%)、 S-LOG3→709(800%)
LCD BRIGHT	▶NORMAL、BRIGHT
VF COLOR TEMP.	
VF/LCD PANEL	▶LCD PANEL、AUTO
DISPLAY OUTPUT	▶LCD PANEL、ALL OUTPUT

00:00 (TC/UB SET) (137ページ)

TC/UB DISPLAY	▶TC、U-BIT
TC PRESET	PRESET RESET
UB PRESET	PRESET RESET
TC FORMAT*2	▶DF、NDF
TC RUN	▶REC RUN、FREE RUN
TC MAKE	▶PRESET、REGENERATE
UB TIME REC	▶OFF、ON

(NETWORK SET) (139ページ)

CTRL W/ SMARTPHONE	
STREAMING	PRESET SELECT ▶PRESET1、PRESET2、PRESET3 PRESET1/ PRESET2/ PRESET3 SIZE ▶640x360、1280x720 DESTINATION SET

FTP TRANSFER	FTP SERVER SELECT ▶FTP SERVER1、FTP SERVER2、FTP SERVER3 FTP SERVER1/FTP SERVER2/FTP SERVER3 DISPLAY NAME DESTINATION SET USER INFO SET FTP RESULT
WIRED LAN SET	IP ADDRESS SET
Wi-Fi SET	ACCESS POINT SET WPS EDIT DEVICE NAME SSID/PW RESET DISP MAC ADDRESS
AIRPLANE MODE	▶OFF、ON
ROOT CERTIFICATE	
NETWORK RESET	

(SYSTEM) (140ページ)

STATUS CHECK	
CAMERA PROFILE	MEMORY CARD A/ MEMORY CARD B LOAD SAVE DELETE
S&Q BUTTON SETTING	▶S&Q/SUPER SLOW、S&Q MOTION、SUPER SLOW MOTION
ASSIGN BUTTON	ASSIGN1、ASSIGN2、ASSIGN3、ASSIGN4、ASSIGN5、ASSIGN6
ASSIGN DIAL	----、▶IRIS、ND FILTER、ISO/GAIN、AE SHIFT、FOCUS
ASSIGN DIAL DIRECTION	▶NORMAL、OPPOSITE
CLOCK SET	
AREA SET	
SUMMERTIME	▶OFF、ON
LANGUAGE	
DATE REC	▶OFF、ON
BEEP	▶OFF、ON
REC LAMP[F]	▶ON、OFF
REC LAMP[R]	▶ON、OFF

HOLD SW SET	W/REC BUTTON ON、▶OFF W/GRIP REMOTE ▶ON、OFF
REMOTE CONTROL	▶ON、OFF
60i/50i SEL	
MEDIA FORMAT	MEMORY CARD A MEMORY CARD B
REPAIR IMAGE DB FILE	MEMORY CARD A MEMORY CARD B
USB CONNECT	
USB LUN SET	▶MULTI、SINGLE
OPERATION TIME	
VERSION DISPLAY	
INITIALIZE	



(EDIT)

PROTECT	
DIVIDE	
DELETE	

- *1 ピクチャープロフィールが[OFF]のときの設定範囲
- *2 2160/30p選択時
- *3 2160/24p選択時
- *4 [60i/50i SEL]で[60i]を選んでいるときのみ設定できる。
- *5 [60i/50i SEL]で[50i]を選んでいるときのみ設定できる。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- [EDIT]は、サムネイル画面や再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

📷 (CAMERA/PAINT)メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/📷 STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイヤルで、📷 (CAMERA/PAINT)を選択すると表示されます。

ISO/GAIN SEL (ISO/ゲイン切換)

ISO感度/ゲインの表示を切り換えます。

▶ ISO

ISO感度を表示する。

GAIN

ゲイン(dB)を表示する。

📌ご注意

- ISO感度とゲインは別々の値で個別に保存されます。
- [ISO/GAIN SEL]は、FULL AUTOボタンがOFF(消灯)のときのみ設定できます。

ISO SET (ISO設定)

ISO/GAIN L/M/HスイッチのISO値を設定するときを選びます。

お買い上げ時の設定:

[L]:ISO1000、[M]:ISO1600、

[H]:ISO3200

- ① SEL/SETダイヤルでCAMERA/PAINTメニュー → ISO SET → L/M/Hのいずれかを選ぶ。
- ② SEL/SETダイヤルでISO感度の設定値を選び、押して決定する。
ISO1000 ~ ISO32000の間で、1/3EV間隔で選択できます。数値が大きくなるほどISO感度が上がります。
- ③ SEL/SETダイヤルで[OK]を選ぶ。

設定値について

ピクチャープロファイルの[GAMMA]の設定によって設定できる範囲が異なります。

- STANDARD: ISO1000~ISO32000
- STILL: ISO800~ISO25600
- CINE1: ISO800~ISO25600
- CINE2: ISO640~ISO20000
- CINE3: ISO1000~ISO32000
- CINE4: ISO1000~ISO32000
- ITU709: ISO1000~ISO32000
- ITU709(800%): ISO3200~ISO102400
- S-LOG2: ISO3200~ISO102400
- S-LOG3: ISO3200~ISO102400

👁️ちょっと一言

- [ISO/GAIN SEL]で[ISO]を選んでいるときに設定できます。
- [GAIN SET]で設定した値とは独立して設定できます。

GAIN SET(ゲイン設定)

ISO/ゲインスイッチL/M/Hのゲイン値を設定するときに選びます。

お買い上げ時の設定:

[L]: 0dB, [M]: 9dB, [H]: 18dB

- ① SEL/SET ダイヤルで CAMERA/PAINT メニュー→GAIN SET→L/M/Hのいずれかを選ぶ。
- ② SEL/SET ダイヤルでゲインの設定値を選び、押し決定する。
0dB ~ 30dB の間で、3dB 間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/SET ダイヤルで[OK]を選ぶ。

👁️ちょっと一言

- [ISO/GAIN SEL]で[GAIN]を選んでいるときに設定できます。

- [ISO SET]で設定した値とは独立して設定できます。

AUTO ISO LIMIT(オートISOリミット)

ISO自動調整時の上限値を選びます。

お買い上げ時の設定:

▶OFF、ISO1000~ISO25600
(1/3EV単位)

設定値について

ピクチャープロファイルの[GAMMA]の設定によって設定できる範囲が異なります。

- STANDARD: ISO1000~ISO25600
- STILL: ISO800~ISO20000
- CINE1: ISO800~ISO20000
- CINE2: ISO640~ISO16000
- CINE3: ISO1000~ISO25600
- CINE4: ISO1000~ISO25600
- ITU709: ISO1000~ISO25600
- ITU709(800%): ISO3200~ISO80000
- S-LOG2: ISO3200~ISO80000
- S-LOG3: ISO3200~ISO80000

👁️ご注意

- ISO感度を手動調節していると効果はありません。

👁️ちょっと一言

- [ISO/GAIN SEL]で[ISO]を選んでいるときに設定できます。
- [AGC LIMIT]で設定した値とは独立して設定できます。

AGC LIMIT(AGCリミット)

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を選びます。

▶OFF、27dB～0dB(3dB単位)

ⓘご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

💡ちょっと一言

- [ISO/GAIN SEL]で[GAIN]を選んでいるときに設定できます。
- [AUTO ISO LIMIT]で設定した値とは独立して設定できます。

WB PRESET(WBプリセット)

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは52ページをご覧ください。

ⓘご注意

- ピクチャープロファイルのCOLOR MODEが以下のいずれかになっているときは選択できません。

S-GAMUT/xxxxK、S-GAMUT3.CINE/xxxxK、S-GAMUT3/xxxxK

上記カラーモードを選択しているときのWB色温度はxxxxKに一時固定されます。

WB OUTDOOR LEVEL(WB屋外レベル)

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]のときのオフセット量を設定します。

-7～▶0～+7

(青め～標準～赤め)

ⓘご注意

- ピクチャープロファイルのCOLOR MODEが以下のいずれかになっているときは選択できません。

S-GAMUT/xxxxK、S-GAMUT3.CINE/xxxxK、S-GAMUT3/xxxxK

上記カラーモードを選択しているときのWB色温度はxxxxKに一時固定されます。

WB TEMP SET(WB色温度設定)

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

2300K～▶6500K～15000K(100K単位)

ⓘご注意

- ピクチャープロファイルのCOLOR MODEが以下のいずれかになっているときは選択できません。

S-GAMUT/xxxxK、S-GAMUT3.CINE/xxxxK、S-GAMUT3/xxxxK

上記カラーモードを選択しているときのWB色温度はxxxxKに一時固定されます。

BLACK BALANCE(ブラックバランス)

53ページをご覧ください。

AE SHIFT(AEシフト)

■ ON/OFF

▶ OFF

AEシフト機能を使わない。

ON

AEシフト機能を使う。設定した数値が表示されます(例:-2.0EV)。

■ LEVEL

SEL/SETダイヤルで明るさを調節できます。

-2.0EV～▶0EV～+2.0EV(1/4EV単位)

(暗い～標準～明るい)

📌 ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ISO感度/ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

🗨️ ちょっ一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- ダイレクトメニューで操作できます。
- LEVELの調整をASSIGNダイヤルに割り当てることができます(64ページ)。

LENS COMPENSATION(レンズ補正)

レンズ補正機能を使うかどうかを設定します。

▶ AUTO

レンズ補正機能を使う。

OFF

レンズ補正機能を使わない。

ND FILTER

NDフィルターのプリセット値を設定します。

■ PRESET1

▶1/4、1/8、1/16、1/32、1/64、1/128

■ PRESET2

1/4、1/8、▶1/16、1/32、1/64、1/128

■ PRESET3

1/4、1/8、1/16、1/32、▶1/64、1/128

ND/IRIS DIAL DIRECTION (ND/IRISダイヤル方向)

ND/IRISスイッチの横のダイヤルの操作方向を選択します。

▶ NORMAL

上方向に回すと明るくなる。グリップのASSIGNダイヤルの場合は右方向に該当する。

OPPOSITE

下方向に回すと明るくなる。グリップのASSIGNダイヤルの場合は左方向に該当する。

CENTER SCAN(センタースキャン)

イメージセンサーの中央部分を切り出して撮影することができます。約2倍のテレシフトになります。

▶ OFF

センタースキャンを無効にする。

ON(C.SCAN)

センタースキャンを有効にする。

📌 ご注意

- 使用上の制約については、「記録時の機能制限について」(156ページ)をご覧ください。

🗨️ ちょっ一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

ZOOM SET(ズーム設定)

ズームレバー操作時の動作について設定します。

■ ZOOM TYPE

▶ OPTICAL ZOOM ONLY

光学ズームのみ使用する。

ON[CLEAR IMAGE ZOOM]

光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。

📌ご注意

- 全画素超解像ズーム中は、顔検出が無効になります。

💡ちょっと一言

- 全画素超解像ズーム(CLEAR IMAGE ZOOM)とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。

■ HANDLE ZOOM

ハンドルズームのタイプを設定します。

ZOOM SPEED TYPE

▶ VARIABLE

ズームレバーを軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームする。

FIXED

一定の速さでズームする。

OFF

ハンドルズームを使用しない。

ZOOM SPEED

1~(▶3)~8

■ ZOOM RING ROTATE

レンズのズームリングの操作方法を選択します。

▶ LEFT(W)/RIGHT(T)

本体から見てズームリングを時計方向に回すと、望遠側に動きます。

RIGHT(W)/LEFT(T)

本体から見てズームリングを反時計方向に回すと、望遠側に動きます。

📌ご注意

- ズーム操作方向切り換え機能対応レンズを装着したときのみ設定できます。非対応レンズは使用できません。

📷STEADYSHOT(📷手ブレ補正)

手ブレ補正対応レンズ装着時のみ、手ブレ軽減の設定をします。

▶ STANDARD(📷)

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

ACTIVE(📷)

強い手ブレ補正効果が得られる。

OFF(📷)

手ブレ補正機能を使わない。

三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

📌ご注意

- [ACTIVE]はアクティブ手ブレ補正対応レンズを使用して、撮影するときのみ選択できません。
- レンズ側に手ブレ補正切り換えスイッチが付いているものはレンズ側の設定が優先されます。ACTIVEに対応していないレンズ側に手ブレ補正切り換えスイッチがあるレンズ装着時はこのメニューは選択できません。以下のようになります。
レンズ側ON=STANDARD
レンズ側OFF=OFF

💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

SLOW & QUICK

56ページをご覧ください。

AUTO BACK LIGHT(自動逆光補正)

自動で逆光補正をします。

▶ OFF

逆光補正を行わない。

ON

自動で逆光補正を行う。

FACE DETECTION(顔認識)

44ページをご覧ください。

VIDEO LIGHT(ビデオライト)

マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定します。

▶ POWER LINK

本機の電源の入切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。

REC LINK

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。

REC LINK + STBY

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

AUTO

自動で点灯する。

AF MICRO ADJUSTMENT (AF微調整)

マウントアダプターLA-EA2/LA-EA4(別売)を使用してAマウントレンズを装着時、レンズごとにピント合わせの位置を調整して登録できます。

■ ON/OFF

▶ OFF

AF微調整を無効にする。

ON

AF微調整を有効にする。

■ AMOUNT

装着しているレンズの調整値を設定します。値を大きくするとピントが合う位置がカメラから遠ざかり、値を小さくするとピントが合う範囲がカメラに近づきます。

-20~▶0~+20

■ CLEAR ALL

すべてのレンズに対する調整値を取り消します。

🗨️ご注意

- [AF MICRO ADJUSTMENT]が[ON]に設定されていないと調整値は登録できません。
- 調整は実際に撮影する環境で行うことをおすすめします。
- すでに登録されたレンズを装着するときは、登録された調整値が表示されます。未登録レンズの場合は[±0]が表示されます。
- レンズの登録が30種類になると、[AMOUNT]がグレー表示されて選択できなくなります。新たに登録するには、登録を削除するレンズを装着して調整値を[±0]にするか、[CLEAR ALL]ですべての登録された調整値を削除してください。
- 他社のレンズをお使いの際にAF微調整を行うと、ソニー、ミノルタ、コニカミノルタ製のレンズでの調整値に影響が出る場合があります。他社のレンズではAF微調整を設定しないでください。

(CAMERA/PAINT)メニュー (つづき)

- ソニー、ミノルタ、コニカミノルタで同じ仕様
のレンズをお使いの場合、個々にAF微調整の
設定はできません。

COLOR BAR(カラーバー)

本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。

📢注意

- 使用上の制約については、「記録時の機能制限
について」(156ページ)をご覧ください。
- フォーマットを切り換えたり、MENUによる
機能を実行したり、電源を切ったりすると、自
動的に[OFF]に戻ります。
- [COLOR BAR]の設定は、録画中、拡大フォー
カス中では変更することができません。

■ TONE

▶ OFF

音声トーン信号を出力しない。

ON

音声トーン信号(1kHz:フルビット
-20dB([60i]選択時)、-18dB([50i]選
択時))を出力する。
[ON/OFF]も[ON]に設定してください。

🗨️ちょっと一言

- [TONE]を[OFF]にしてカラーバーを記録し
た場合、マイクからの音声が記録されます。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てるこ
とができます(64ページ)。

PICTURE PROFILE

83ページをご覧ください。

↔️ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定(REC SET/
VIDEO OUT)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイヤ
ルで、↔️ (REC/OUT SET)を選択すると
表示されます。

REC SET(録画設定)

■ FILE FORMAT

45ページをご覧ください。

■ REC FORMAT

45ページをご覧ください。

■ SIMUL/RELAY REC

39ページをご覧ください。

■ REC BUTTON SETTING

39ページをご覧ください。

■ PROXY REC MODE

46ページをご覧ください。

VIDEO OUT(ビデオ出力)

■ OUTPUT SELECT

映像の出力先を選びます。

SDI

▶ HDMI

VIDEO

■ SDI/HDMI

SDI/HDMI端子からの出力信号の解像度を選びます。

[60i] 選択時

2160p/1080p/480i

2160p/720p/480i

2160p/1080i/480i

1080p/480i

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

[50i] 選択時

2160p/1080p/576i

2160p/720p/576i

2160p/1080i/576i

1080p/576i

720p/576i

▶ 1080i/576i

576p

576i

💡 ちよつと一言

- 接続するケーブルによる出力信号の解像度は101ページをご覧ください。

■ 24p/30p OUTPUT ([60i] 選択時)

[REC FORMAT] で、フレームレートの値が24でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んでいるときの出力フォーマットを設定します。

▶ 24p/30p

24PsF/30PsF

60p(Pull Down)

📌 ご注意

- SDI/HDMIが1080p/480i時のみ有効です。

■ 25p OUTPUT([50i] 選択時)

[REC FORMAT] で、フレームレートの値が25でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んでいるときの出力フォーマットを設定します。

▶ 25p

25PsF

50p(Pull Down)

📌 ご注意

- SDI/HDMIが1080p/576i時のみ有効です。

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。

480p/480i、576p/576iで4:3の映像を出力する場合の形式を選択します。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

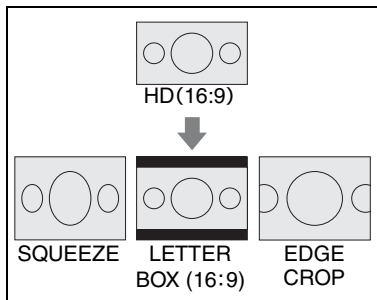
LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮して上下に黒帯を挿入することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

(REC/OUT SET)メニュー (つづき)



■ HDMI TC OUTPUT

HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかの設定ができます。

▶ OFF

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せない。

ON

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せる。

画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができる。

■ SDI/HDMI REC CONTROL

本機と、この機能に対応している外部レコーダーをつなぐと、本機の操作で外部レコーダーへ録画の開始/停止を行えます。

▶ OFF

本機の操作で録画を行わない。

ON

本機の操作で録画を行う。

♪ (AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定 (AVCHD AUDIO FORMAT/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイヤルで、♪ (AUDIO SET)を選択すると表示されます。

VOLUME

SEL/SETダイヤルを回して音量を調整します。

🗣️ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます (64ページ)。

AVCHD AUDIO FORMAT (AVCHD録音フォーマット)

AVCHD時の記録音声フォーマットを切り換えます。

▶ LINEAR PCM (♪LPCM)

リニアPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL (♪Dolby D)

ドルビーデジタル方式で記録する。

CH1 INPUT SELECT (CH1入力選択)

CH1の音源を設定します。

▶ INT MIC

内蔵マイク

INPUT1

INPUT 1端子への入力

MI SHOE MIC

マルチインターフェースシューに取り付けられたマイク

CH2 INPUT SELECT(CH2入力選択)

CH2の音源を設定します。

▶ INT MIC

内蔵マイク

INPUT1

INPUT 1端子への入力

INPUT2

INPUT 2端子への入力

MI SHOE MIC

マルチインターフェースシューに取り付けられたマイク

AUDIO LIMIT(音声リミッター)

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をします。

▶ OFF

音割れ防止機能が働かない。

ON

音割れ防止機能が働く。

📌ご注意

- AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチが「MAN」のときのみ有効です。

INT MIC SET(INT MIC設定)

■ INT MIC SENS

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶ NORMAL

業務用機器で一般的に使われる感度。

HIGH(SENS-HI)

民生用機器で一般的に使われる感度。

ステータスチェック画面にSENS-HIが表示されます。

■ INT MIC WIND

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

▶ OFF

風音低減を行わない。

ON(🔊)

風音低減を行う。

ステータスチェック画面に🔊が表示されます。

📌ご注意

- CH1、CH2ともに内蔵マイクを選択した場合(CH1:INT MIC、CH2:INT MIC)、記録中およびスタンバイ中にヘッドホンから出力される音は、実際に記録される音よりもステレオ感が弱くなります。

XLR SET(XLR設定)

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のCH1/CH2のAGC(オートゲインコントロール)の連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を別々の音声として記録する)。

LINKED(🔊)

AGC連動にする(チャンネル1/2をステレオのように1組の音声として記録する)。

ステータスチェック画面にA🔊が表示されます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1/INPUT2スイッチが両方とも揃って「LINE/MIC/MIC+48V」のいずれか1つを選択したときに有効です(62ページ)。

(AUDIO SET) メニュー(つづき)

■ INPUT1 TRIM

INPUT 1端子から録音するときの入力信号のレベルを調節します。

-18dB、-12dB、-6dB、▶0dB、+6dB、+12dB

🔍ご注意

- INPUT 1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT 1端子の風音低減をしない。

ON(🔊)

INPUT 1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面に🔊が表示されます。

🔍ご注意

- INPUT 1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT 2にも、それぞれINPUT 1と同じ機能があります。

💡ちょっと一言

- 本機は、録音レベルを「AUTO」設定時に、INPUT TRIMを[0dB]に設定すると、-48dBu入力時に音量を基準録音レベルで記録するように設計されています。
たとえば、感度-30dB(0dB=1V/Pa、1kHz)のマイクを接続して、1kHz、74dB SPLの音圧を入力するとき(マイクの出力は-48dBuとなる)は、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
また、感度-36dBのマイクを使用する場合、INPUT TRIMを[+6dB]に設定すると、感度-30dBマイクとの感度の差異を吸収することができます。

- INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ理由として、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめ[XLR SET]の効果をテストでご使用ください。

■ (DISPLAY SET)

メニュー

画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイアログで、■ (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

HISTOGRAM(ヒストグラム)

ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

ON

ヒストグラムを表示する。

100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。



ヒストグラム

ON[ZEBRA POINT]

ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。

⚠️ ご注意

- スーパースローモーション設定時は表示できません。

💡 ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

ZEBRA(ゼブラ)

明るさ調節をするときの目安にするると便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

ゼブラを表示しない。

ON(■とレベル)

■ LEVEL

輝度レベルを選べます。

▶70~100または100+

⚠️ ご注意

- ゼブラはメモリーカードに記録されません。

💡 ちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

PEAKING(ピーキング)

■ ON/OFF

▶ OFF

ピーキングを表示しない。

ON(PEAKING)

画面上に画像の輪郭が強調して表示される。

ピントが合わせやすくなります。

■ COLOR

ピーキングの色を選べます。

▶WHITE、RED、YELLOW

■ LEVEL

ピーキング感度を選べます。

HIGH、▶MIDDLE、LOW

(DISPLAY SET)メニュー(つづき)

📌ご注意

- 輪郭強調された画像はメモリーカードに記録されません。

💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス(43ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

MARKER(マーカー)

■ ON/OFF

▶ OFF

マーカーを表示しない。

ON

マーカーを表示する。

■ CENTER

▶ OFF

センターマーカーを表示しない。

ON

画面の中心にマーカーを表示する。



■ ASPECT

▶ OFF

アスペクト比を表示しない。

4:3、13:9、14:9、15:9、1.66:1、
1.85:1、2.35:1

アスペクト比位置にマーカーを表示する。



■ SAFETY ZONE

▶ OFF

セーフティゾーンを表示しない。

80%、90%

80%か90%のどちらかを選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲にマーカーが表示される。



■ GUIDEFAME

▶ OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

ガイドフレームを表示する。
被写体が水平/垂直になっているかを確認できます。



📌ご注意

- マーカーはメモリーカードに記録されません。
- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしてもタイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。
- [FOCUS MAGNIFIER]中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、外部に出力することはできません。

💡ちょっと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

FOCUS MAG RATIO(フォーカス拡大倍率)

拡大フォーカスの倍率を設定できます。

×4.0

×8.0

▶ ×4.0/×8.0

FOCUS MAG ボタンを押すたびに[×4.0]→[×8.0]→OFFの順に切り換わります。

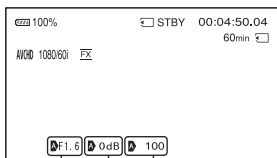
CAMERA DATA DISPLAY(カメラデータ表示)

OFF

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードの値を表示しない。

▶ ON

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示する。



アイリス値

シャッタースピード値

ISO感度/ゲイン

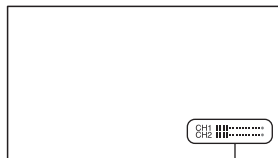
💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- カメラデータ表示の設定にかかわらず、手動設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示される項目とは異なります(98ページ)。

AUDIO LEVEL DISPLAY(音声レベル表示)

▶ ON

オーディオレベルメーターを表示する。



オーディオレベルメーター

OFF

オーディオレベルメーターを表示しない。

💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

ZOOM DISPLAY(ズーム表示)

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

FOCUS DISPLAY(フォーカス表示)

▶ METER

フォーカス距離をメートルで表示する。

FEET

フォーカス距離をフィートで表示する。

SHUTTER DISPLAY(シャッター表示)

▶ SECOND

シャッター表示を秒で表示する。

DEGREE

シャッター表示を角度で表示する。

本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。

[60i]選択時

- [REC FORMAT]でフレームレートの値が60の設定値を選択時は、1/60で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が30の設定値を選択時は、1/30で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が24の設定値を選択時は、1/24で360°

[50i]選択時

- [REC FORMAT]でフレームレートの値が50の設定値を選択時は、1/50で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が25の設定値を選択時は、1/25で360°

[REC FORMAT]の設定について詳しくは、45ページをご覧ください。

📌ご注意

- DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定にかかわらず秒表示となります。

💡ちょっと一言

- 360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍(360° x2など)で表示します。

DATA CODE(日付/データ表示)

再生時に表示する情報を選びます。

▶ OFF

表示しない。

DATE/TIME

日付時刻を表示する。

CAMERA DATA

カメラデータを表示する。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。
- 再生中のみ表示されます。

GAMMA DISP ASSIST(ガンマ表示アシスト)

91ページをご覧ください。

LCD BRIGHT(パネル明るさ)

液晶モニターの明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

▶ NORMAL

BRIGHT

📌ご注意

- AC接続時は選択することができません。バッテリー接続時のみ選択が可能です。

VF COLOR TEMP.(ファインダー色温度)

ファインダーの色温度を変更できます。色温度が低いとファインダーは赤みを帯び、高いと青みを帯びます。

VF/LCD PANEL(ファインダー/パネル)

ファインダーと液晶モニターのどちらにカメラ映像を表示するかを選択します。

▶ LCD PANEL

常に液晶モニターに表示される。

AUTO

ファインダーを覗くと、自動的にファインダーに表示される。それ以外は液晶モニターに表示される。

詳しくは31ページをご覧ください。

DISPLAY OUTPUT(画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

液晶モニターに出力する。

ALL OUTPUT

SDI OUT、HDMI OUT、マルチ/マイクロUSB各端子と液晶モニターに出力する。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。

🔔 ご注意

- [MARKER]が[ON]で、マーカが画面に表示されているときは、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC/UB DISPLAY(TC/UB 表示)

表示をタイムコードまたはユーザービットに切り換えます。

▶ TC

タイムコードを表示する。

U-BIT

ユーザービットを表示する。

🔔 ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

TC PRESET

92ページをご覧ください。

UB PRESET

92ページをご覧ください。

TC FORMAT

[60i/50i SEL]が[60i]のときにタイムコードの記録方式を選びます。[50i]のときは、[NDF]に固定されます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

(TC/UB SET) メニュー(つづき)

📌ご注意

- [60i/50i SEL]が[60i]のときでも、1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

🗨️ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにずれが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

📌ご注意

- [REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - メモリーカードに同時記録したとき
 - メモリーカードを取り外したとき
- スロー&クイックモーション撮影時およびスーパースローモーション撮影時は、自動で[REC RUN]に固定されます。

TC MAKE

▶ PRESET

新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。

REGENERATE

メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットとして記録する。

📌ご注意

- [ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。

📶 (NETWORK SET)

メニュー

Wi-Fi機能に関する設定(CTRL W/
SMARTPHONEなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイア
ルで、📶 (NETWORK SET)を選択する
と表示されます。

CTRL W/SMARTPHONE (スマートフォン操作)

68ページをご覧ください。

STREAMING(ストリーミン グ)

76ページをご覧ください。

FTP TRANSFER(FTP転送)

78ページをご覧ください。

WIRED LAN SET(有線LAN設 定)

76ページをご覧ください。

Wi-Fi SET(Wi-Fi設定)

71ページをご覧ください。

AIRPLANE MODE(飛行機 モード)

75ページをご覧ください。

ROOT CERTIFICATE(ルート 証明書)

81ページをご覧ください。

NETWORK RESET(ネット ワークリセット)


82ページをご覧ください。

目(SYSTEM) メニュー

撮影時の設定や各種基本設定(AREA SET/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は116ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/SETダイヤルで、 (SYSTEM)を選択すると表示されます。

STATUS CHECK

99ページをご覧ください。

CAMERA PROFILE(カメラプロフィール)

カメラの設定内容をカメラプロフィールとしてメモリーカードに99個まで保存できます。保存した設定を使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

また、本機を複数台同じ設定で使いたい場合に、設定値をメモリーカードに保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

📌ご注意

- 60iと50iのカメラプロフィールには互換性はありません。
- パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。
- メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロフィールも削除されます。

💡ちょっと一言

- カメラプロフィールで保存される項目は、メニュー、ピクチャープロフィール、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロフィールに保存します。

■ LOAD

カメラプロフィールを読み込んで、設定を実行します。

- ① SEL/SETダイヤルで読み込むカメラプロフィールを選ぶ。
- ② 確認画面で[YES]を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロフィールが反映されます。

📌ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロフィールやパソコンなどで編集したカメラプロフィールは読み込みません。

■ SAVE

カメラプロフィールを保存します。

- ① SEL/SETダイヤルで[NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ② 確認画面で[YES]を選択する。
カメラプロフィールが保存されます。

💡ちょっと一言

- [NEW FILE]を選んだ場合、プロファイル名は[01] (初めて保存する場合)になります。
- 既存のカメラプロフィールを保存先に選んだ場合は、上書きされます。
- 保存した設定はパソコンで編集できません。

■ DELETE

保存したカメラプロフィールを削除します。

- ① SEL/SETダイヤルで削除するカメラプロフィールを選ぶ。
- ② 確認画面で[YES]を選択する。

S&Q BUTTON SETTING (S&Qボタン設定)

S&Qボタンに割り当てる機能を設定できます。

▶ S&Q/SUPER SLOW

S&Qボタンを押すたびに、[S&Q MOTION] → [SUPER SLOW MOTION] → OFFの順に切り換わりません。

S&Q MOTION

スロー&クイックモーションが設定され
ます。

SUPER SLOW MOTION

スーパースローモーションが設定されま
す。

ⓘ ご注意

- FULL AUTOボタンがON(点灯)のとき、ス
ロー&クイックモーションおよびスーパース
ローモーションは実行できません。

ASSIGN BUTTON(ASSIGN ボタン登録)

64ページをご覧ください。

ASSIGN DIAL(アサインダイ ヤル登録)

64ページをご覧ください。

ASSIGN DIAL DIRECTION (アサインダイヤル方向)

ASSIGNダイヤルの方向を設定できま
す。

▶ NORMAL

通常方向。

OPPOSITE

通常と逆方向。

CLOCK SET(日時あわせ)

30ページをご覧ください。

AREA SET(エリア設定)

時計を止めることなく時差補正ができま
す。海外で使用するとき現地時刻に合わ
せられます。

SUMMERTIME(サマータイ ム)

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時
間を有効に使うために時計を標準時間よ
り進める制度で、欧米諸国では広く採用さ
れています。[SUMMERTIME]を[ON]
にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせ
メッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせ
メッセージを英語で表示する。

DATE REC(日付記録)

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録す
る。

💡 ちよつと一言

- スキャン方式がインターレースのときのみ設
定できます。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻
の文字も信号の影響を受けませんが、録画される
文字には影響ありません。

BEEP(操作音)

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

操作音を出す。

REC LAMP [F] (録画ランプ [前])

▶ ON

本体前面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体前面の録画ランプが点灯しない。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

REC LAMP [R] (録画ランプ [後])

▶ ON

本体後面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体後面の録画ランプが点灯しない。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(64ページ)。

HOLD SW SET(HOLDスイッチ設定)

HOLDスイッチを入にしたときに、ホールドの対象となる機能を設定します。

■ W/REC BUTTON

START/STOPボタンをホールドの対象にするかどうかを設定する。

ON

対象にする。

▶ OFF

対象にしない。

■ W/GRIP REMOTE

グリップリモコンおよびLANCリモコンによる操作をホールドの対象にするかどうかを設定する。

▶ ON

対象にする。

OFF

対象にしない。

REMOTE CONTROL(リモコン)

▶ ON

付属のワイヤレスリモコン(9ページ)を使う。

OFF

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンを使わない。

60i/50i SEL(60i/50i切換)

記録するフレームレートにより選択してください。

▶ 60i

24p、30p、60i、60pで記録する場合

50i

25p、50i、50pで記録する場合

⚠ご注意

- 60i(50i)でフォーマットや記録を行ったメモリーカードは、50i(60i)では記録・再生はできません。60i/50i切り換え後、[A movie with a different video signal format from this device has been recorded. Movie recording disabled.]というお知らせメッセージが表示された場合は、別のメモリーカードをお使いになるか、[MEDIA FORMAT]をしてください。

MEDIA FORMAT(メディア初期化)

113ページをご覧ください。

REPAIR IMAGE DB FILE(管理ファイル修復)

115ページをご覧ください。

USB CONNECT(USB接続)

USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使います。

USB LUN SET(USB LUN設定)

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

▶ MULTI

通常はMULTIのまま使用する。

SINGLE

どうしても接続できない場合のみ、こちらにする。

OPERATION TIME(通電時間)

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

VERSION DISPLAY(バージョン表示)

お手持ちのカメラとレンズのバージョンを表示します。本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。

⚠ご注意

- アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

INITIALIZE(設定リセット)

日時を含めすべての設定を解除します。

⚠ご注意

- ピクチャープロファイルで設定した内容は解除されません。

困ったときは

故障かな?と思ったら


困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 144～150ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③ MENU ボタンを押し、 (SYSTEM)メニュー → INITIALIZE を選ぶ。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…144ページ
- メモリーカードについて…145ページ
- 撮影について…146ページ
- 再生について…148ページ
- テレビ接続について…149ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…149ページ
- パソコン接続について…150ページ
- NDフィルターダイヤルについて…150ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(18ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(19ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- HOLDスイッチを確認する。オレンジ色の部分が見えているときはホールドの状態なので、必要に応じてホールドを解除する。

本体が温くなる。

- ご使用中に本体が温かくなりますが故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを外したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調節ダイヤルを画像がはっきり見えるように動かす(32ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(142ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(9ページ)。

リモコン操作中に他のビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- 対応している機器と対応していない機器があります。確認してください。
- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を差したままの状態 で 接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合があります。本体側のREMOTE端子を抜いてください。

メモリーカードについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(113ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(161ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

メモリーカードのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(111ページ)。

メモリーカードの修復を促す画面が出た。

- 前回記録時に、メモリーカードへの記録に異常があった可能性があります。
- [OK]を押すことで、可能な範囲で修復が行われます。
- [キャンセル]を押すと、修復は行われません。

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(97ページ)。
- START/STOPボタンが「HOLD」の位置になっている(4ページ)。
- メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する(113ページ)。または不要な画像を削除する(112ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(154ページ)。不要な画像を削除する(112ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

撮影を止めてもメモリーカードアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(154ページ)。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- ON/STANDBYスイッチがI(ON)のまま電源を外した。バッテリーやACアダプターを取り外すときは、ON/STANDBYスイッチをO(STANDBY)にして、メモリーカードアクセスランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

録画ボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、録画ボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調整にする(42ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手でピントを合わせる(41ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	[REC FORMAT]が[XAVC QFHD]のとき

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- FULL AUTOボタンを押して、フルオートモードをオフにする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(49ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

故障かな？と思ったら(つづき)

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(49ページ)。
-

画面が上下分割されたように見える。

- 連続したフラッシュ光を当てた状態の被写体を撮影すると、画面の上下が分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。
 - ソフトウェア「Catalyst Browse」で修正可能な場合もありますので、お試しください。
-

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(49ページ)。
-

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]を「-」側に調節する(90ページ)。
-

タイムコードがつかない。

- 録画フォーマットの設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。
-

再生について

「メモリーカードについて」(145ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- サムネイル画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する(95ページ)。
 - パソコンでフォルダーやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります。故障ではありません。
 - 他機で撮影した画像は、再生できなかつたり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
 - サムネイル画面を表示して、SEL/SETダイヤルで再生したいサムネイルを選択して、ダイヤルを押す(96ページ)。
-

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(161ページ)。
- フォルダー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(97ページ)。
- スロー&クイックモーションやスーパースローモーションで記録した動画には、音声が記録されません。

[――]が表示される。

- [COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。または上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。
⇄ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(129ページ)。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- [DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(137ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェア「Catalyst Browse」のダウンロードが必要です。

NDフィルターダイヤルについて

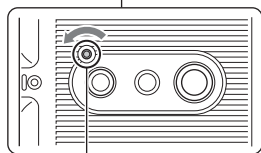
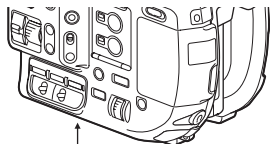
NDフィルターが動かない。

- 以下の作業により、手動で「CLEAR」の位置に移動させることができます。

- ① 本機の電源を切る。
- ② 底面の丸いフタを外す。
- ③ ドライバーを穴に差し込んで左に回す。
左に回すことで、NDフィルターがCLEAR側に動きます。CLEARの位置になるまで回し続けてください。
φ2.4以下のマイナスドライバーを使用してください。ドライバー挿入部の深さは約1.5 cmです。
- ④ PRESET/VARIABLEスイッチをPRESETにして、ND FILTER ダイヤルを「CLEAR」の位置にする。

④で注意

- 上記の作業は、通常の動作時には行わないでください。NDフィルターが動かなくなった場合のみに行ってください。通常の動作時に行くと、NDユニットが故障するおそれがあります。
- 上記の作業を行ったあと、サービスセンターで本機を修理してください。
- 上記の作業を行ってもエラーメッセージが出たままの場合がありますが、撮影は可能です。



ドライバー挿入部
(フタを外した状態)

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターに次のように表示されます。以下の処置を2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 144ページの②～④の手順をお試しください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

⚠ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

📷A 📷B (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、35ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(35ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(112ページ)、画像を保存(バックアップ)してから、メモリーカードを初期化する(113ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(115ページ)。

📷A 📷B (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(113ページ)。

📷A 📷B (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(35ページ)。

🔒A 🔒B 🔄 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

速い点滅

- 管理ファイルが壊れている(115ページ)。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(142ページ)。


お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

エラーメッセージ


FTP転送時やストリーミング配信接続時にトラブルが発生した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示に合わせて対処を試みてください。

No registered access point.

アクセスポイントが登録されていません。 (NETWORK SET)メニューの[ACCESS POINT SET]からアクセスポイントを登録してください。

Cannot find connectable access point.

Set the access point setting.

アクセスポイントを発見できません。 (NETWORK SET)メニューの[ACCESS POINT SET]からアクセスポイントの設定を確認してください。

Connection to the access point failed.

Please input your password again.

アクセスポイントに接続できません。アクセスポイントのパスワードを入力し直してください。

Connection with an access point disconnected.



Check the connection condition.

アクセスポイントへの接続が切断されました。接続状況を確認してください。

No response from the access point.

アクセスポイントが反応していません。アクセスポイントとの接続を確認してください。

Failed to acquire an IP address. Change the IP address setting.

IPアドレスを取得できません。無線LANでネットワークに接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの[ACCESS POINT SET]からIPアドレスを手動で設定してください。有線LANで接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの[WIRED LAN SET]からIPアドレスを手動で設定してください。

Network error occurred.

Wi-Fi通信に障害が発生しています。

Check the LAN cable connection.

ネットワークに接続できません。LANケーブルの接続を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.

Check the FTP server settings.

登録したFTPサーバーの設定を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.

FTPサーバーが見つからないなどの理由で、FTPサーバーへの接続に失敗しました。

Could not verify the certificate.

FTPサーバーの証明書が正しくありません。

Connection to the FTP server disconnected.

FTPサーバーへの接続が切断されました。

Cannot upload to the FTP server.

FTPサーバーへの接続は成功しましたが、ファイルを転送できませんでした。転送先のディレクトリー設定または、FTPサーバー側の設定を確認してください。

Unable to access the media.

メモリーカードを読み込めません。メモリーカードが破損している可能性があります。

記録時間について

撮影可能時間の目安

(単位:分)

XAVC QFHD画質

4K(QFHD)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	100 (100)	65 (65)

4K(QFHD) + PROXY (9M)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	85 (85)	55 (55)

XAVC HD画質

XAVC	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	120 (120)	170 (170)	220 (220)	120 (120)

XAVC + PROXY (9M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	100 (100)	135 (135)	160 (160)	100 (100)

XAVC + PROXY (3M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	110 (110)	155 (155)	195 (195)	110 (110)

AVCHD

- [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が [LINEAR PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	290 (290)
64GB	290 (290)	340 (340)	450 (450)	590 (590)

- [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が [DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)

- ソニー製メモリーカード使用時。
- ()内は最低録画時間です。

📌ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や被写体の状態、[REC SET] (128ページ)によっても変わります。

🗨️ちょっと一言

- 撮影可能シーン数は、XAVC HD/QFHD で最大600個、AVCHDで最大3999個です。
- 連続撮影時間は、XAVC HD/QFHDで約6時間、AVCHDで約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなりま

- 各記録方式のビットレート(動画+音声など)、画素数は以下のとおりです。

- XAVC QFHD画質

- 100Mbps 3840×2160画素

- 60Mbps 3840×2160画素

- XAVC HD画質

- 50Mbps 1920×1080画素

- 35Mbps 1920×1080画素

- 25Mbps 1920×1080画素

- 50Mbps 1280×720画素

- AVCHD画質

- PS:最大28Mbps 1920×1080画素

- FX:最大24Mbps 1920×1080画素、

- 1280×720画素

- FH:約17Mbps(平均) 1920×1080画素、

- 1280×720画素

- HQ:約9Mbps(平均) 1440×1080画素、

- 1280×720画素

記録時の機能制限について

録画フォーマットごとの制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	XAVC QFHD	XAVC HD	AVCHD
顔認識 (FACE DETECTION)	×	○	○
カラーバー (COLOR BAR)	×	○ (プロキシ記録が OFFのときのみ)	○ (プロキシ記録が OFFのときのみ)
センタースキャン (CENTER SCAN)	×	○	○
スーパースローモーション (SUPER SLOW MOTION)	×	○	○
スロー&クイックモーション(S&Q MOTION)	○	○	○
ストリーミング (STREAMING)	○ (60Mbpsのとき)	○	○
日付記録(DATE REC)	×	○ (インタレース記録時)	○ (インタレース記録時)
同時記録 (SIMULTANEOUS REC)	○	○	○
リレー記録(RELAY REC)	○	○	○
プロキシ記録 (PROXY REC MODE)	○	○	×
同時記録+プロキシ記録 (60Mbpsのみ)	○	○	×
リレー記録+プロキシ記録 (60Mbpsのみ)	○	○	×

スロー&クイックモーションおよびスーパースローモーション設定時の制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	スロー&クイックモーション	スーパースローモーション
顔認識 (FACE DETECTION)	×	×
カラーバー(COLOR BAR)	×	×
センタースキャン (CENTER SCAN)	○	×
ストリーミング (STREAMING)	×	×
日付記録(DATE REC)	×	×
同時記録/リレー記録 (SIMULTANEOUS REC/ RELAY REC)	×	×
プロキシ記録 (PROXY REC MODE)	×	×
Wi-Fiリモコン	×	×
フルオートでの撮影	×	×
ヒストグラム表示 (HISTOGRAM)	○	×
ピーキング表示(PEAKING)	○	○
ゼブラ表示(ZEBRA)	○	○
ホワイトバランス調整 (WB SET)	○	×
拡大フォーカス (FOCUS MAGNIFIER)	○	○
クリアイメージズーム	○	×

プロキシー記録対応フォーマット

📌 ご注意

- 以下の3つを同時に選択した場合は、プロキシー記録できません。
 - 記録モード: 4K (XAVC QFHD)
 - 録画フォーマット[ビットレート]: 100Mbps
 - 同時記録/リレー記録: ON

オリジナルファイル		プロキシーファイル					
画サイズ		1,280×720			640×360		
フレームレート (fps)		60(50)p	30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p
ビットレート (Mbps)		9	9	9	3	3	3
3,840× 2,160	30(25)p	100		○		○	
		60		○		○	
	24p	100			○		○
		60			○		○
1,920× 1,080	60(50)p	50	○			○	
		35	○			○	
	60(50)i	50		○			○
		35		○			○
		25		○			○
	30(25)p	50		○			○
		35		○			○
	24p	50			○		○
		35			○		○
1,280× 720	60(50)p	50	○			○	

ストリーミング対応フォーマット

オリジナルファイル(XAVC)			ストリーミングデータ				
画サイズ			1,280×720		640×360		
	フレームレート(fps)		30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p
	ビットレート (Mbps)		3	3	2	1	1
3,840×2,160	30(25)p	60	○			○	
	24p	60		○			○
1,920×1,080	60(50)p	50			○		
		35			○		
	60(50)i	50	○				○
		35	○				○
	30(25)p	50	○				○
		35	○				○
	24p	50		○			○
		35		○			○
1,280×720	60(50)p	50			○		

オリジナルファイル(AVCHD)			ストリーミングデータ				
画サイズ			1,280×720		640×360		
	フレームレート(fps)		30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p
	ビットレート (Mbps)		3	3	2	1	1
1,920×1,080	60(50)p	PS					
	60(50)i	FX	○			○	
		FH	○			○	
	30(25)p	FX	○			○	
		FH	○			○	
	24p	FX		○			○
		FH		○			○
	1,280×720	60(50)p	FX				
FH							
HQ							

海外で使う


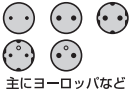

電源について

本機は、海外でも使えます。

付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねのうえ、ご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見るとは

本機で撮影した動画をテレビで見るとは、あらかじめ[60i/50i SEL]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。[60i]、[50i]それぞれの設定で見られる国と地域は下記のとおりです。

[60i/50i SEL]を[60i]に設定すると見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

[60i/50i SEL]を[50i]に設定すると見られる国と地域

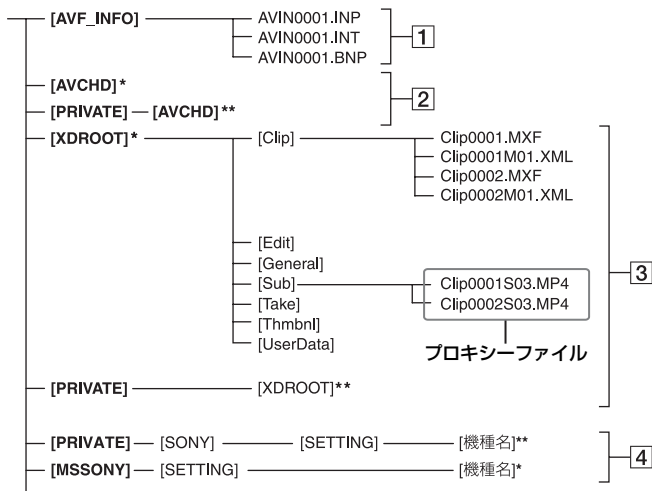
アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クオアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、フランス、フランス領ギアナ、ブラジル、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（141ページ）。

メモリーカードのファイル/フォルダー構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* "メモリースティックPROデュオ"

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 AVCHD 動画管理情報フォルダー

AVCHDの動画用記録データが保存されます。パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 XAVC HD/4K(QFHD)動画管理情報フォルダー

XAVC HD/4K(QFHD)の動画用記録データが保存されます。パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。

4 カメラプロファイル保存フォルダー

カメラプロファイルで保存したファイルが保存されます。

販売される国や地域によりフォルダー名称が異なります。

フォルダー名称が異なる場合はデータの互換性はありません。(140ページ参照)

SDカードの場合：

PRIVATE/SONY/SETTING/機種名

メモリースティックの場合：

MSSONY/SETTING/機種名

使用上のご注意とお手入れ

XAVC規格について

本機での記録・再生について

本機ではXAVC規格に基づき、4K (QFHD)とHD高画質記録ができます。圧縮形式はLong GOP形式です。映像*: MPEG-4 AVC/H.264

[60i選択時]

3840×2160/30p、3840×2160/24p、
1920×1080/60p、1920×1080/60i、
1920×1080/30p、1920×1080/24p、
1280×720/60p

[50i選択時]

3840×2160/25p、1920×1080/50p、
1920×1080/50i、1920×1080/25p、
1280×720/50p
音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のXAVC規格で記録されたデータの再生には対応していません。

AVCHD規格について

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

映像*: MPEG-4 AVC/H.264

[60i] 選択時

1920×1080/60p、1920×1080/60i、
1920×1080/24p、1280×720/60p、
1440×1080/60i

[50i] 選択時

1920×1080/50p、1920×1080/50i、
1280×720/50p、1440×1080/50i
音声: ドルビーデジタル 2ch、LPCM 2ch
記録メディア: メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

メモリーカードについて

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中やメモリーカードにデータを書き込み中(メモリーカードアクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

画像の互換性について

- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、113ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティックPRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティックPRO- HGデュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

バッテリーについて

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリーを使う。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とと思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニターやファインダー、レンズおよび本体内部を損傷します。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままでするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

有機ELパネルの表示について

一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないまま**2か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、ON/STANDBYスイッチをⓁ(STANDBY)にして24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や「DELETE」では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

一般

電源電圧	DC 12.0 V(ACアダプター使用時) DC 14.4 V(バッテリーパック使用時)
消費電力	[60i] ファインダー使用時 外部機器非接続時 SELP10185Gレンズ装着時 約11.8 W [60i] 液晶モニター使用時 外部機器接続時、SDI出力時 SELP10185Gレンズ装着時 XAVC HD 1080/60p 50 Mbps メモリーカード同時記録時 約16.8 W [50i] ファインダー使用時 外部機器非接続時 SELP10185Gレンズ装着時 約11.5 W [50i] 液晶モニター使用時 外部機器接続時、SDI出力時 SELP10185Gレンズ装着時 XAVC HD 1080/50p 50 Mbps メモリーカード同時記録時 約16.4 W
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～+60℃
本体外形寸法(突起部含む)	(幅×高さ×奥行き) 約111.3 mm×128.7 mm×172.4 mm(本体のみ) 約185.2 mm×218.3 mm×369.5 mm (SELP18105G、レンズフード、大型アイカップ、液晶モニ

ター、ハンドル、グリップ(ベルトなし)を含む)

本体質量	約830 g(本体のみ) 約2.2 kg(SELP18105G、レンズフード、アイカップ、バッテリー(BP-U30)、液晶モニター、ハンドル、グリップ(ベルトなし)を含む)
------	---

システム

信号方式	60iのとき: NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、 1080/60p、720/60p方式 50iのとき: PALカラー、CCIR標準方式 HDTV 1080/50i、 1080/50p、720/50p方式
------	--

ビデオ記録方式

XAVC QFHD: MPEG-4
AVC/H.264 4:2:0 Long
profile
XAVC HD: MPEG-4 AVC/
H.264 4:2:2 Long profile
AVCHD: MPEG-4 AVC/
H.264 AVCHD 2.0準拠

音声記録方式

XAVC: Linear PCM 2ch、
24 bit、48 kHz
AVCHD: Linear PCM 2ch、
16 bit、48 kHz / Dolby
Digital 2ch、16 bit、48 kHz

記録メディア

“メモリースティック”、
SDカード

カメラ部

撮像素子	Exmor Super35 CMOSセンサー
画素数	3840(H)×2160(V)
レンズマウント	Eマウント

最低被写体照度

60i, 0.16ルクス (F1.4, 1/24
シャッタースピード、ゲイン
AUTO)

50i, 0.18ルクス (F1.4, 1/25
シャッタースピード、ゲイン
AUTO)

シャッタースピード

60i:
1/8秒 ~ 1/10,000秒

50i/24p:
1/6秒 ~ 1/10,000秒

スロー&クイックモーション/スーパース ローモーション

フレームレート切り換え可能

ゲイン

0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 24,
27, 30 dB, AGC

ガンマカーブ

切り換え可能

内蔵NDフィルター

CLEAR: OFF

1: 1/4ND

2: 1/16ND

3: 1/64ND

リニア可変ND:

1/4ND ~ 1/128ND

ISO感度

ISO3200
(S-Log2/S-log3ガンマ)

水平解像度

1000 TV本以上
(1920×1080i)

入/出力

ビデオ出力/オーディオ出力

マルチ/マイクロUSB端子に
集約、Composite
(1.0 Vp-p, 75 Ω)

SDI信号出力

BNC型(x1)、SD/HD/
3G(Level-B) 切り換え可能
SMPTE 259M/292M/
424M/425M standards

HDMI出力 Type A(x1)

USB マルチ/マイクロUSB端子
(x1)

⌚(ヘッドホン)出力
ステレオミニジャック
(φ3.5 mm)(x1)

オーディオ入力

XLR-type 3-pin(female)
(x2)、line/mic/mic +48 V切
り換え可能

DC入力 DCジャック

リモート端子

ステレオミニミニジャック
(φ2.5 mm)(x1)

Wired LAN

LAN Terminal
100BASE-TX/10BASE-T

画面

液晶モニター

8.8 cm(3.5型)
約1.56Mドット

ファインダー

1.0 cm(0.39型)
約1.44Mドット

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデ
ンサーマイク

連続動作時間

記録時、液晶モニター使用時、外部機器非
接続時

バッテリーパックBP-U90使用時:

[60i] 約6時間40分

[50i] 約6時間45分

バッテリーパックBP-U60使用時:

[60i] 約4時間15分

[50i] 約4時間20分

バッテリーパックBP-U30使用時:

[60i] 約2時間10分

[50i] 約2時間10分

主な仕様(つづき)

ワイヤレスLAN

対応規格 IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯

2.4GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-
PSK

NFC NFCフォーラム Type 3 Tag
準拠

ACアダプターAC-UES1230

電源 AC 100 V~240 V、
50 Hz/60 Hz

消費電力 43 W

定格出力 DC 12 V*

動作温度 -5 °C~45 °C

保存温度 -20 °C~+65 °C

外形寸法 約51.7 mm×32 mm×
102.5 mm
(最大突起部をのぞく)
(幅×高さ×奥行き)

質量(本体のみ)

約190 g

* その他の仕様は、ラベルをご覧ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、レンズ*は7年間、本体は8年間保有しています。

この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

* PXW-FS5Kのみ

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

A行

アイリス.....	47
アクセサリシュー.....	24
アクセスポイント.....	71
アフターサービス.....	169
液晶モニター.....	8
接続.....	26
調整.....	32
反転.....	94
大型アイカップ.....	33
屋外.....	52
屋内.....	52
お知らせメッセージ.....	152
主な仕様.....	166
音量.....	64, 97

カ行

海外で使う.....	160
顔認識.....	44
拡大フォーカス.....	43
画面表示.....	10, 98
画面表示出力.....	137
ガンマ表示アシスト.....	91
管理ファイル.....	115
機能制限.....	156
記録時間.....	154
グリップ.....	28
回転レバー.....	8
角度調整.....	33
警告表示.....	151
ゲイン.....	48
結露.....	164
広角.....	40
故障かな?と思ったら.....	144
コンセント.....	19

サ行

再生.....	95
削除.....	112
撮影.....	37
撮影可能時間.....	154
自己診断表示.....	151

シャッタースピード.....	49
シューバネ.....	24
出力信号のフォーマット.....	101
準備.....	16
商標.....	174
初期化.....	113
ショルダーストラップ.....	4, 6
スーパースローモーション.....	59
ズーム.....	40
ズームリング.....	41
ズームレバー.....	40
ステータスチェック.....	99
ストリーミング.....	76
スマートフォン.....	68
スロー&クイックモーション.....	56

接続	
テレビに.....	100

タ行

ダイレクトメニュー.....	54
データコード.....	98
テレビ.....	100
電源コード.....	19
同時記録.....	39
ドロップフレーム.....	137

ナ行

内蔵充電式電池.....	165
ネットワーク機能.....	71

ハ行

バッテリー.....	18
バリエابلモード.....	51
ハンドルズーム.....	40
ハンドル録画ボタン.....	4, 39
ピクチャープロファイル.....	83
日付時刻.....	11, 31
日付時刻合わせ.....	30
ファインダー.....	32
視度調節ダイヤル.....	32

フォーカス.....	41
フォーカスホールド.....	42
付属品.....	16
ブッシュオートフォーカス.....	42
ブラックバランス.....	53
プリセットモード.....	50
フルオートモード.....	82
プロキシー記録.....	46
プロテクト.....	111
分割.....	111
望遠.....	40
保証書.....	169
ボタン電池.....	9
ホワイトバランス.....	52

マ行

マイク	
外部.....	25
内蔵.....	62
マルチインターフェース.....	63
シュー.....	63
マウントアダプター.....	22
マルチインターフェース.....	4
シュー.....	4
マルチセレクター.....	8
マルチマイクロUSB端子.....	7
無線LAN.....	71
メニュー.....	116
一覧.....	117
AUDIO SET.....	130
CAMERA/PAINT... ..	122
DISPLAY SET.....	133
NETWORK SET.....	139
REC/OUT SET.....	128
SYSTEM.....	140
TC/UB SET.....	137
メニューの使いかた.....	116
メモリーカード.....	35
ご注意.....	162
初期化.....	113
ファイル/フォルダ.....	161
構成.....	161

“メモリースティック” 163
 “メモリースティックPRO
 デュオ” 163

ヤ行

有線LAN 76

ラ行

ラストシーンレビュー 93
 リチャージャブルバッテリー
 バック 18
 リモコン 9, 142
 リレー記録 38
 ルート証明書 81
 レンズ 20, 165
 マウントアダプター 22
 録画フォーマット 45
 AVCHD 45
 XAVC HD 45
 XAVC QFHD 45
 録画ボタン 37
 録画ランプ 37

ワ行

ワイヤレスリモコン
 リモコンへ

A

ACアダプター 18
 ACTIVE 126
 AE SHIFT 124, 147
 AF MICRO ADJUSTMENT
 127
 AGC LIMIT 124
 AIRPLANE MODE 139
 AMOUNT 127
 AREA SET 141
 ASPECT 134
 ASSIGN BUTTON 66
 ASSIGN DIAL DIRECTION
 141
 ASSIGNボタン/ASSIGN
 ダイヤル 64

AUDIO LEVEL 62
 AUDIO LEVEL DISPLAY
 135
 AUDIO LIMIT 131
 AUDIO SETメニュー 130
 AUTO BACK LIGHT 127
 AUTO ISO LIMIT 123
 AUTO/MAN 62
 AVCHD 45, 162
 AVCHD AUDIO FORMAT
 130

B

BATT RELEASE 18
 BEEP 142
 BLACK BALANCE 53
 BLACK GAMMA 85
 BLACK LEVEL 85

C

CAMERA DATA DISPLAY
 135
 CAMERA PROFILE 140
 CAMERA/PAINTメニュー
 122
 CENTER 134
 CENTER SCAN 125
 CH1 INPUT SELECT ... 130
 CH2 INPUT SELECT ... 131
 CLEAR ALL 127
 CLOCK SET 30
 COLOR BAR 128, 147
 COLOR CORRECTION
 88
 COLOR DEPTH 88
 COLOR MODE 87
 COLOR PHASE 87
 Content Browser Mobile
 67
 CTRL W/SMARTPHONE
 139

D

DATA CODE 136

DATE REC 141
 DELETE 112
 DETAIL 90
 DF 137
 DISPLAY 98
 DISPLAY OUTPUT 137
 DISPLAY SETメニュー
 133
 DIVIDE 111
 DOWN CONVERT TYPE
 129

F

FACE DETECTION 44
 FILE FORMAT 45
 FOCUS 41
 FOCUS DISPLAY 135
 FOCUS MAG 8, 43
 FOCUS MAG RATIO ... 135
 FREE RUN 138
 FTP 78
 FULL AUTO 82

G

GAIN SET 123
 GAMMA 85
 GAMMA DISP ASSIST
 136
 GUIDEFRAME 134

H

HDMI 100
 HDMI TC OUTPUT 130
 HISTOGRAM 133
 HOLD 5
 HOLD SW SET 142

I

INDOOR 52
 INITIALIZE 143
 INPUT 1/INPUT 2 62
 INPUT1 TRIM 132
 INPUT1 WIND 132

INPUT2 TRIM	132
INPUT2 WIND	132
INT MIC SET.....	131
ISO SET.....	122
ISO感度.....	48
ISO/GAIN	48
ISO/GAIN SEL.....	122

K

KNEE.....	86
-----------	----

L

LANGUAGE	141
LAST SCENE REVIEW	93
LCD BRIGHT.....	136
LENS COMPENSATION	125

M

MANU WB TEMP.....	52
MARKER	134
MEDIA FORMAT.....	113
MIC+48V.....	63
MIRROR	8, 94

N

NDフィルター	50
ND/IRIS	51
ND/IRIS DIAL DIRECTION	125
NDF.....	137
NETWORK RESET.....	139
NETWORK SETメニュー	139
NFC.....	67

O

OPERATION TIME.....	143
OUTDOOR.....	52
OUTPUT SELECT.....	128

P

PEAKING	133, 147
PROTECT.....	111
PROXY REC MODE.....	46
PUSH AUTO.....	42, 48

R

REC BUTTON SETTING	39
REC FORMAT.....	45
REC LAMP[F].....	142
REC LAMP[R].....	142
REC RUN	138
REC SET	128
REC/OUT SETメニュー	128
REMOTE	28
REMOTE CONTROL	142
REPAIR IMAGE DB FILE	115
ROOT CERTIFICATE	139

S

S&Q.....	57
S&Q BUTTON SETTING	140
S&Q MOTION	56
SAFETY ZONE	134
SATURATION	87
SDI	100
SDI/HDMI	129
SDI/HDMI REC CONTROL	130
SEL/SET	5
SHUTTER.....	49
SHUTTER DISPLAY....	136
SIMUL/RELAY REC	39
SLOT SEL.....	36
SLOW & QUICK	56
START/STOP グリップ.....	8
本体.....	5

STATUS CHECK.....	140
STEADYSHOT.....	126
STREAMING	76, 139
SUMMERTIME.....	141
SUPER SLOW MOTION	59
SYSTEMメニュー.....	140

T

TC FORMAT	137
TC MAKE	138
TC PRESET	92, 147
TC RUN	138
TC/UB DISPLAY	137
TC/UB SETメニュー.....	137
THUMBNAIL	5, 95
TONE	128

U

UB PRESET	92
UB TIME REC.....	138
USB CONNECT	143
USB LUN SET	143

V

VERSION DISPLAY	143
VF COLOR TEMP.	136
VF/LCD PANEL.....	137
VIDEO OUT.....	128
VOLUME	130

W

WB OUTDOOR LEVEL	124
WB PRESET	124
WB SET	52
WB SHIFT	89
WB TEMP SET.....	124
WHT BAL	53
Wi-Fi	66
Wi-Fi SET.....	139
WIRED LAN SET	139

X

- XAVC HD.....45, 162
- XAVC QFHD.....45, 162
- XLR AGC LINK131
- XLR SET131

Z

- ZEBRA133, 147
- ZOOM DISPLAY135
- ZOOM SET.....126

数字

- 24p/30p OUTPUT129
- 25p OUTPUT129
- 4K45
- 60i/50i SEL.....143

商標について

- "XDCAM" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- "XAVC" および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"メモリースティック PROデュオ"、**MEMORY STICK PRO DUO**、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"マジックゲート" はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby, ドルビー, およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- iPad, iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel, Intel Core, Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Android, Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi, Wi-Fiロゴ, Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたものの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマスタレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2015 Sony Corporation

Printed in China



4581849010